

事業用貨物自動車の

交通事故の発生状況

令和元年 8 月



公益社団法人
全日本トラック協会

事業用貨物自動車の 交通事故の発生状況

令和元年 8 月

公益社団法人 **全日本トラック協会**

ま え が き

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター並びに国土交通省の協力を得て、警察庁が公表した2018年中の全国交通事故統計データから、事業用貨物自動車（軽自動車を除く）を対象とした交通事故の全体傾向を集計し取りまとめています。

2018年に全国で発生した交通事故（物損事故を除く）件数は430,601件、死者数は3,532人、負傷者数は525,846人と、前年に比べ事故件数が41,564件減（-8.8%）、死者数が162人減（-4.4%）、負傷者数が55,004人減（-9.5%）となっています。

一方、事業用貨物自動車については、交通事故による負傷者数及び飲酒運転事故件数についてはそれぞれ減少したものの、酒酔い運転及び酒気帯び運転を合わせた飲酒運転件数は前年より増加しており、トラック運送業界の社会的信頼性を失墜させかねない憂慮すべき状況が依然として続いています。

国土交通省では、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界一安全な輸送サービスの提供を実現するため、第10次交通安全基本計画（2016年～2020年まで）に合わせた「事業用自動車総合安全プラン2020 ～行政・事業者・利用者が連携した安全トライアングルの構築～」を策定し、2020年までに、事業用トラックが第1当事者となる①交通事故による死者数を200人以下、②人身事故件数を12,500件以下、③飲酒運転をゼロとするよう、2017年6月30日に公表しました。

これを受け、全日本トラック協会では、国土交通省が定めた目標を実現するため、事業用トラックを第1当事者とする交通死亡事故件数に係る数値目標を「車両台数1万台当たり『1.5』件以下とし、これを各都道府県（車籍別）の共有目標とする」ことを2017年9月に決定し、トラック業界が一丸となって各種事故防止対策を推進しましたが、2018年は1万台当たりの死亡事故件数は「1.9」件（死者数260人）と、目標達成には至っていない状況です。

このような状況を踏まえ、事業用貨物自動車による交通事故を根絶するためにも貨物自動車運送事業の経営にあたっては、交通事故防止対策を最重要課題とし、確実な点呼の実施を始めとし、飲酒運転の撲滅、過労運転の防止、点検整備の徹底、運転者の教育・指導など安全管理の充実に努め、関係者一丸となって、これまで以上に交通事故防止対策を講じていく必要があります。

本書を事業用貨物自動車の交通事故防止対策の一助として活用いただければ幸いに存じます。

2019年8月

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 坂 本 克 己

凡 例

● 本書における用語の定義は、次のとおりである。

- 1 「交通事故」とは、道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。ただし、本書においては物損事故を除く。
- 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
- 3 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 4 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
- 5 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
- 6 「死傷」（「死傷者」）とは、「死亡」（「死者」）と「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 7 「死傷者数」とは、事業用貨物自動車の事故における全当事者数をいう。
- 8 「事業用貨物自動車」とは、第1当事者が事業用で貨物車（軽自動車を除く。）をいう。ただし、注意書きを除く。
- 9 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 10 「事故類型」とは、当該交通事故を先ず当事者の種類（人または車両等）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したものをいう。
- 11 「対歩行者」とは、当該交通事故の第2当事者が歩行者（準歩行者を含む。）である場合をいう。
- 12 「準歩行者」とは、「車椅子」、「小児用の車」、「ローラースケート等」をいう。
- 13 「対自転車」とは、当該交通事故の第2当事者が「自転車」、「駆動補助付自転車」、「リヤカー一等」の軽車両である場合をいう。
- 14 「車両相互」とは、当該交通事故の第1当事者及び第2当事者がいずれも車両等（列車が相手方である場合を除く。）である場合をいう。
- 15 「車両単独」とは、当該交通事故の第2当事者が「駐車車両（運転者不在）」、「物件」、「相手なし」である場合をいう。
- 16 「車両等」とは、「四輪車」「二輪車」「自転車」「その他」の合計をいう。
- 17 「車両等」の定義は次のとおりである。
 - 「四輪車」……道路交通法に定める大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車。

- 「二輪車」……「自動二輪車」及び「原動機付自転車」
- 「自動二輪車」……道路交通法に定める大型自動二輪車と普通自動二輪車。
- 「原動機付自転車」「軽車両」「自転車」……道路交通法の規定による。
- 「その他」……「四輪車」「二輪車」「自転車」以外の車両。
- 「軽自動車」……道路運送車両法の規定による。
- 「トレーラ」……けん引する構造並びに装置を有する乗用車により牽引されるための構造及び装置を有する車両(車両総重量750kg超)が連結されている状態をいう。

18 当事者種別の定義は次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量5t以上11t未満又は最大積載量3t以上6.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量5t未満かつ最大積載量3t未満の貨物車。

なお、当事者種別の定義は平成29年3月12日以降、次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量7.5t以上11t未満又は最大積載量4.5t以上6.5t未満の貨物車。
- 「準中型」……車両総重量3.5t以上7.5t未満又は最大積載量2t以上4.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量3.5t未満かつ最大積載量2t未満の貨物車。

19 「高速道」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。

20 「高速自動車国道」(高速国道)とは、高速自動車国道法に定める高速自動車国道をいう。

21 「指定自動車専用道路」(指定専道)とは、道路交通法に定める自動車専用道路をいう。

22 「行動類型」とは、当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって細分した類型をいう。

23 「人的要因」とは、当事者に認められる要因をいう。

- 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。
- データの各数値は、令和元年5月末の確定値である。後日、統計上の理由により変更される場合がある。
- データは、(公益財団法人)交通事故総合分析センターで集計した。

目 次

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況	1
2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況	2
3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況	3
4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況	13
5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況	20
6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況	27
7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況	30
8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況	34
9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況	36
10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況	39
11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況	42
12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況	43
13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況	44
14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況	46
15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況	47
16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況	52
17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況	55
付録	62
付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（平成30年）	63
付録 2. 事業用自動車の第 1 当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成30年）	64
付録 3. 事業用自動車の第 1 当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成30年）	65
付録 4. 事業用自動車の第 1 当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成30年）	66
付録 5. 事業用自動車の第 1 当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成30年）	67
付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成3-30年）	68
付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成21-30年）	69
付録 8. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死者数の推移（平成21-30年）	69
付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成21-30年）	70
付録 10. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死傷事故件数の推移（平成21-30年）	70
付録 11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの死亡事故件数（平成30年）	71
付録 12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成30年）	71
付録 13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成21-30年）	72
付録 14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成21-30年）	74
付録 15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成30年）	76
付録 16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）	77
付録 17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成30年）	78
付録 18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）	79
付録 19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況	80
付録 20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況	83
付録 21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況	86

付録22.	事業用貨物自動車の車両単独事故の状況	-----	89
付録23.	事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況	-----	92
付録24.	事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数 （平成27-30年）	-----	95
付録25.	事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成29-30年）	-----	96

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事件事例

事業用貨物自動車（軽自動車を除く）が第1当事者となった死傷事故の傾向は次のとおりです。

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況

死傷事故全体の発生件数は、平成21年の20,681件から平成30年には13,428件と、10年間で7,253件（35.1%）減少しており、なかでも平成23年以降は連続して減少しています。

第1当事者種別では、平成21年から平成30年の10年間で、大型は2,219件、中型は4,619件、普通は3,586件、それぞれ減少しています。尚、平成29年3月12日の「準中型」免許区分新設に伴い、「中型」以下の車両総重量区分が新設されたため、「大型」以外は参考値となります（以下、同様）。

表1 当事者種別の死傷事故件数の推移（平成21-30年）

(件)

年	第1当事者種別	大型	中型	準中型	普通	合計	保有車両数(台)
H21		7,625 (1,220)	8,650		4,406	20,681	1,388,644
H22		8,003 (1,357)	9,063		3,983	21,049	1,361,336
H23		7,993 (1,262)	9,035		3,540	20,568	1,357,647
H24		7,586 (1,265)	8,715		3,173	19,474	1,358,400
H25		7,125 (1,208)	8,490		2,876	18,491	1,360,732
H26		6,985 (1,155)	8,130		2,686	17,801	1,372,140
H27		6,260 (971)	7,294		2,602	16,156	1,381,282
H28		5,709 (991)	6,572		2,319	14,600	1,397,191
H29		5,663 (955)	4,862	2,452	1,240	14,217	1,419,605
H30		5,406 (923)	4,031	3,171	820	13,428	1,440,180

※ 大型の（ ）内の値は、トレーラで大型の内数を示す。

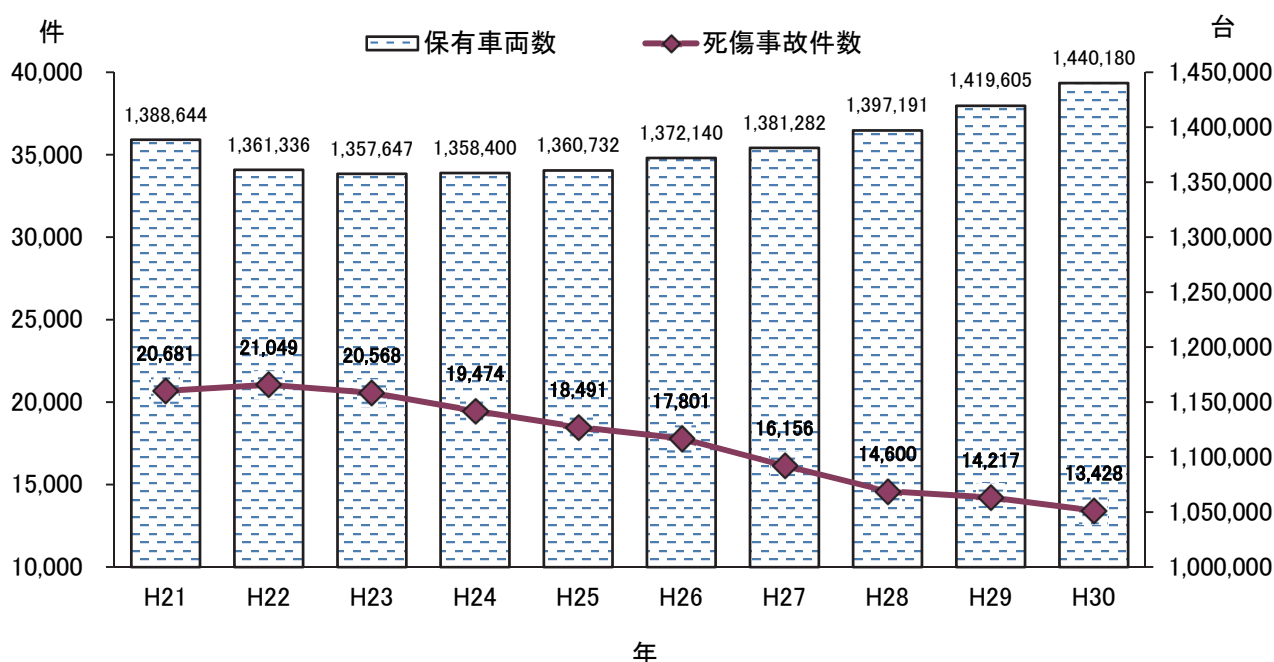


図1 保有車両数と死傷事故件数の推移（平成21-30年）

※ 保有車両数(台)は、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「市区町村別 自動車保有車両数(平成30年度3月末現在)」をもとに全日本トラック協会が集計した値。

2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況

事故類型別の死傷事故件数は、平成 21 年から平成 30 年の 10 年間で、車両相互 6,605 件、対歩行者 531 件、車両単独 118 件と、それぞれ減少しています。

発生件数の多い事故類型は圧倒的に車両相互であり、平成 21 年以降、90%以上を占める状況が続いています。

表 2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

(件)

年	事故類型	車両相互	対歩行者	車両単独	列車	合計	車両相互事故構成率(%)
H21		18,972	1,425	284	0	20,681	91.7
H22		19,382	1,373	293	1	21,049	92.1
H23		19,036	1,264	265	3	20,568	92.6
H24		17,966	1,282	226	0	19,474	92.3
H25		17,106	1,138	244	3	18,491	92.5
H26		16,460	1,129	211	1	17,801	92.5
H27		14,903	1,069	183	1	16,156	92.2
H28		13,517	912	170	1	14,600	92.6
H29		13,114	935	167	1	14,217	92.2
H30		12,367	894	166	1	13,428	92.1

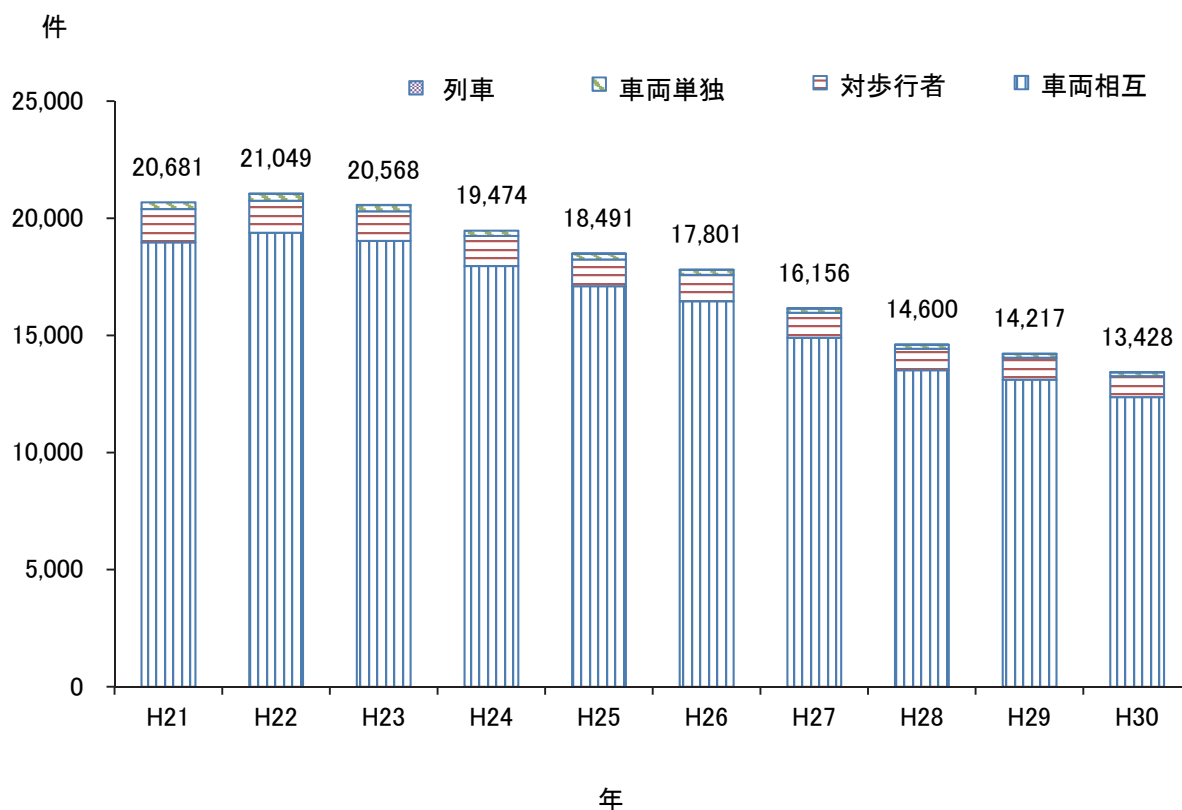


図 2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況

平成30年の道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数は、死亡事故では、対歩行者83件（うち高速道路4件、一般道路79件）、車両相互150件（うち高速道路33件、一般道路117件）、車両単独20件（うち高速道路6件、一般道路14件）となっています。

一方、重傷事故では、対歩行者214件（うち高速道路4件、一般道路210件）、車両相互773件（うち高速道路87件、一般道路686件）、車両単独39件（うち高速道路13件、一般道路26件）となっています。

また、軽傷事故では、対歩行者597件（うち高速道路4件、一般道路593件）、車両相互11,444件（うち高速道路1,196件、一般道路10,248件）、車両単独107件（うち高速道路24件、一般道路83件）となっています。

表3-1 道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数（平成30年）

事故類型		道路区分		死亡			重傷			軽傷			合計		
				高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計
対歩行者	事故類型詳細区分		対面通行中	0	4	4	0	4	4	0	20	20	0	28	28
			背面通行中	0	11	11	0	24	24	0	53	53	0	88	88
	横断中	横断中	横断歩道	0	12	12	0	96	96	0	245	245	0	353	353
			横断歩道付近	0	5	5	0	5	5	0	11	11	0	21	21
			横断歩道橋付近	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2
			その他	1	29	30	1	38	39	0	66	66	2	133	135
			路上遊戯中	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
			路上作業中	0	3	3	1	8	9	1	17	18	2	28	30
			路上停止中	1	3	4	0	7	7	0	7	7	1	17	18
			路上横臥中	0	7	7	0	4	4	0	4	4	0	15	15
			その他	2	4	6	2	24	26	3	167	170	7	195	202
		小計	4	79	83	4	210	214	4	593	597	12	882	894	
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	1	1	0	0	0	0	3	3	0	4	4	
		その他	0	12	12	1	30	31	0	104	104	1	146	147	
	追突	進行中	11	11	22	37	33	70	349	531	880	397	575	972	
		駐・停車中	17	9	26	29	124	153	515	5,248	5,763	561	5,381	5,942	
	出会い頭衝突		0	22	22	0	163	163	2	1,004	1,006	2	1,189	1,191	
	追越・追抜時衝突		0	7	7	3	49	52	54	482	536	57	538	595	
	進路変更時衝突		2	2	4	9	15	24	196	442	638	207	459	666	
	すれ違い時衝突		0	1	1	0	14	14	0	142	142	0	157	157	
	左折時衝突		0	32	32	0	97	97	4	691	695	4	820	824	
	右折時衝突		0	13	13	1	93	94	2	537	539	3	643	646	
	横断時衝突		0	0	0	0	3	3	0	18	18	0	21	21	
	転回時衝突		0	1	1	0	4	4	0	42	42	0	47	47	
	後退時衝突		0	0	0	0	11	11	12	533	545	12	544	556	
	その他		3	6	9	7	50	57	62	471	533	72	527	599	
		小計	33	117	150	87	686	773	1,196	10,248	11,444	1,316	11,051	12,367	
車両単独	工作物衝突	電柱	0	1	1	0	2	2	0	6	6	0	9	9	
		標識	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	
		分離帯・安全島	0	0	0	2	1	3	3	7	10	5	8	13	
		防護柵等	1	3	4	3	6	9	4	16	20	8	25	33	
		家屋・塀	0	1	1	0	1	1	0	3	3	0	5	5	
		橋梁・橋脚	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	3	3	
		その他	0	4	4	1	8	9	1	17	18	2	29	31	
	駐車車両（運転者不在中）衝突		4	1	5	6	1	7	9	20	29	19	22	41	
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	
		その他	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2	
転倒		0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	4	4		
その他		1	2	3	1	4	5	7	7	14	9	13	22		
		小計	6	14	20	13	26	39	24	83	107	43	123	166	
列車		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1		
合計		43	210	253	104	922	1,026	1,224	10,925	12,149	1,371	12,057	13,428		

平成 30 年の死傷事故のうち、事故類型詳細区別で発生件数が多い順に、追突-駐・停車中 5,942 件 (44.3%)、出会い頭衝突 1,191 件 (8.9%)、追突-進行中 972 件 (7.2%)、左折時衝突 824 件 (6.1%)、車両相互 (その他) 824 件 (6.1%)、進路変更時衝突 666 件 (5.0%)、右折時衝突 646 件 (4.8%)、追越・追抜時衝突 595 件 (4.4%)、後退時衝突 556 件 (4.1%)、横断中 511 件 (3.8%) となっており、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 6,914 件 (51.5%) と、死傷事故全体 (13,428 件) の半分以上を占めています。

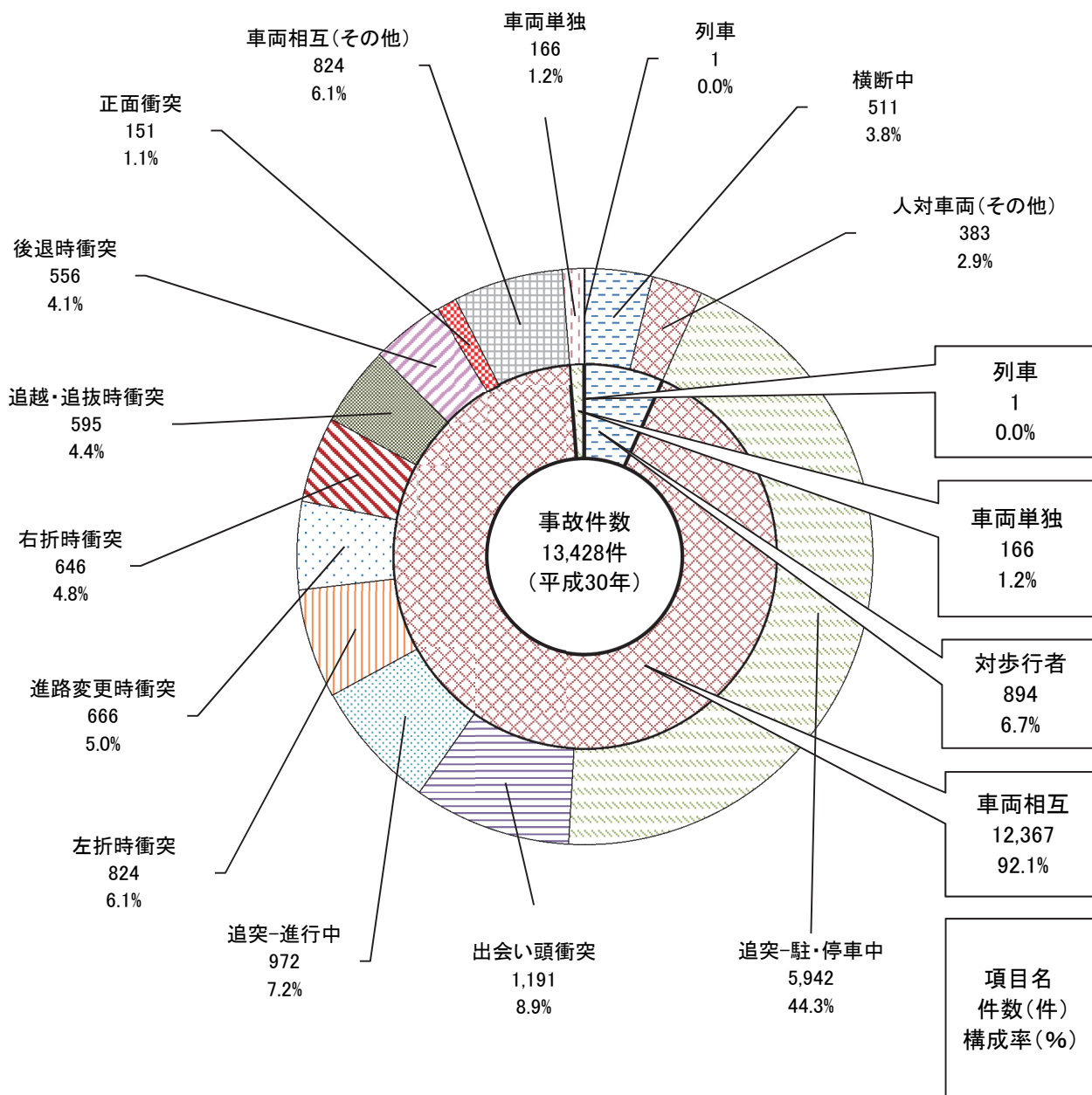


図 3-1 事故類型別死傷事故件数の構成率 (平成 30 年)

平成30年の死傷事故のうち、高速道路における事故類型詳細区分別の発生件数が多い順に、追突-駐車中 561件(40.9%)、追突-進行中 397件(29.0%)、進路変更時衝突 207件(15.1%)、車両相互(その他) 78件(5.7%)、追越・追抜時衝突 57件(4.2%)、駐車車両 19件(1.4%)、後退時衝突 12件(0.9%)、工作物衝突(防護柵等) 8件(0.6%)、工作物衝突(分離帯) 5件(0.4%)、車両単独(その他) 11件(0.8%)、横断中 2件(0.1%)、人対車両(その他) 10件(0.7%)、対歩行者 12件(0.9%)、車両単独 43件(3.1%)、車両相互 1,316件(96.0%)

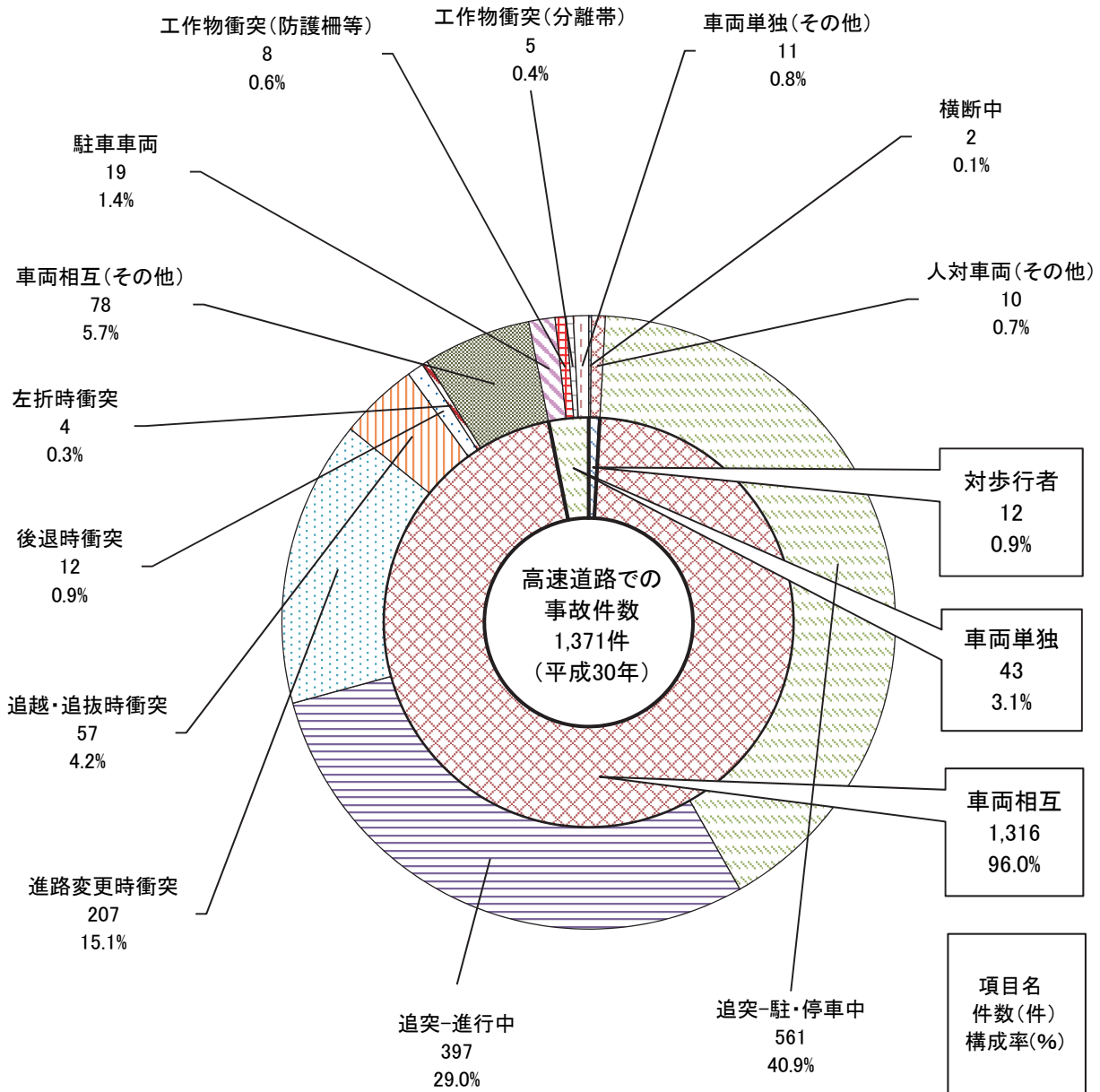


図3-2 高速道路における事故類型別死傷事故件数の構成率(平成30年)

参 考

(1) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

- ・追突による死傷事故件数は、平成 21 年の 11,400 件から平成 30 年には 6,914 件となり、10 年間で 4,486 件（39.4%）減少しています。

表 3-2 主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

事故類型	年									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
追突	11,400	12,008	11,853	11,357	9,719	9,292	8,541	7,637	7,290	6,914
対歩行者	1,920	1,864	1,770	1,746	1,138	1,129	1,069	912	935	894
出会い頭衝突	3,681	3,548	3,373	3,069	1,843	1,708	1,483	1,392	1,285	1,191
左折時衝突	1,550	1,605	1,523	1,409	1,112	1,038	930	879	851	824
右折時衝突	1,550	1,515	1,425	1,283	890	914	837	754	790	646
出会い頭衝突等	6,781	6,668	6,321	5,761	3,845	3,660	3,250	3,025	2,926	2,661
その他	4,896	4,912	4,921	4,675	3,789	3,720	3,296	3,026	3,066	2,959
事故件数	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・死傷事故の構成率は、追突が増加傾向にある一方で、対歩行者および出会い頭衝突が減少する傾向にあります。

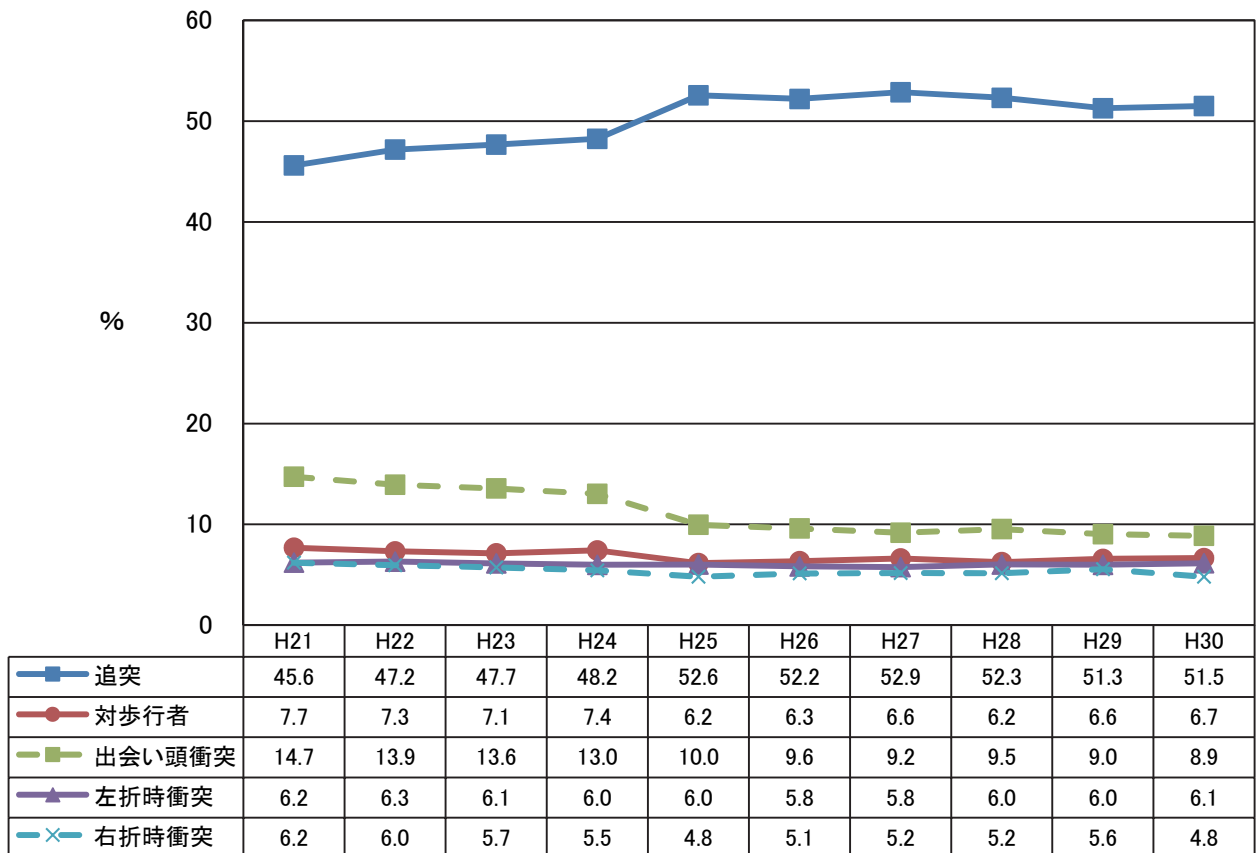


図 3-3 主な事故類型の死傷事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成21-24年は60%台でしたが、平成25年以降は70%以上で推移しています。

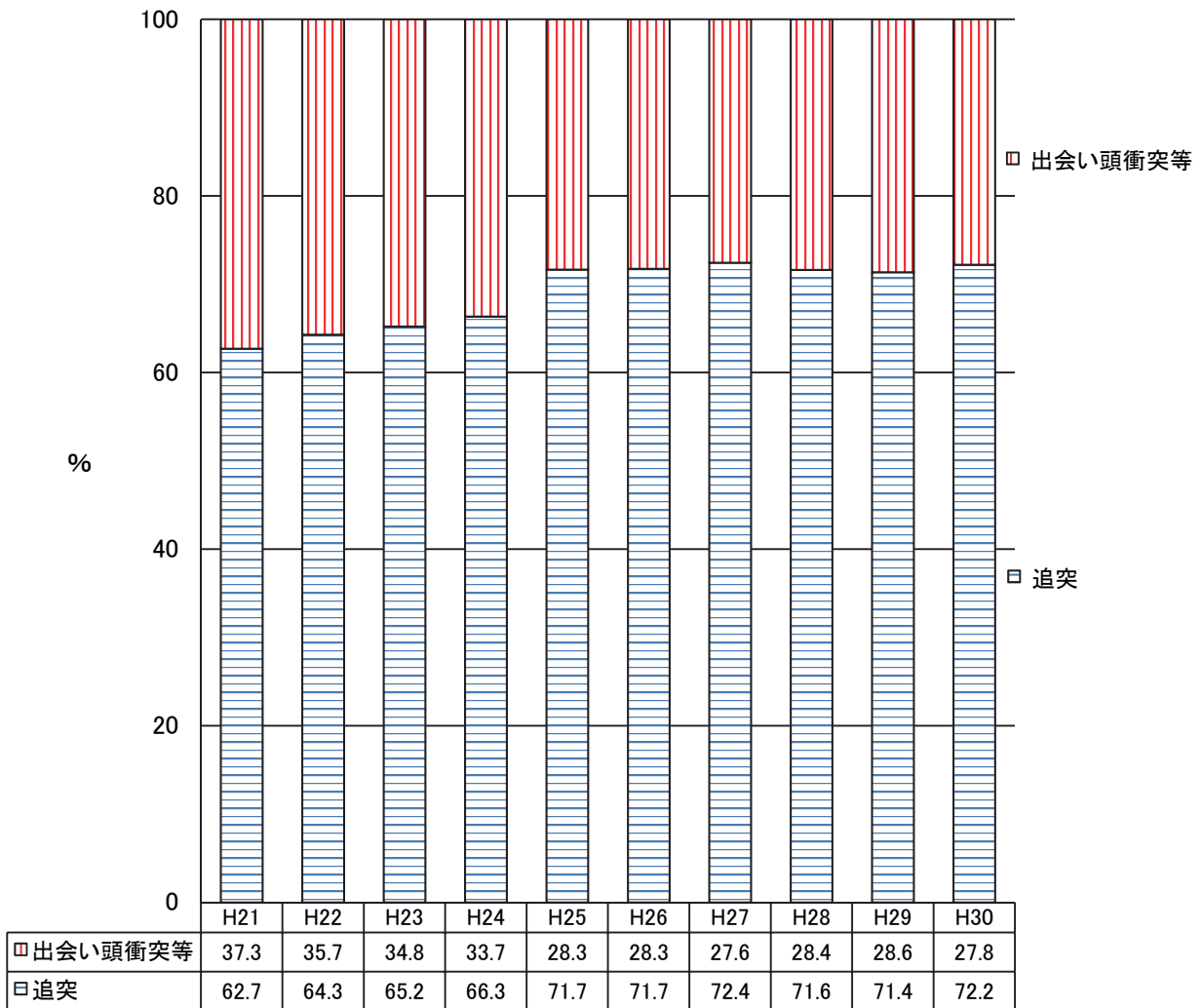


図3-4 「追突」と「出会い頭衝突等」による死傷事故件数構成率の推移（平成21-30年）

(2) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

- ・追突による死亡事故件数は、6 ページの死傷事故件数の傾向に比べて、年によるバラつきが大きくなっています。

表 3-3 主な事故類型別の死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

事故類型	年									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
追突	65	86	85	78	77	58	50	44	40	48
正面衝突	23	27	21	18	9	11	12	16	14	13
出会い頭衝突	49	41	40	29	30	29	29	22	22	22
左折時衝突	26	30	24	24	23	32	27	22	23	32
右折時衝突	19	21	14	19	19	17	11	17	16	13
出会い頭衝突等	94	92	78	72	72	78	67	61	61	67
その他	215	199	183	220	191	183	179	137	156	125
事故件数	397	404	367	388	349	330	308	258	271	253

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・追突の構成率は、平成 23 年の 23.2% を最大値、平成 29 年の 14.8% を最小値とし、年によるバラつきが大きくなっています。

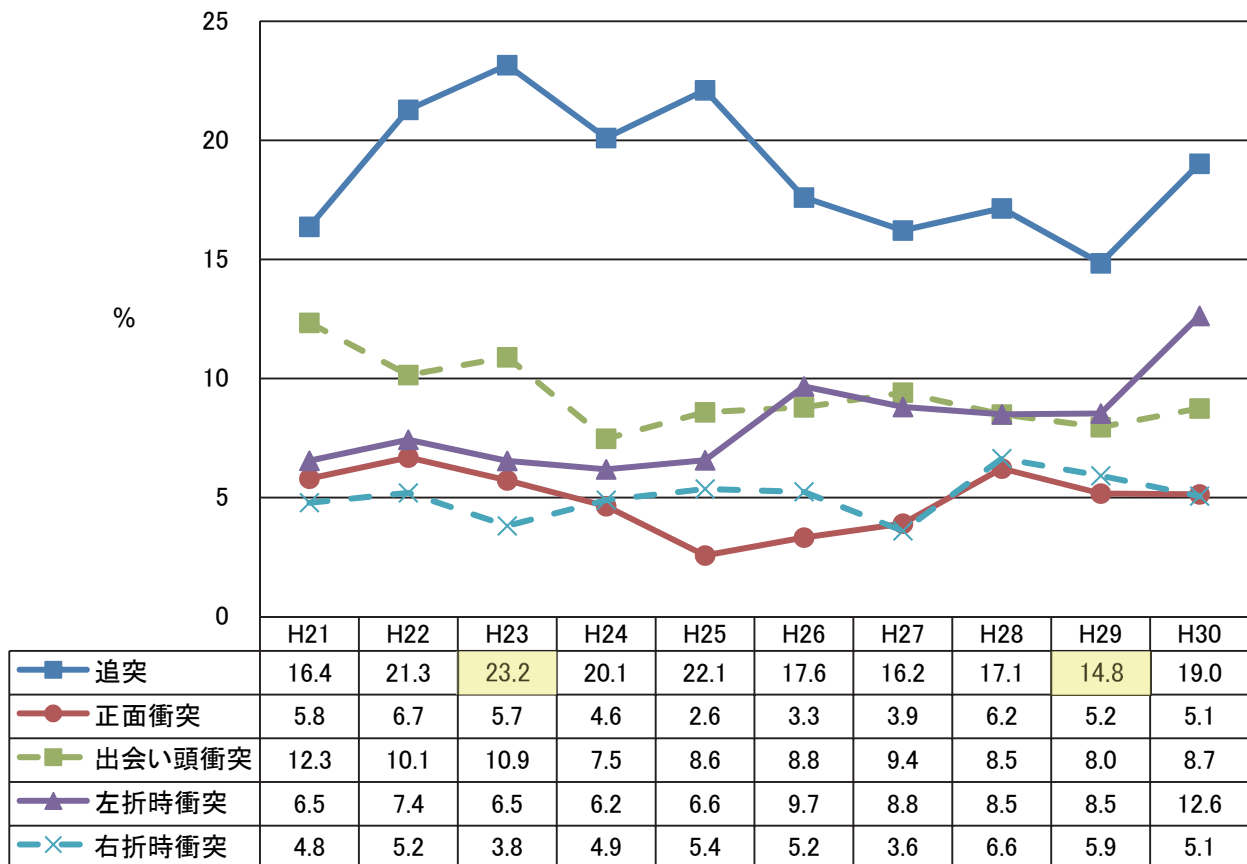


図 3-5 主な事故類型の死亡事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

- ・ 追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 22 年から平成 25 年までは 50% 前後を占めていますが、平成 26 年以降は、おおむね 40%前後で推移しています。

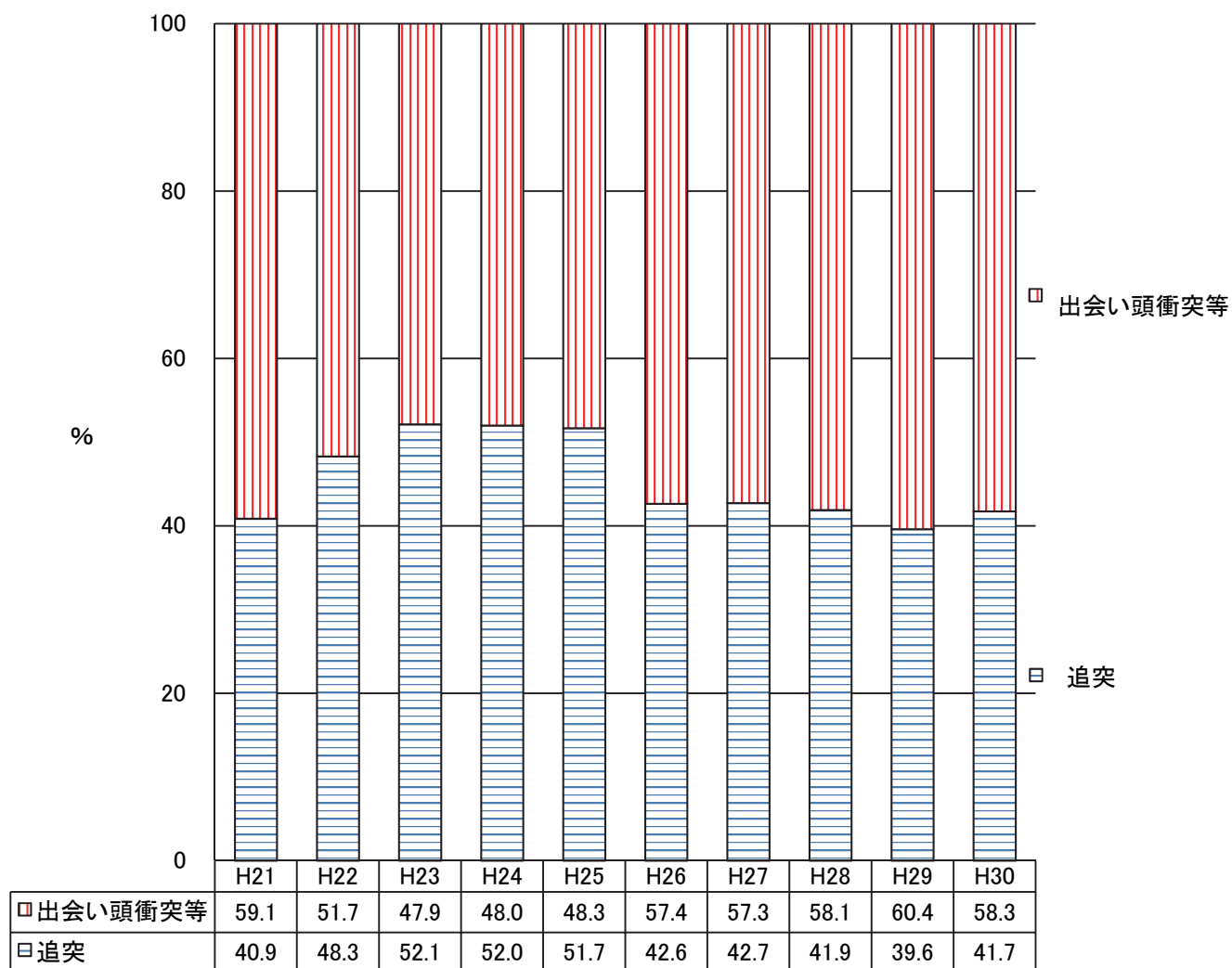


図 3-6 「追突」と「出会い頭衝突等」による死亡事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

(3) 事業用貨物自動車の交差点内における死傷者数の推移（平成 21-30 年）

- ・交差点内における死傷者数は、平成 21 年の 7,162 人から平成 30 年には 3,778 人と順調に減少しており、10 年間で 3,384 人（47.2%）減少しています。
- ・そのうち死者は、平成 21 年の 149 人から平成 30 年の 84 人と、10 年間で 65 人（43.6%）減少しています。また、平成 28 年に初めて 100 人を下回りました。
- ・一方、重傷者は、平成 21 年の 671 人から平成 30 年の 469 人と、10 年間で 202 人（30.1%）減少しています。
- ・また、軽傷者は、平成 21 年の 6,342 人から平成 30 年の 3,225 人と順調に減少しており、10 年間で 3,117 人（49.1%）減少しています。

表 3-4 交差点内における死傷者数の推移（平成 21-30 年）

死傷者数	(人)										
	年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
死者		149	134	120	124	118	129	111	88	100	84
重傷者		671	669	605	534	468	529	472	452	477	469
軽傷者		6,342	6,054	5,844	5,294	4,869	4,661	4,124	3,781	3,602	3,225
合計		7,162	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778

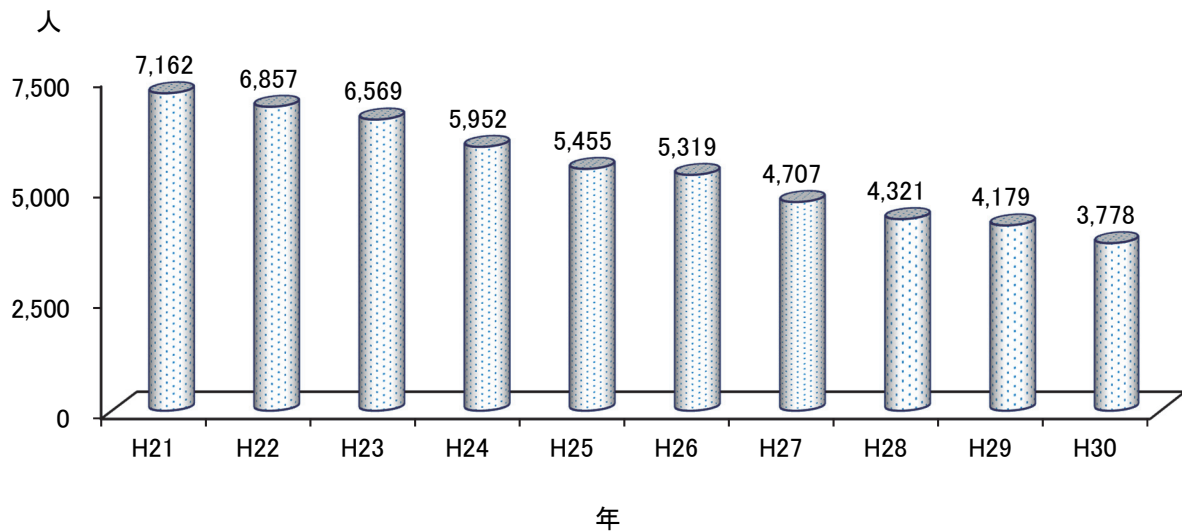


図 3-7 交差点内における死傷者数の推移（平成 21-30 年）

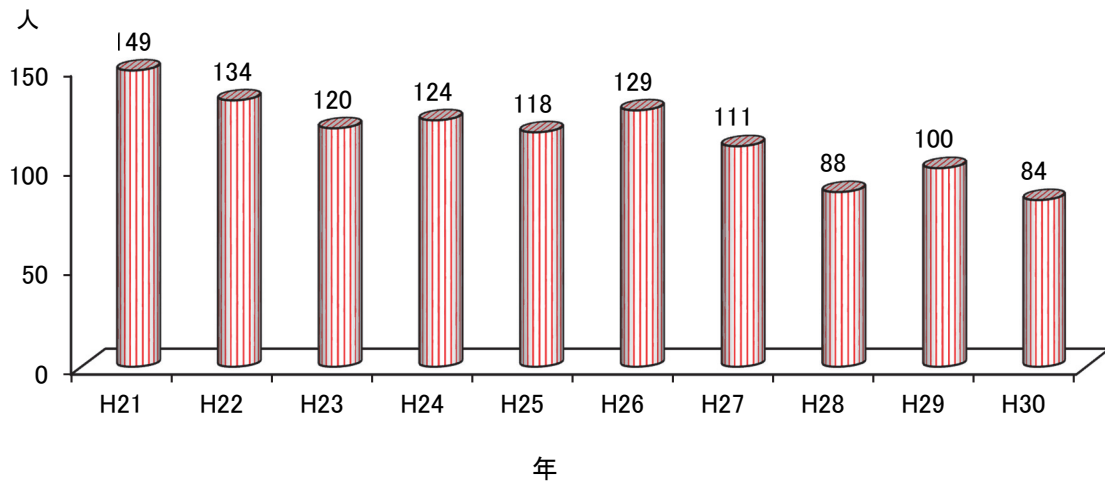


図 3-8 交差点内における死者数の推移（平成 21-30 年）

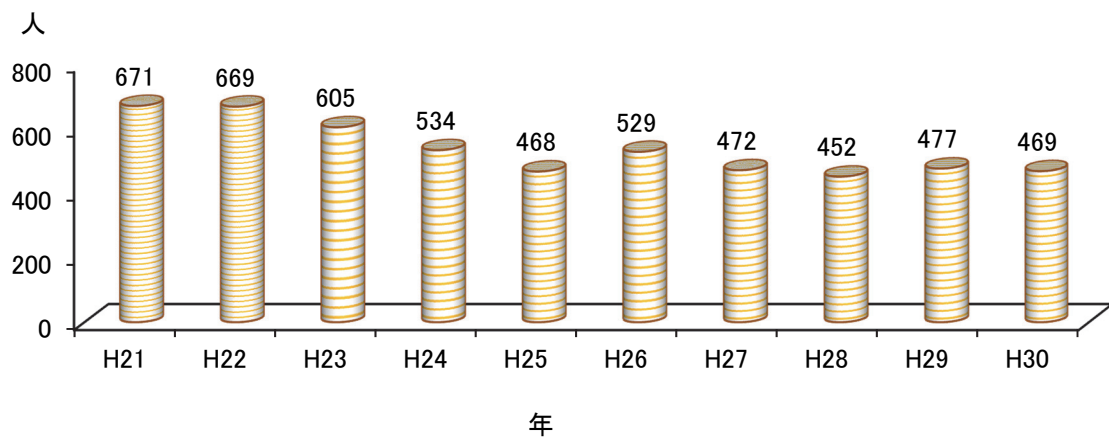


図 3-9 交差点内における重傷者数の推移（平成 21-30 年）

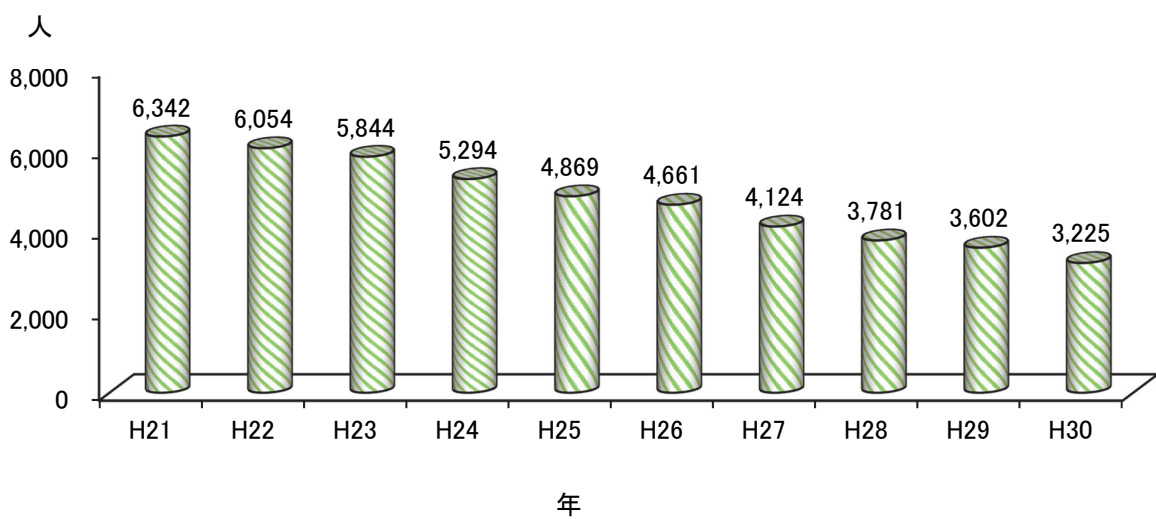


図 3-10 交差点内における軽傷者数の推移（平成 21-30 年）

(4) 事業用貨物自動車の衝突地点別死者割合の推移（平成 21-30 年）

- ・衝突地点別の死者割合（死傷者数に占める死者数の割合）は、平成 21 年から平成 30 年までの 10 年間、全衝突地点では 1.3%から 1.4%の範囲で推移しています。
- ・また、同じ期間、単路での死者割合は 1.1%から 1.3%の範囲で推移している一方、交差点内では 1.8%から 2.4%の前後の範囲で推移しています。
- ・全体衝突地点及び単路と比較すると、交差点内は死者割合が高くなっています。

表 3-5 衝突地点別死者割合の推移（平成 21-30 年）

衝突地点		年									
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全衝突地点	死傷者数(人)	27,436	28,299	27,650	26,128	24,963	24,002	21,678	19,435	18,891	17,768
	死者数(人)	387	402	368	389	364	340	312	270	280	260
	死者割合(%)	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4
交差点内	死傷者数(人)	7,162	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778
	死者数(人)	149	134	120	124	118	129	111	88	100	84
	死者割合(%)	2.0	1.9	1.8	2.0	2.1	2.4	2.3	2.0	2.3	2.2
単路	死傷者数(人)	19,307	20,363	20,072	19,034	18,308	17,468	15,893	14,148	13,824	13,071
	死者数(人)	229	257	237	252	234	202	196	170	169	173
	死者割合(%)	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3

※ 死者割合＝死者数／死傷者数×100（小数点第 2 位切り捨て）

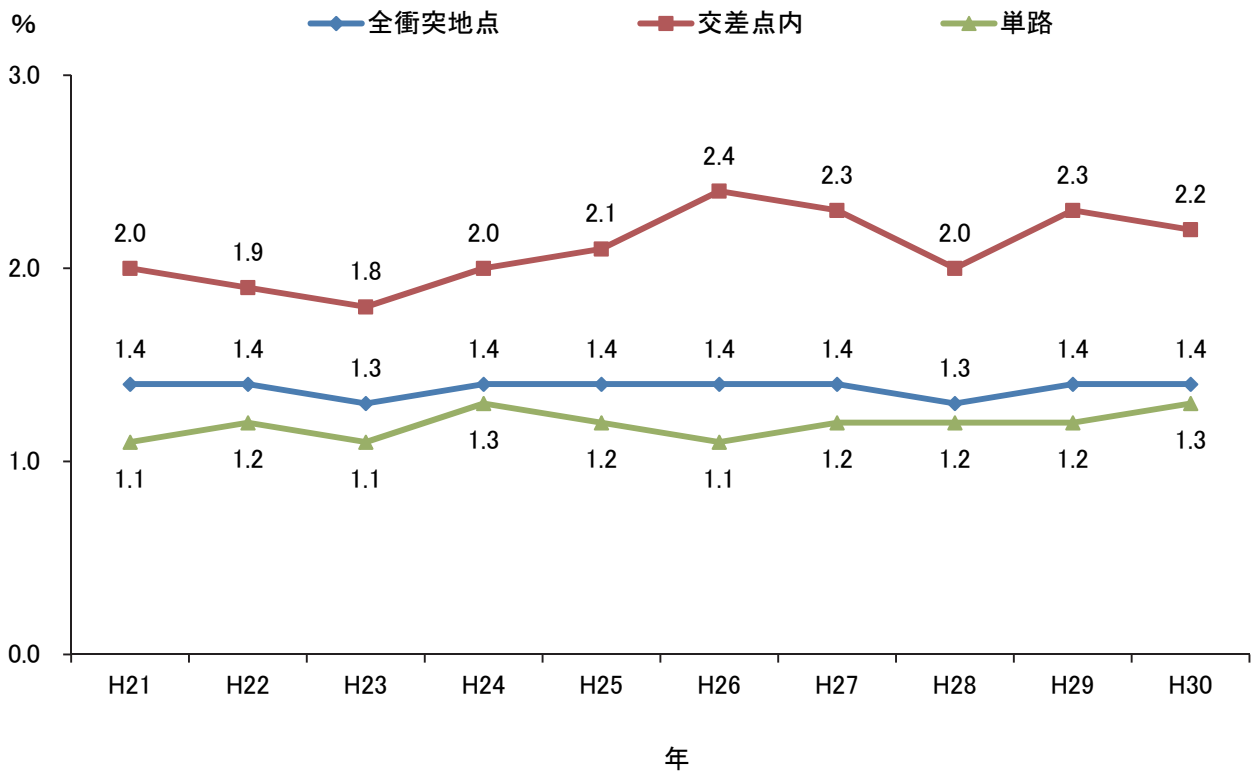


図 3-11 衝突地点別死者割合の推移（平成 21-30 年）

4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数

平成30年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数は、45-49歳2,291件(17.1%)、50-54歳2,011件(15.0%)、40-44歳1,712件(12.7%)、55-59歳1,550件(11.5%)、60-64歳1,242件(9.2%)となっています。

また、45歳から54歳を合計すると4,302件(32.0%)となり、さらに40歳から64歳を合計すると8,806件(65.6%)となっています。

表4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(平成30年)

運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
車両相互	追突	449	438	535	559	848	1,172	993	784	626	510	0	6,914
	出会い頭衝突	60	77	65	115	136	188	188	133	110	119	0	1,191
	正面衝突	5	6	7	12	18	25	22	19	21	16	0	151
	左折時衝突	24	33	45	79	126	143	142	96	70	66	0	824
	右折時衝突	26	42	42	48	86	102	99	70	70	61	0	646
	その他	112	131	173	205	360	469	406	309	240	236	0	2,641
対歩行者	26	40	51	89	114	169	130	113	88	74	0	894	
車両単独	5	3	13	9	24	23	31	26	17	15	0	166	
列車	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計		707	770	932	1,116	1,712	2,291	2,011	1,550	1,242	1,097	0	13,428

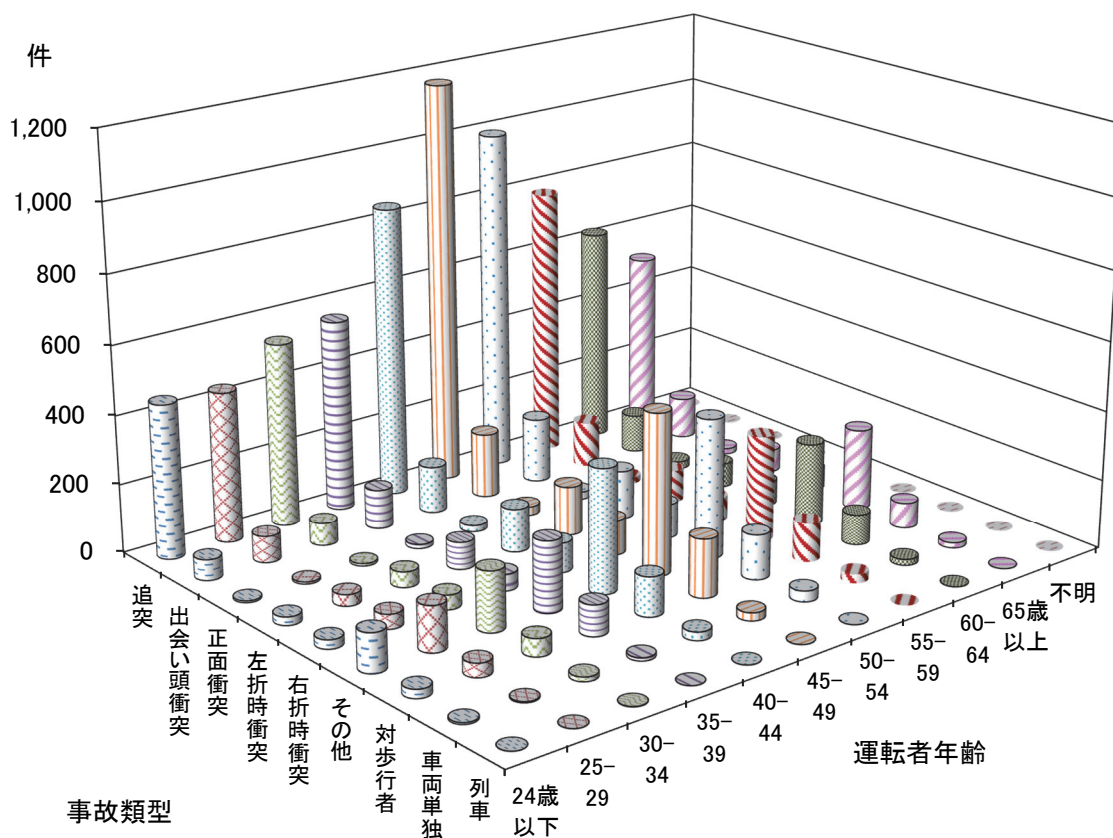


図4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(平成30年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率

平成30年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数の構成率は、車両相互のうち追突では、24歳以下63.5%、30-34歳57.4%、25-29歳56.9%となり、35歳未満の割合が高くなっています。

一方、車両相互のうち出会い頭衝突は、65歳以上10.8%、35-39歳10.3%、25-29歳10.0%となり、同じく左折時衝突は、40-44歳7.4%、35-39歳、50-54歳が共に7.1%となり、さらに同じく右折時衝突は、60-64歳、65歳以上が共に5.6%となっています。

また、対歩行者は、35-39歳8.0%、45-49歳7.4%、55-59歳7.3%となっています。

表4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
車両相互	追突	63.5	56.9	57.4	50.1	49.5	51.2	49.4	50.6	50.4	46.5	0.0	51.5
	出会い頭衝突	8.5	10.0	7.0	10.3	7.9	8.2	9.3	8.6	8.9	10.8	0.0	8.9
	正面衝突	0.7	0.8	0.8	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.7	1.5	0.0	1.1
	左折時衝突	3.4	4.3	4.8	7.1	7.4	6.2	7.1	6.2	5.6	6.0	0.0	6.1
	右折時衝突	3.7	5.5	4.5	4.3	5.0	4.5	4.9	4.5	5.6	5.6	0.0	4.8
	その他	15.8	17.0	18.6	18.4	21.0	20.5	20.2	19.9	19.3	21.5	0.0	19.7
対歩行者	3.7	5.2	5.5	8.0	6.7	7.4	6.5	7.3	7.1	6.7	0.0	6.7	
車両単独	0.7	0.4	1.4	0.8	1.4	1.0	1.5	1.7	1.4	1.4	0.0	1.2	
列車	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

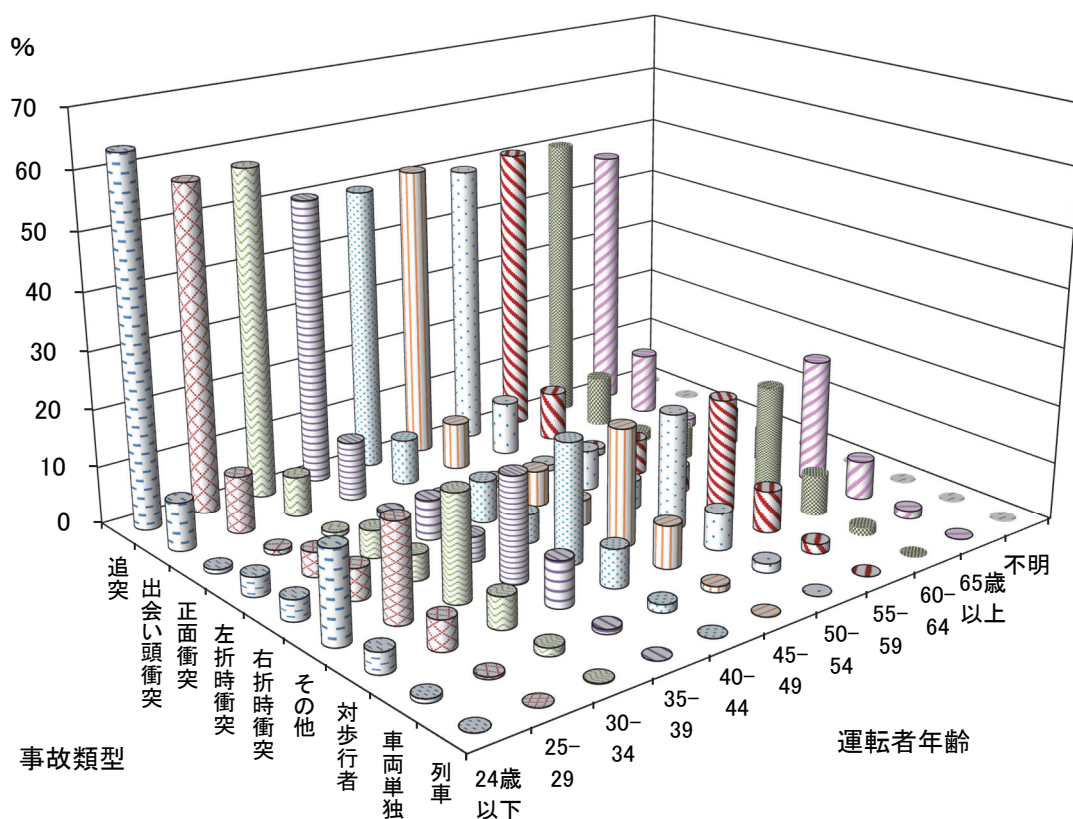


図4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別・第1当事者種別の死傷事故件数

平成30年の運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、45-49歳1,041件、50-54歳947件となっており、中型では、45-49歳693件、50-54歳583件、準中型では、45-49歳453件、50-54歳379件となり、普通では、45-49歳104件、50-54歳102件となっており、どの種別においても45-54歳が多くなっています。

表4-3 運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

第1当事者種別 \ 運転者年齢	24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
大型	94	243	326	419	768	1,041	947	683	507	378	0	5,406
中型	155	226	283	346	521	693	583	464	417	343	0	4,031
準中型	359	238	261	288	337	453	379	314	251	291	0	3,171
普通	99	63	62	63	86	104	102	89	67	85	0	820
合計	707	770	932	1,116	1,712	2,291	2,011	1,550	1,242	1,097	0	13,428

構成率でみると、大型は、50-54歳で47.1%、45-49歳で45.4%、40-44歳で44.9%と、40代から54歳以下での割合が高く、中型は、60-64歳で33.6%、65歳以上で31.3%となっており、24歳以下を除いてどの年代でも大型と中型でほぼ半数を占めています。

一方、準中型は、24歳以下で50.8%、25-29歳で30.9%、普通は、24歳以下で14.0%と若年層の割合が高くなっています。

このように、第1当事者の種別によって、運転者の年齢層が異なっています。

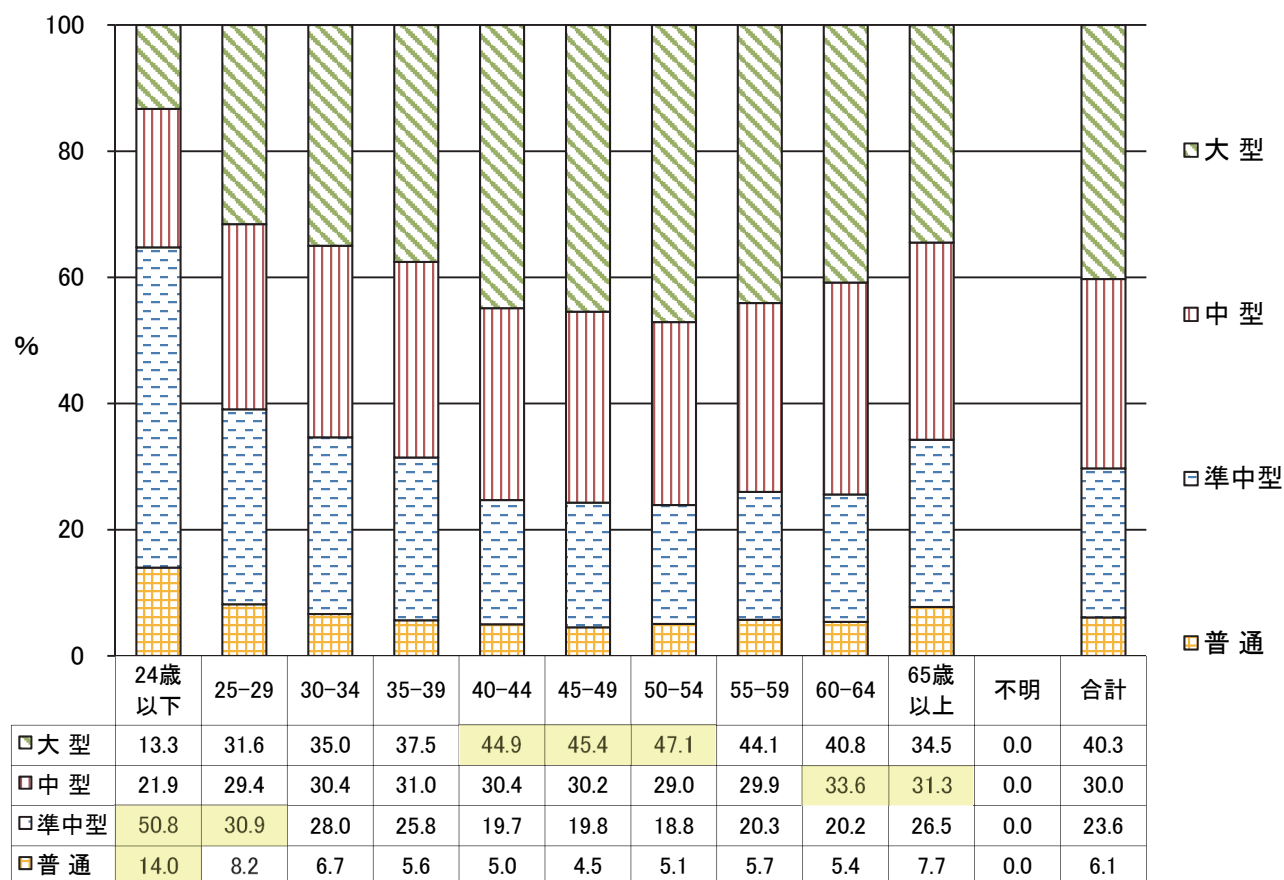


図4-3 運転者年齢別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（平成30年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

- ・運転者の年齢別の死傷事故件数は、平成 21 年と平成 22 年の 2 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 23 年から平成 27 年までの 5 年間は 40-44 歳が、平成 28 年から平成 30 年の 3 年間は 45-49 歳がそれぞれ最も高くなっています。

表 4-4 運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

運転者年齢	(件)										
	年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
24歳以下		1,434	1,242	1,101	930	667	704	715	655	672	707
25-29歳		2,217	2,082	1,927	1,670	1,338	1,217	1,024	888	801	770
30-34歳		2,793	2,766	2,439	2,193	1,695	1,634	1,394	1,210	1,110	932
35-39歳		3,714	3,763	3,524	3,173	2,495	2,132	1,787	1,507	1,377	1,116
40-44歳		3,410	3,733	3,760	3,786	3,201	3,018	2,637	2,286	2,058	1,712
45-49歳		2,742	3,067	3,027	3,134	2,761	2,830	2,607	2,464	2,443	2,291
50-54歳		2,524	2,518	2,713	2,595	2,153	2,086	2,050	1,803	1,982	2,011
55-59歳		2,847	2,644	2,674	2,448	1,818	1,864	1,678	1,542	1,553	1,550
60-64歳		2,116	2,272	2,428	2,269	1,533	1,457	1,349	1,238	1,190	1,242
65歳以上		1,200	1,365	1,272	1,341	830	859	915	1,007	1,031	1,097
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、45-49歳は平成21年の11.0%から平成30年の17.1%と、10年間で6.1ポイント増加しています。
- ・一方、40歳未満の年齢層は、平成21年の40.7%から平成30年の26.2%と、10年間で14.5ポイント減少しています。

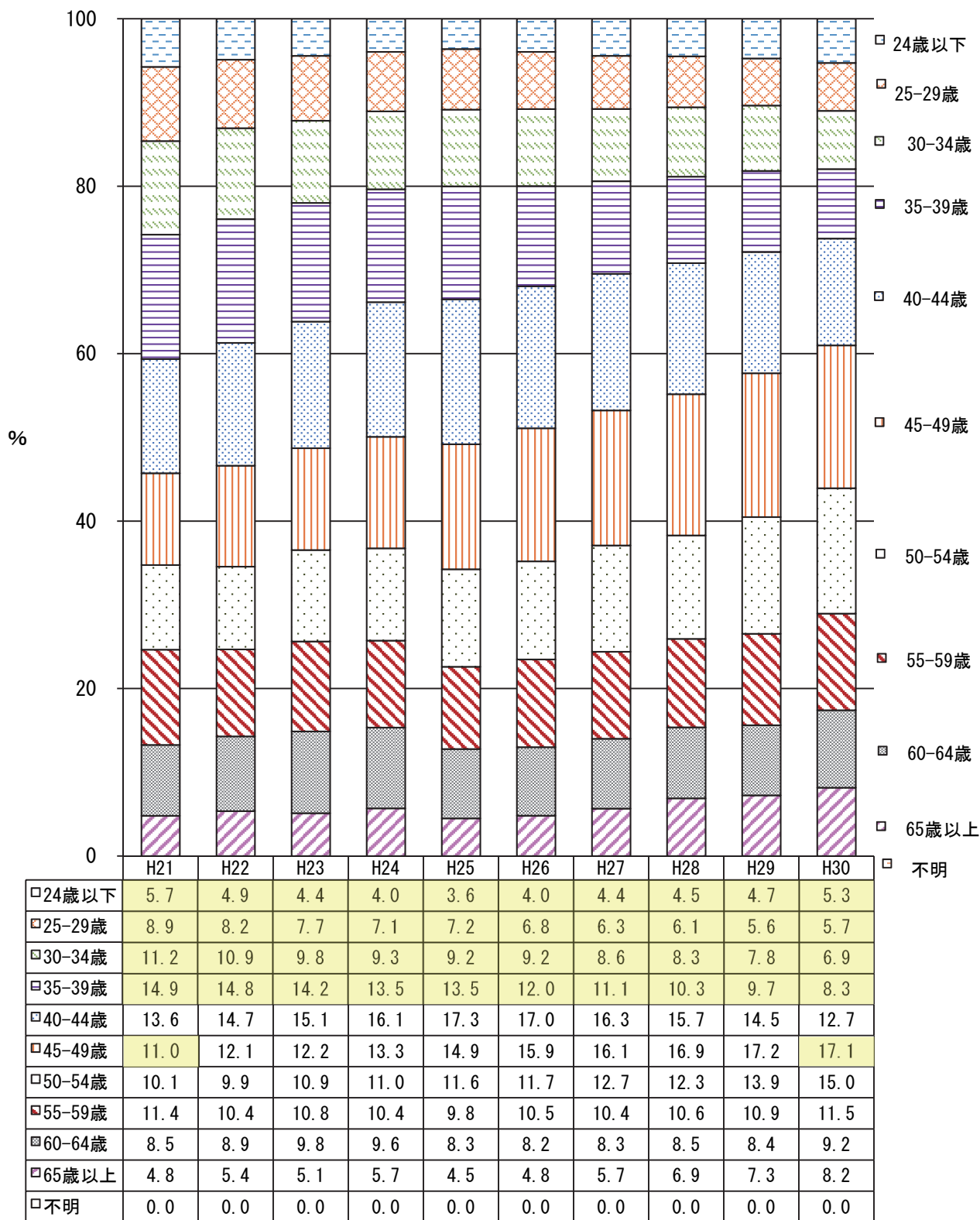


図 4-4 運転者年齢別死傷事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

- ・運転者の年齢別の死亡事故件数は、平成 21 年から平成 23 年までの 3 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 24 年から平成 29 年までの 6 年間は 40-44 歳及び 45-49 歳が多くなっており、平成 30 年は 50-54 歳が多くなっています。また、65 歳以上は、平成 21 年から平成 30 年まで 13 件から 20 件の間で増減を繰り返しています。

表 4-5 運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

運転者年齢	(件)										
	年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
24歳以下		16	14	7	12	10	9	8	9	3	5
25-29歳		30	22	27	21	24	16	18	9	11	6
30-34歳		42	45	33	44	29	36	27	19	21	11
35-39歳		70	72	65	49	45	29	36	20	26	22
40-44歳		62	69	57	76	60	65	51	48	35	37
45-49歳		58	53	43	52	63	53	51	43	56	42
50-54歳		36	39	50	40	40	48	40	39	50	53
55-59歳		43	42	40	37	23	28	31	31	34	31
60-64歳		25	32	29	39	36	29	32	20	18	33
65歳以上		15	16	16	18	19	17	14	20	17	13
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		397	404	367	388	349	330	308	258	271	253

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、40歳未満の年齢層は、平成21年の39.8%から平成30年の17.4%と、10年間で22.4ポイント減少し、逆に40歳以上はその分増加しています。

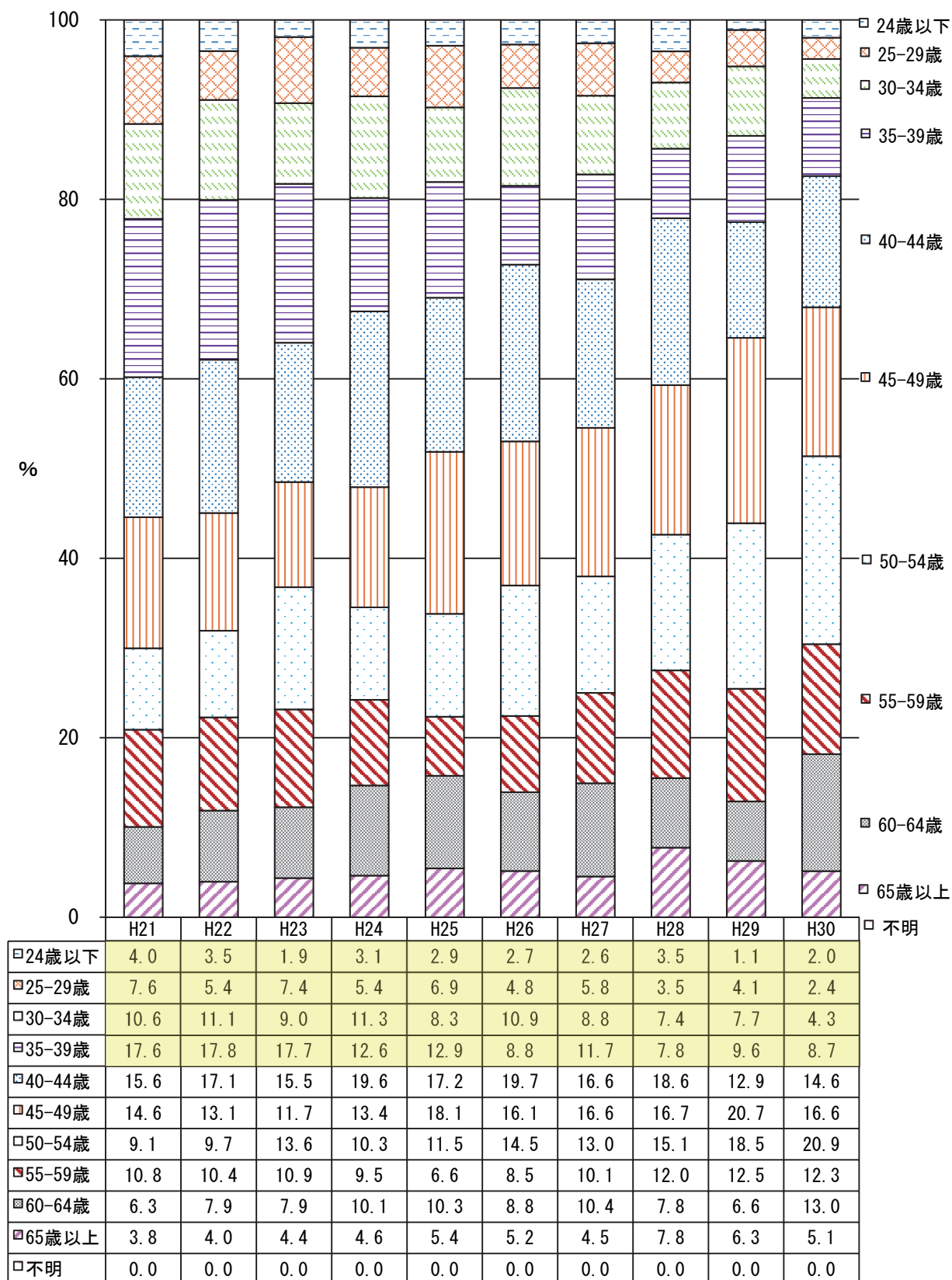


図 4-5 運転者年齢別死亡事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の構成率（平成30年）

平成30年の時間帯別の死傷事故件数及び構成率は、10-11時台2,242件（16.7%）、8-9時台2,211件（16.5%）、12-13時台1,763件（13.1%）となっています。

一方、死亡事故の件数及び構成率は、10-11時台36件（14.2%）、4-5時台30件（11.9%）、6-7時台28件（11.1%）となっています。

また、死亡事故率（死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合）は、0-1時台で6.9%、2-3時台で6.3%、4-5時台で4.5%、22-23時台で4.4%であり、死傷事故全体の死亡事故率（1.9%）と比較して、深夜・早朝の割合が高くなっています。

表5-1 時間帯別死傷事故件数の構成率（平成30年）

事故種別 時間(2時間毎)	死傷事故		死亡事故		死亡事故率(%) (A/B)
	件数(B)(件)	構成率(%)	件数(A)(件)	構成率(%)	
0-1	379	2.8	26	10.3	6.9
2-3	414	3.1	26	10.3	6.3
4-5	670	5.0	30	11.9	4.5
6-7	1,530	11.4	28	11.1	1.8
8-9	2,211	16.5	21	8.3	0.9
10-11	2,242	16.7	36	14.2	1.6
12-13	1,763	13.1	18	7.1	1.0
14-15	1,585	11.8	10	4.0	0.6
16-17	1,195	8.9	24	9.5	2.0
18-19	655	4.9	7	2.8	1.1
20-21	421	3.1	11	4.3	2.6
22-23	363	2.7	16	6.3	4.4
合計	13,428	100.0	253	100.0	1.9

※ 死亡事故率=死亡事故件数/死傷事故件数×100（小数点第2位切り捨て）

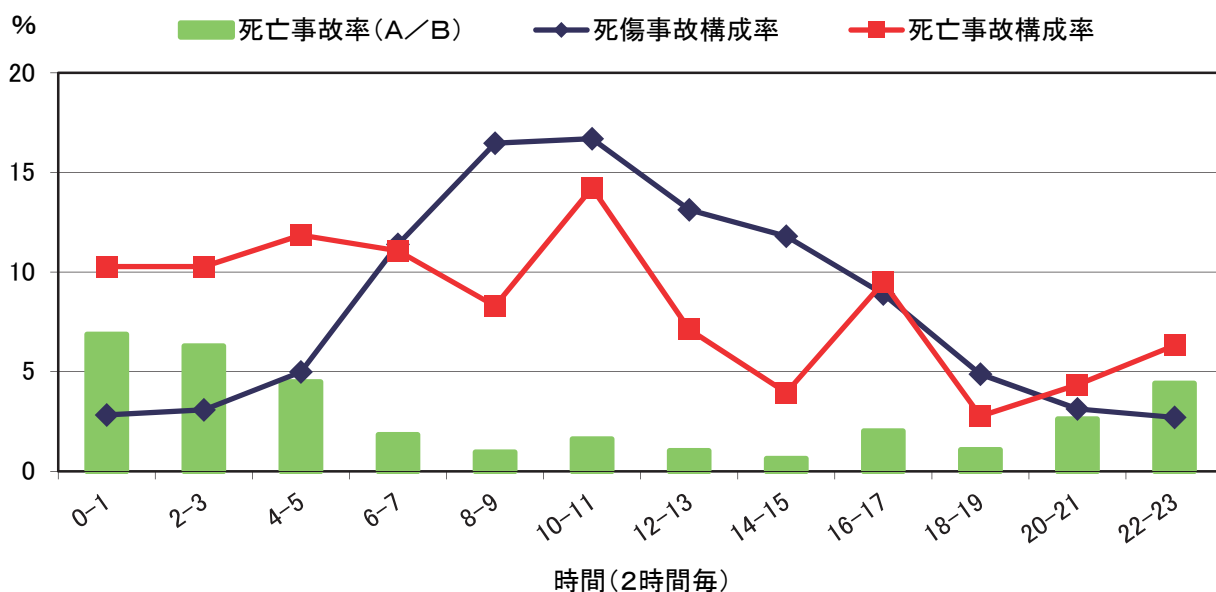


図5-1 時間帯別死亡事故件数の構成率（平成30年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

平成30年の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10-11時台873件、8-9時台823件、12-13時台665件となっています。

同様に中型では、10-11時台653件、8-9時台650件、12-13時台531件となっています。また、準中型では、8-9時台615件、10-11時台561件、12-13時台442件となっており、普通では、10-11時台155件、12-13時台125件、8-9時台123件となっており、どの種別でも8-13時台の昼間の割合が多くなっています。

表5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

時間(2時間毎) 第1当事者種別	(件)												
	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
大型	155	182	289	602	823	873	665	640	468	291	214	204	5,406
中型	130	130	226	509	650	653	531	441	344	175	142	100	4,031
準中型	82	82	133	349	615	561	442	388	284	139	47	49	3,171
普通	12	20	22	70	123	155	125	116	99	50	18	10	820
合計	379	414	670	1,530	2,211	2,242	1,763	1,585	1,195	655	421	363	13,428

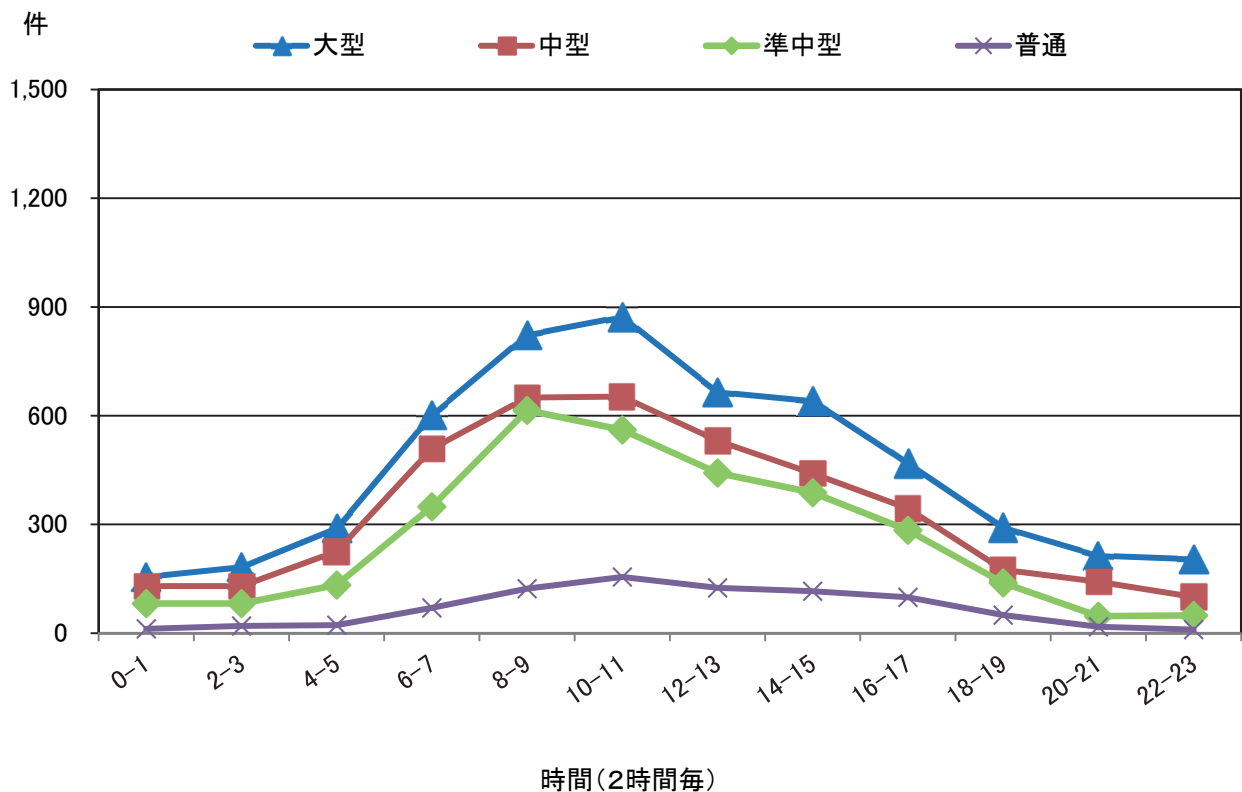


図5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

(3) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成30年）

平成30年の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10-11時台20件、6-7時台及び16-17時台が各16件となっています。

同様に中型では、10-11時台12件、2-3時台9件となっています。また、準中型では、6-7時台8件、4-5時台6件となっており、普通では、20-21時台2件となっています。

全体に、21ページの死傷事故の傾向に比べて年によるバラつきが大きく、特徴的な傾向が見られません。

表5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成30年）

時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
大型	14	14	15	16	13	20	7	7	16	3	8	10	143
中型	8	9	8	3	5	12	6	1	6	2	0	6	66
準中型	4	3	6	8	3	3	5	2	2	2	1	0	39
普通	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	5
合計	26	26	30	28	21	36	18	10	24	7	11	16	253

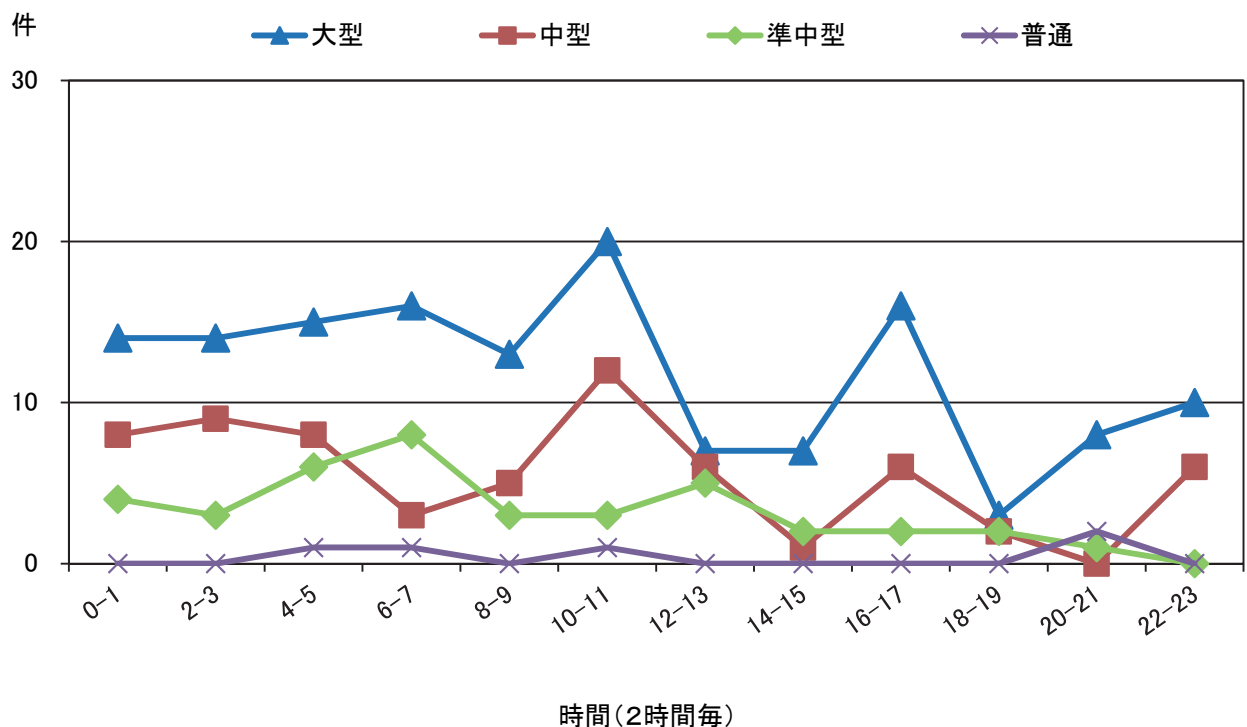


図5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成30年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

- ・時間帯別の死傷事故件数は、平成 21 年から平成 30 年までの 10 年間、いずれも 10-11 時台が最も多くなっています。
- ・10-11 時台は、平成 21 年の 4,260 件から平成 30 年は 2,242 件となり、10 年間で半減しています。

表 5-4 時間帯別死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

年 時間(2時間毎)	(件)									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
0-1	697	701	713	652	560	554	488	436	419	379
2-3	679	827	753	720	657	595	561	416	452	414
4-5	1,121	1,132	1,179	1,140	942	893	818	739	732	670
6-7	2,283	2,515	2,414	2,392	2,036	1,952	1,770	1,643	1,511	1,530
8-9	3,840	3,808	3,732	3,531	2,848	2,797	2,601	2,395	2,310	2,211
10-11	4,260	4,191	4,060	3,779	3,000	2,882	2,639	2,438	2,388	2,242
12-13	3,363	3,343	3,239	3,036	2,443	2,303	2,049	1,858	1,871	1,763
14-15	3,168	3,121	3,086	2,931	2,265	2,092	1,891	1,730	1,752	1,585
16-17	2,393	2,484	2,398	2,343	1,577	1,647	1,429	1,257	1,225	1,195
18-19	1,580	1,581	1,530	1,459	959	955	923	745	709	655
20-21	906	956	939	880	628	581	536	469	465	421
22-23	707	793	822	676	576	550	451	474	383	363
合計	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、平成21年から平成30年の10年間、10-11時台がほぼ16%台、8-9時台が15-16%台の範囲で、いずれも推移しています。
- ・平成21年から平成30年の10年間では、16-17時台は、平成24年の10.0%をピークに、平成29年まで8.6%と減少傾向にあったが、平成30年に8.9%と微増しています。
- ・一方で、0-1時台、2-3時台及び22-23時台が、2から3%台で微増減するものの、大きな変動は見られません。

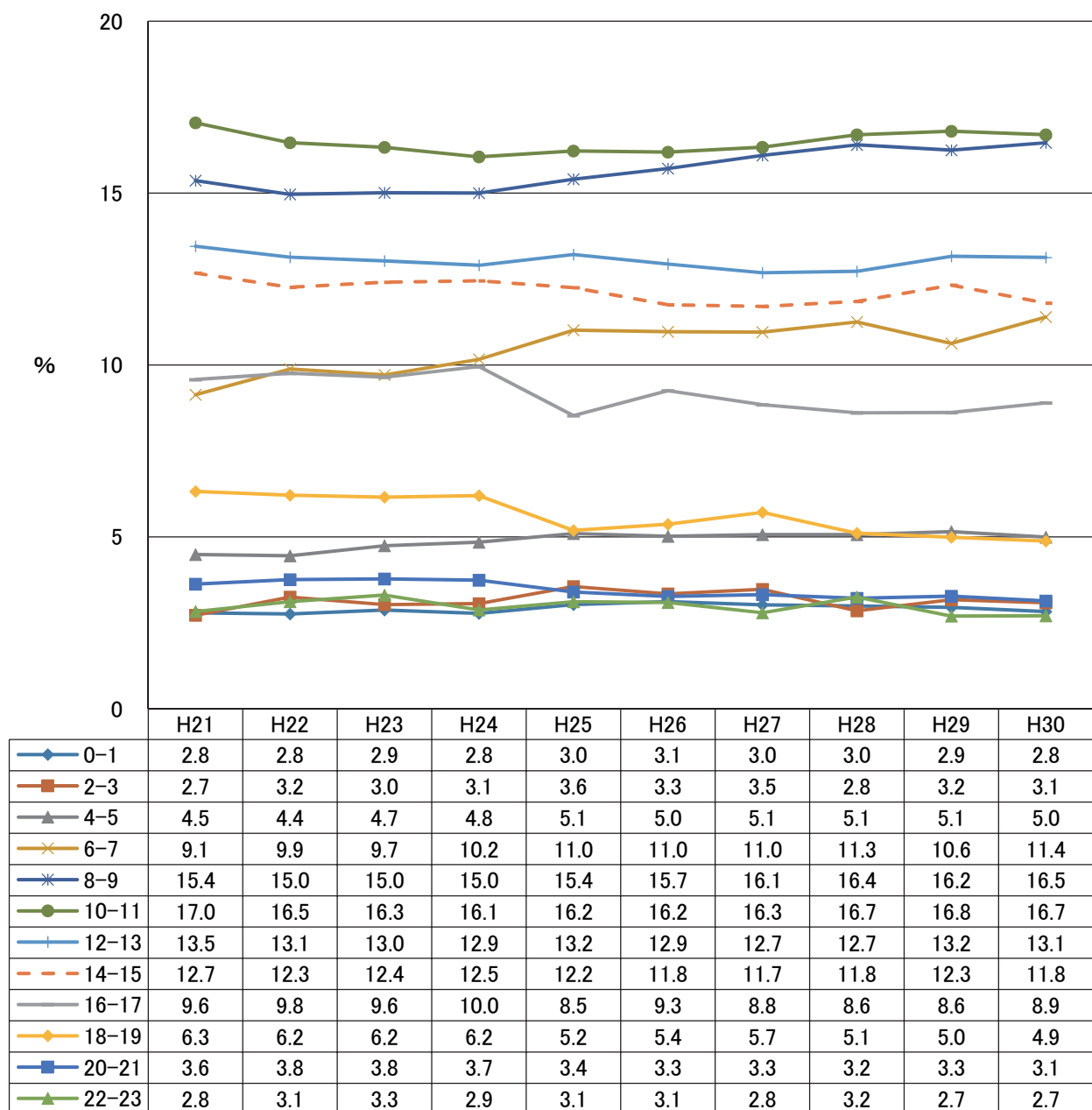


図5-4 時間帯別死傷事故件数構成率の推移（平成21-30年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

- ・時間帯別の死亡事故件数は、平成 21 年から平成 29 年の 9 年間は、4-5 時台が最も多くなっていたましたが、平成 30 年には 10-11 時台が最も多くなっています。
- ・4-5 時台は、平成 21 年の 61 件から平成 30 年には 30 件となり、10 年間で 31 件（50.8%）と、半減しています。

表 5-5 時間帯別死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

(件)

年 時間(2時間毎)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
0-1	34	37	43	34	42	31	33	24	17	26
2-3	37	46	36	53	42	37	41	26	32	26
4-5	61	54	54	67	52	47	43	44	36	30
6-7	33	32	31	23	21	24	25	19	28	28
8-9	39	31	39	24	23	33	27	26	28	21
10-11	49	45	42	43	30	27	28	37	36	36
12-13	36	30	25	26	28	28	20	14	14	18
14-15	23	31	31	27	22	23	19	16	25	10
16-17	19	26	22	20	20	25	20	14	12	24
18-19	17	10	9	22	19	15	15	11	12	7
20-21	19	25	17	21	21	19	19	10	15	11
22-23	30	37	18	28	29	21	18	17	16	16
合計	397	404	367	388	349	330	308	258	271	253

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、平成21年から平成30年までの10年間をとおして4-5時台の割合が常に最も高く、11%台から17%台の間で推移しています。
- ・平成21年から平成30年までの10年間をとおして、0時-5時の夜中から早朝時間帯の割合が概して高く、逆に18-19時の夕方から夜間時間帯の割合は概して低い傾向にあります。
- ・全体に、24ページの死傷事故の傾向に比べてバラつきが大きくなっています。

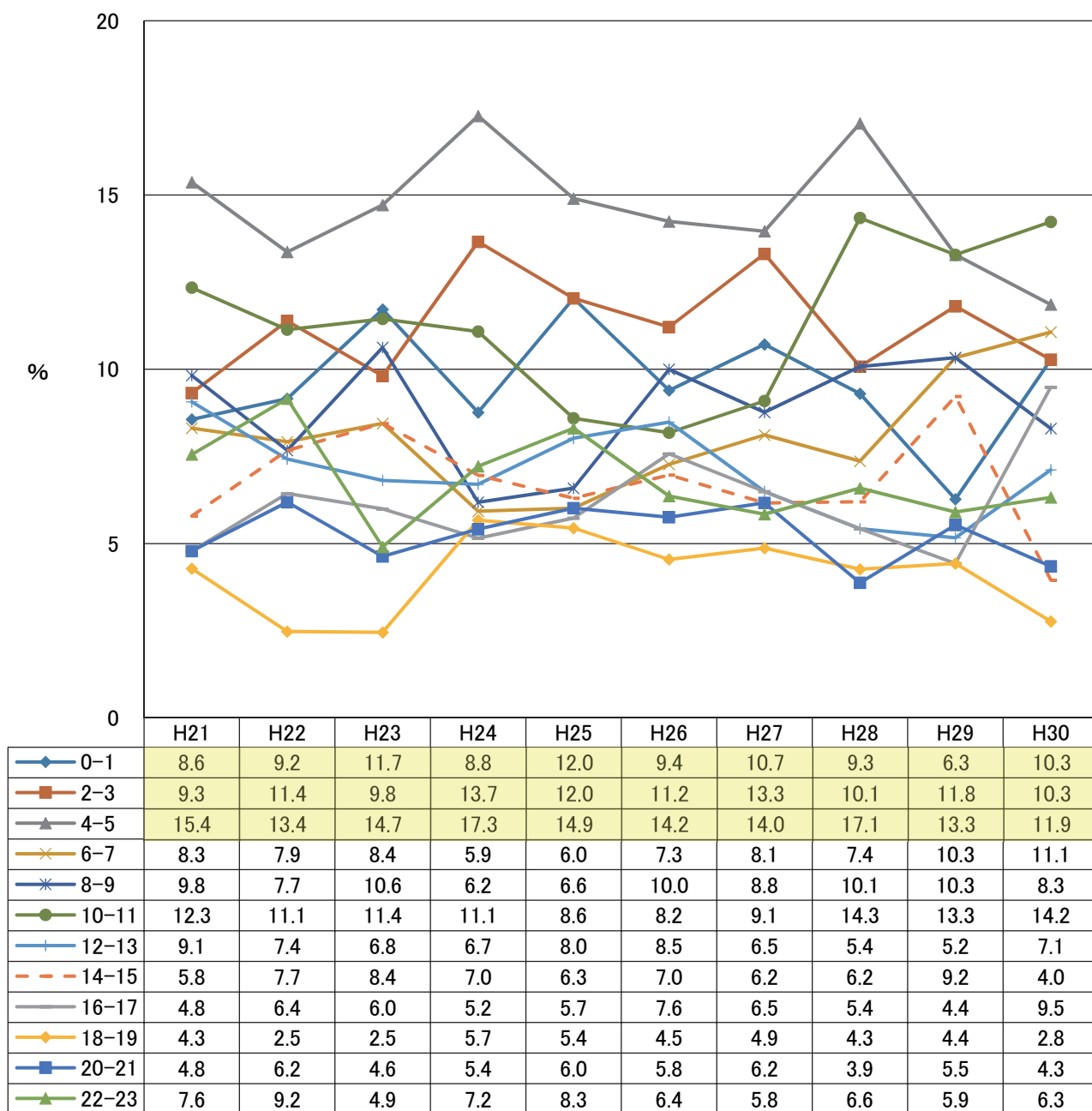


図 5-5 時間帯別死亡事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

平成30年の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10km/h以下が1,566件、41-50km/h以下が776件、11-20km/h以下が708件となっています。中型では、10km/h以下が1,165件、31-40km/h以下が635件、11-20km/h以下が564件となっており、準中型では、10km/h以下が1,078件、11-20km/h以下が617件、31-40km/h以下が463件、普通では、10km/h以下が339件、11-20km/h以下が160件、21-30km/h以下が119件となっています。

表 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

速度 第1当事者種別	速度															不明	合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超			
大型	1,566	708	453	705	776	563	205	261	139	20	1	0	0	0	9	5,406	
中型	1,165	564	466	635	553	347	104	92	48	38	10	0	0	0	9	4,031	
準中型	1,078	617	416	463	344	167	44	22	9	5	2	0	0	0	4	3,171	
普通	339	160	119	102	61	21	3	6	0	3	0	0	0	0	6	820	
合計	4,148	2,049	1,454	1,905	1,734	1,098	356	381	196	66	13	0	0	0	28	13,428	

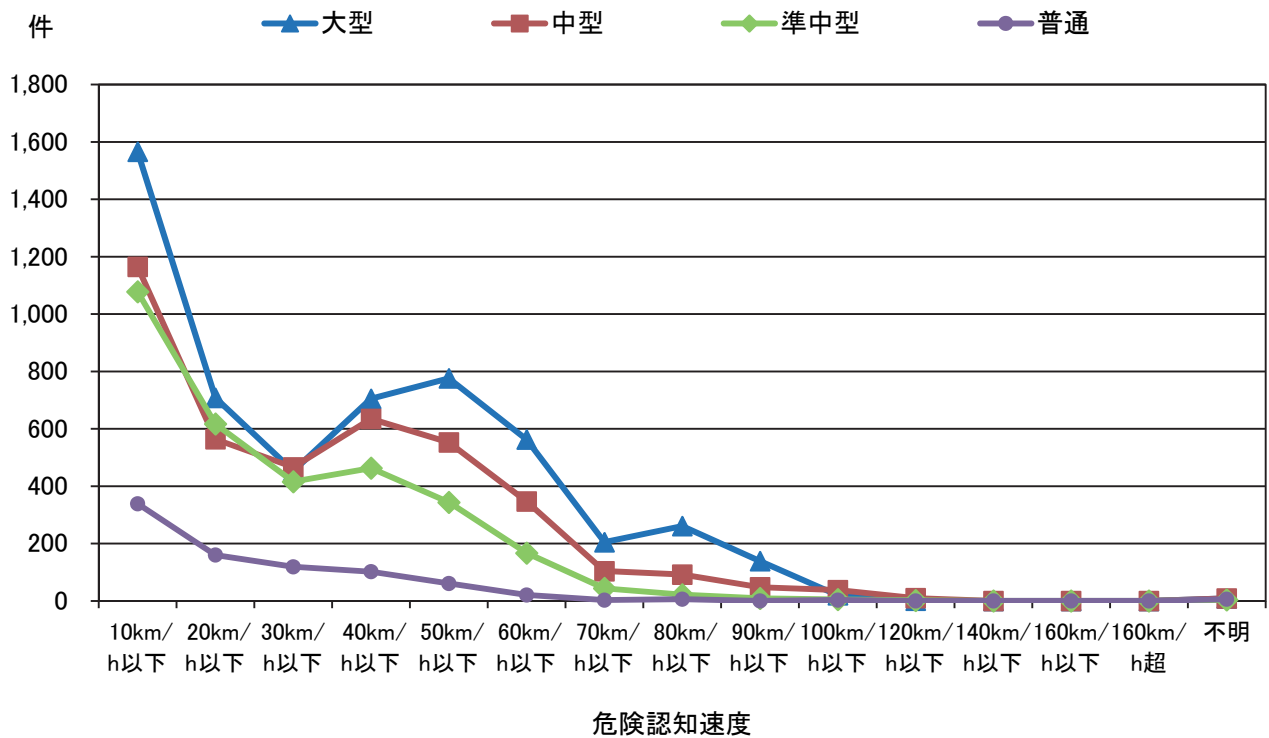


図 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

(2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成30年）

平成30年の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、11-20km/h以下が27件、10km/h以下が23件、51-60km/h以下が19件となっています。中型では、51-60km/h以下が16件、41-50km/h以下が9件、11-20km/h以下、61-70km/h以下が各7件となっており、準中型では、11-20km/h以下が8件、10km/h以下が7件、51-60km/h以下が6件となり、普通では、21-30km/h以下、31-40km/h以下、41-50km/h以下、71-80km/h以下、91-100km/h以下が各1件となっています。

全体に、27ページの死傷事故の傾向に比べてバラつきが大きくなっています。

表6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成30年）

危険認知速度 第1当事者種別	(件)															
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	23	27	3	7	17	19	15	16	11	2	1	0	0	0	2	143
中型	5	7	4	4	9	16	7	5	3	4	0	0	0	0	2	66
準中型	7	8	4	1	5	6	3	1	2	1	0	0	0	0	1	39
普通	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5
合計	35	42	12	13	32	41	25	23	16	8	1	0	0	0	5	253

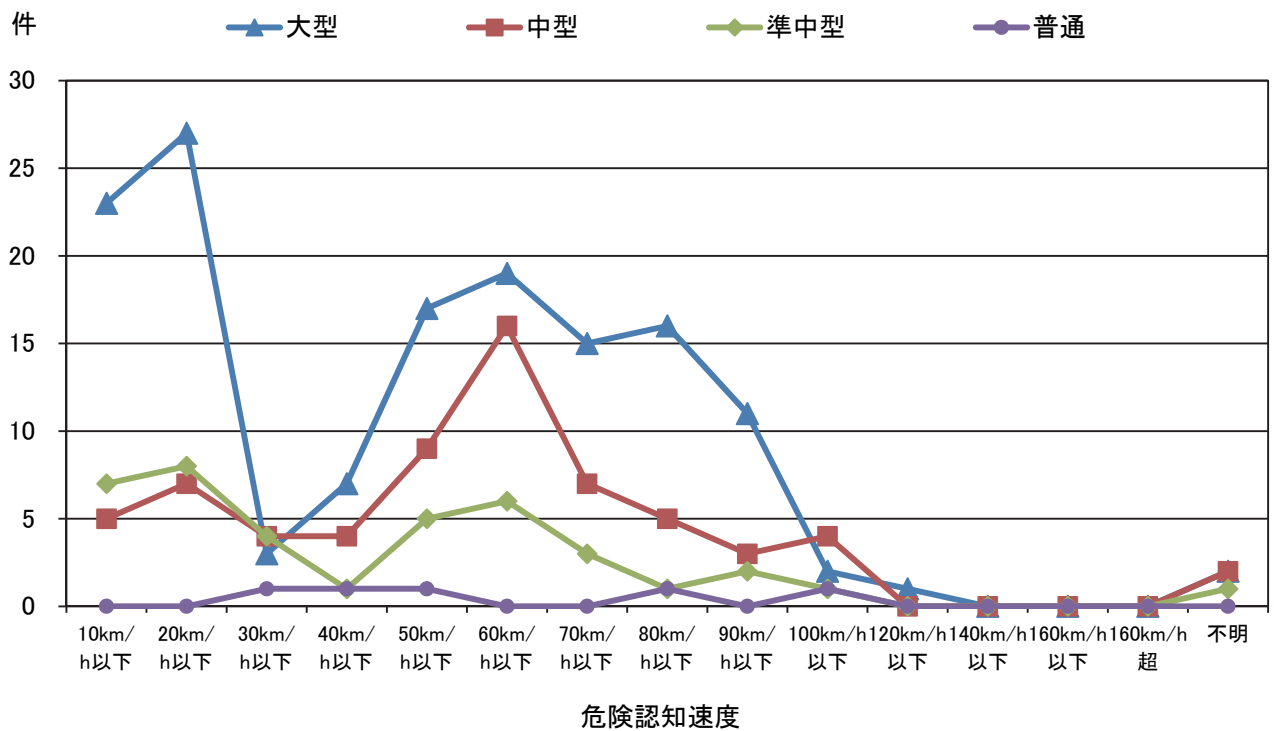


図6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成30年）

(3) 事業用貨物自動車の危険認知速度別の死亡事故率（平成 30 年）

平成 30 年の危険認知速度別の死亡事故率は、91-100km/h以下が 12.1%、81-90km/h以下が 8.2%、100km/h超が 7.7%、61-70km/h以下が 7.0%、71-80km/h以下が 6.0%であり、61km/h以上の速度で、高速度になるに従い死亡事故率が高くなっています。

表 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（平成 30 年）

事故種別	速度												不明	合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	100km/h超			
死傷事故件数(件)	4,148	2,049	1,454	1,905	1,734	1,098	356	381	196	66	13	28	13,428	
死亡事故件数(件)	35	42	12	13	32	41	25	23	16	8	1	5	253	
死亡事故率(%)	0.8	2.0	0.8	0.7	1.8	3.7	7.0	6.0	8.2	12.1	7.7	17.9	1.9	

※ 死亡事故率=死亡事故件数/事故件数×100

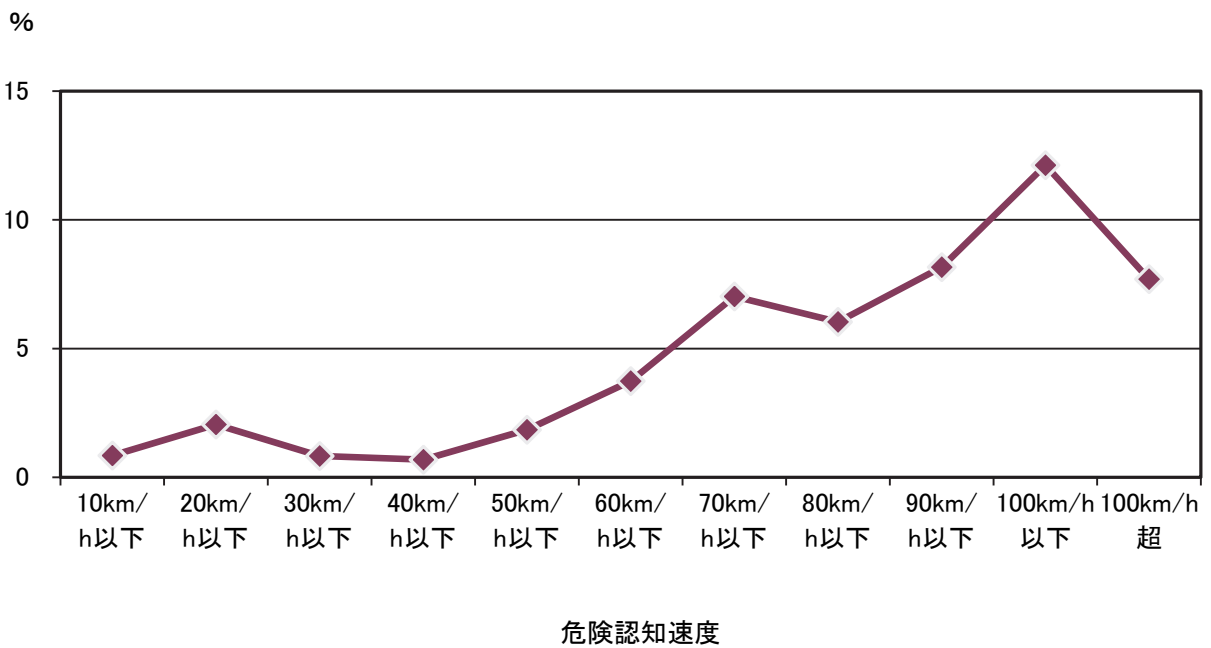


図 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（平成 30 年）

7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（平成30年）

平成30年の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数は、8-9時台の10km/h以下が272件、10-11時台の10km/h以下が271件、12-13時台の10km/h以下が225件、10-11時台の31-40km/h以下が219件、6-7時台の10km/h以下が212件、14-15時台の10km/h以下が211件と比較的多い状況になっており、昼間の時間帯での10km/h以下の事故が多くなっています。

表 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（平成30年）

時間（2時間毎） 危険認知速度	(件)												
	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	10	11	38	212	272	271	225	211	150	61	35	21	1,517
20km/h以下	14	13	24	108	165	148	101	104	68	25	13	8	791
30km/h以下	17	11	29	105	168	147	142	128	91	44	24	8	914
40km/h以下	35	34	59	147	183	219	176	145	113	66	35	26	1,238
50km/h以下	39	40	46	99	156	186	196	167	88	46	30	35	1,128
60km/h以下	29	36	46	60	90	126	92	69	52	35	27	27	689
70km/h以下	14	10	16	22	19	40	28	20	17	6	13	14	219
80km/h以下	17	26	11	18	20	28	26	21	18	10	11	17	223
90km/h以下	18	14	17	9	9	12	5	9	3	7	11	16	130
100km/h以下	9	4	5	3	2	1	8	3	2	1	3	6	47
120km/h以下	0	1	2	4	0	0	0	1	1	0	0	1	10
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	0	0	3	1	0	0	0	2	0	0	1	8
合計	203	200	293	790	1,085	1,178	999	878	605	301	202	180	6,914

構成率で見ると、20-5 時台では 41-50km/h以下の割合が高く、6-17 時台では 10km/h以下の割合が高くなっています。

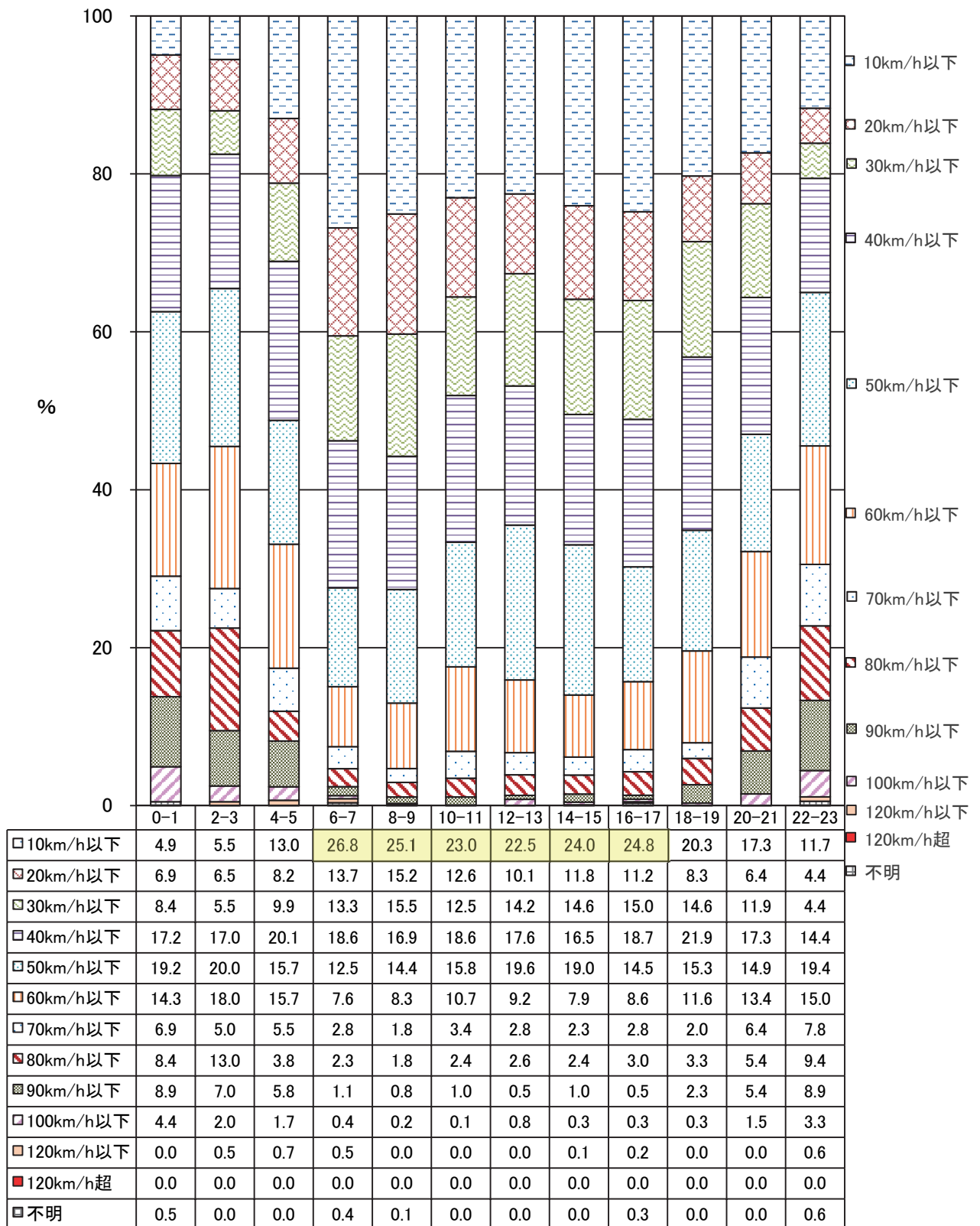


図 7-1 時間帯別・危険認知速度別追突死傷事故件数の構成率（平成 30 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 30 年）

平成 30 年の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数は、0-1 時台・81-90km/h以下および 16-17 時台・71-80km/h以下の 4 件が最も多い状況になっています。

表 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 30 年）

(件)

時間帯(2時間毎) 危険認知速度	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
20km/h以下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50km/h以下	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5
60km/h以下	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	7
70km/h以下	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	6
80km/h以下	2	2	0	2	0	1	1	1	4	0	1	0	14
90km/h以下	4	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	7
100km/h以下	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	8	4	4	4	2	8	4	2	8	1	2	1	48

構成率でみると、0-1 時台では 61-90km/h以下（計 87.5%）に、4-5 時台では 51-70km/h以下（計 75%）に、8-9 時台では 41-60km/h以下（計 100%）に、10-11 時台では 41-90km/h以下（計 75%）に、12-13 時台では 71-100km/h以下（計 100%）に、18-19 時台では 61-70km/h以下（100%）に、22-23 時台では 51-60km/h以下（100%）に集中しています。

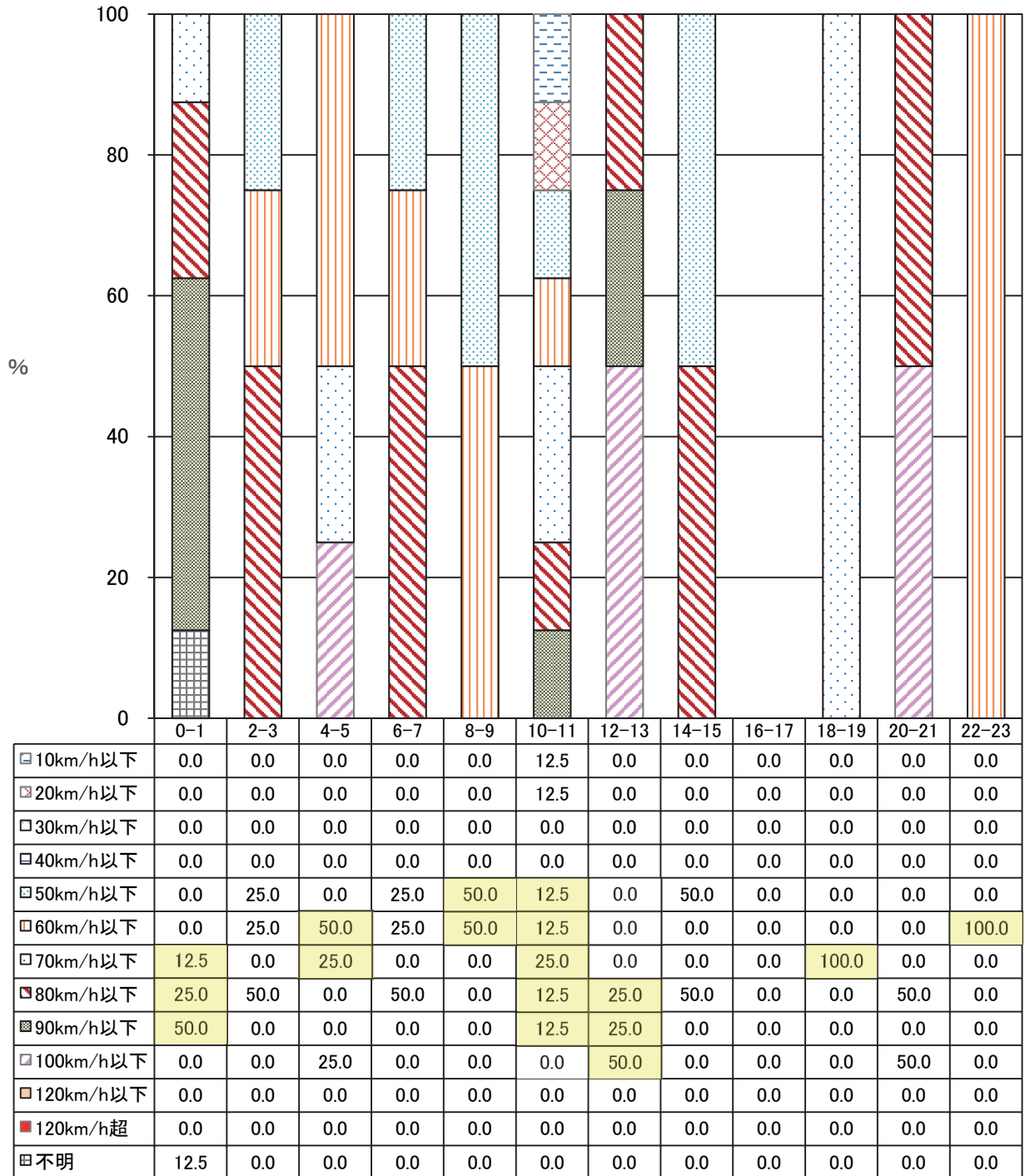


図 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 30 年）

8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況

平成30年の行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、直進（等速）2,336件、発進679件、直進（減速）495件となっています。中型では、直進（等速）2,027件、発進474件、直進（減速）386件となっており、準中型では、直進（等速）1,461件、発進395件、直進（減速）322件、普通では、直進（等速）331件、発進145件、直進（減速）77件となっています。

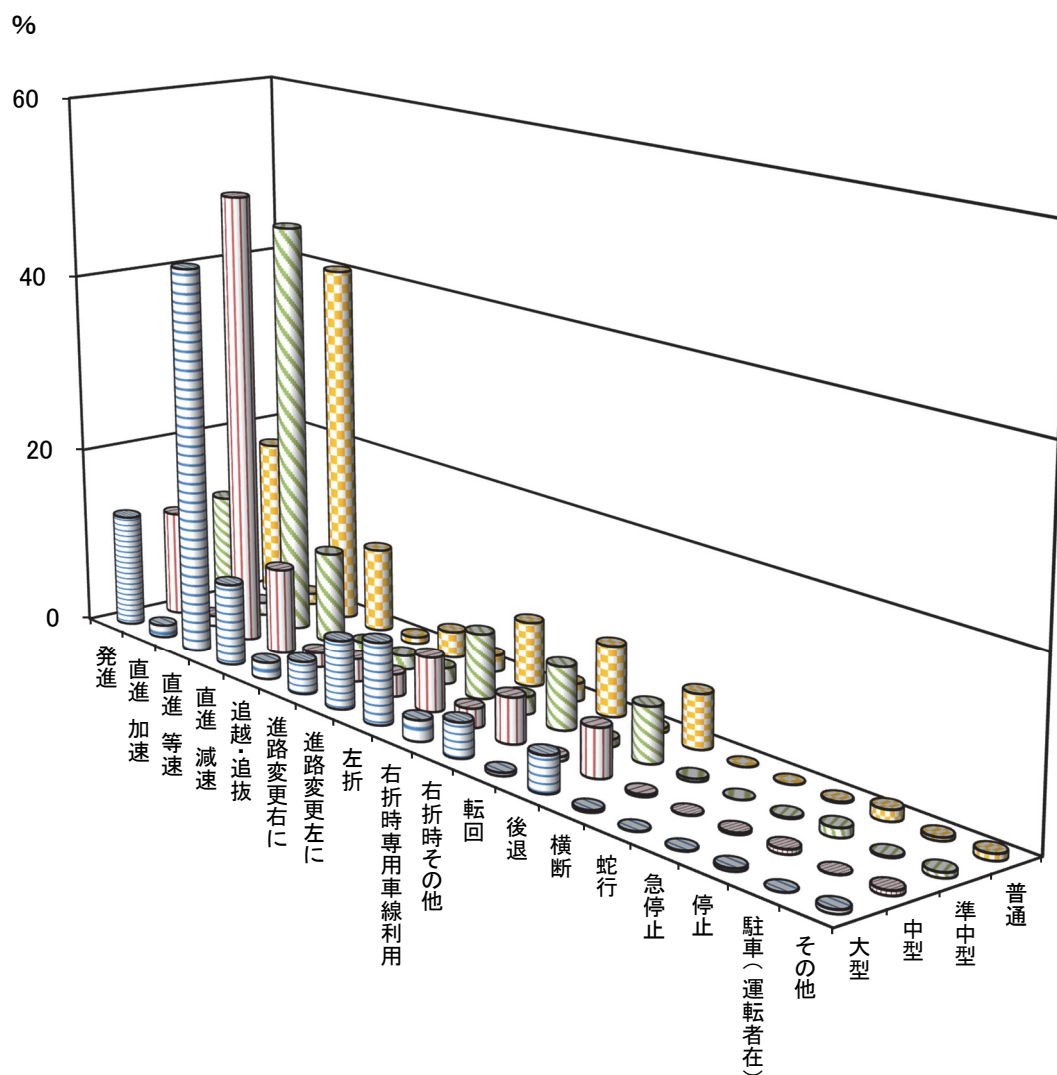
いずれの種別でも、同様の傾向がみられます。

表8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

行動類型 第1当事者種別	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路変 更右に	進路変 更左に	左折	右折時 専用車 線利用	右折時 その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車(運転者 在)	その他	合計
大型	679	73	2,336	495	100	195	412	490	125	208	19	217	13	2	3	16	0	23	5,406
中型	474	47	2,027	386	65	103	100	243	85	203	19	216	10	2	8	21	1	21	4,031
準中型	395	45	1,461	322	45	49	56	230	61	220	26	193	10	0	4	32	4	18	3,171
普通	145	10	331	77	6	24	15	59	16	64	4	49	0	0	1	10	3	6	820
合計	1,693	175	6,155	1,280	216	371	583	1,022	287	695	68	675	33	4	16	79	8	68	13,428

構成率で見ると、大型では、直進（等速）43.2%、発進12.6%、直進（減速）9.2%、左折9.1%となっています。中型では、直進（等速）50.3%、発進11.8%、直進（減速）9.6%、左折6.0%となっており、準中型では、直進（等速）46.1%、発進12.5%、直進（減速）10.2%、左折7.3%となっており、普通では、直進（等速）40.4%、発進17.7%、直進（減速）9.4%、右折時（その他）7.8%となっています。



	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路 変更右に	進路 変更左に	左折	右折 専用車 線利用	右折 時その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車 (運転者 在)	その他
大型	12.6	1.4	43.2	9.2	1.8	3.6	7.6	9.1	2.3	3.8	0.4	4.0	0.2	0.0	0.1	0.3	0.0	0.4
中型	11.8	1.2	50.3	9.6	1.6	2.6	2.5	6.0	2.1	5.0	0.5	5.4	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	0.5
準中型	12.5	1.4	46.1	10.2	1.4	1.5	1.8	7.3	1.9	6.9	0.8	6.1	0.3	0.0	0.1	1.0	0.1	0.6
普通	17.7	1.2	40.4	9.4	0.7	2.9	1.8	7.2	2.0	7.8	0.5	6.0	0.0	0.0	0.1	1.2	0.4	0.7

図8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数の構成率（平成30年）

9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況

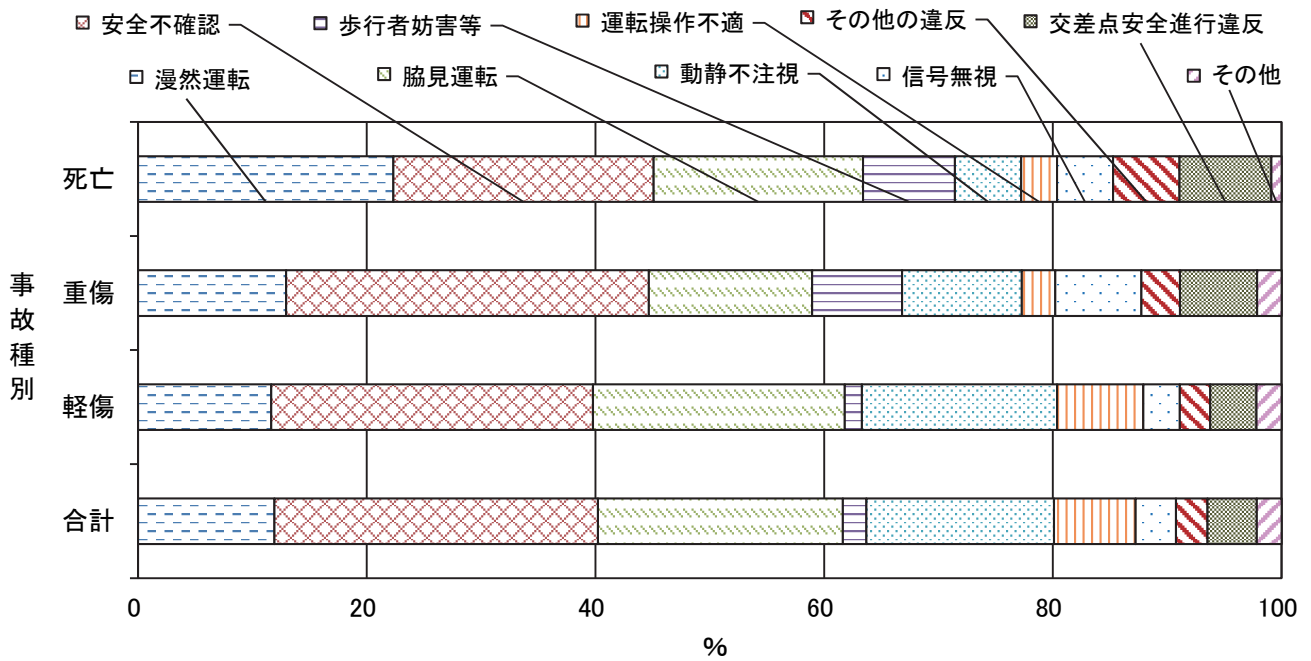
平成30年の法令違反（事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反）別の死傷事故件数及び構成率は、全体では、安全不確認3,595件（26.8%）、脇見運転2,721件（20.3%）、動静不注視2,085件（15.5%）となっています。

一方、死亡事故では、安全不確認51件（20.2%）、漫然運転50件（19.8%）、脇見運転41件（16.2%）、となっています。

また、重傷事故では、安全不確認282件（27.5%）、脇見運転127件（12.4%）、漫然運転115件（11.2%）となっており、軽傷事故では、安全不確認3,262件（26.8%）、脇見運転2,553件（21.0%）、動静不注視1,979件（16.3%）となっています。

表9-1 法令違反別の死傷事故件数及び構成率（平成30年）

法令違反 事故類型	死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合計		
	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	
信号無視	11	4	67	7	371	3	449	3	
通行区分違反	5	2	15	1	52	0	72	1	
最高速度違反	6	2	5	0	7	0	18	0	
横断・転回等違反	2	1	12	1	76	1	90	1	
車間距離不保持	1	0	3	0	65	1	69	1	
追越し禁止違反	3	1	12	1	68	1	83	1	
踏切不停止	0	0	0	0	1	0	1	0	
右折違反	0	0	0	0	29	0	29	0	
左折違反	1	0	11	1	79	1	91	1	
環状交差点違反	0	0	0	0	0	0	0	0	
優先通行妨害	7	3	16	2	71	1	94	1	
交差点安全進行違反	8	3	77	8	368	3	453	3	
歩行者妨害等	18	7	70	7	174	1	262	2	
徐行違反	1	0	10	1	28	0	39	0	
一時不停止	3	1	12	1	98	1	113	1	
整備不良	0	0	2	0	11	0	13	0	
酒酔い運転	0	0	0	0	0	0	0	0	
過労等	薬物運転	1	0	0	0	1	0	2	0
	過労運転	3	1	4	0	12	0	19	0
安全運転義務違反	運転操作不適	7	3	26	3	874	7	907	7
	漫然運転	50	20	115	11	1,349	11	1,514	11
	脇見運転	41	16	127	12	2,553	21	2,721	20
	動静不注視	13	5	93	9	1,979	16	2,085	16
	安全不確認	51	20	282	27	3,262	27	3,595	27
	安全速度違反	5	2	15	1	55	0	75	1
その他	2	1	19	2	255	2	276	2	
その他の違反	13	5	30	3	307	3	350	3	
不明	1	0	3	0	4	0	8	0	
合計	253	100	1,026	100	12,149	100	13,428	100	



※ 構成率については、死亡事故件数の多い9項目及びその他とする。

図 9-1 法令違反別死傷事故件数の構成率 (平成 30 年)

(参考)

主な用語の意味

用語	意味
漫然運転	脇見運転ではないが、運転中に“運転以外のことを考えていた”、“ぼんやりしていた”、“ラジオ放送に聞き入っていた”等のために注意の的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
脇見運転	風景、案内標識、他車や歩行者等の動静を見ていた等、前方の交通環境を認識せず運転し、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動静不注視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り、事故を発生させた場合等をいいます。
安全不確認	前方、後方、側方の確認が可能な速度に減速したが、確認を十分に行われなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。

参 考

事業用貨物自動車の主な法令違反別死亡事故の推移（平成 21-30 年）

- ・死亡事故において多い法令違反 3 項目では、漫然運転は、平成 22 年に 103 件と大きく増加したものの、平成 25 年以降はおおむね減少傾向にあり、平成 30 年は 50 件と、平成 22 年から半減しています。
- ・脇見運転は、平成 24 年の 75 件をピークにそれ以降はおおむね減少傾向にあります。
- ・安全不確認は、大きな減少傾向がみられず、平成 30 年は前年の 36 件と比べて 51 件と、大きく増加しています。

表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移（平成 21-30 年）

法令違反	(件)										
	年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
漫然運転		72	103	76	77	88	78	63	57	58	50
脇見運転		59	74	63	75	56	51	55	35	41	41
安全不確認		56	53	50	48	50	40	49	40	36	51
合計		397	404	367	388	349	330	308	258	271	253

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、漫然運転は、平成 22 年と平成 25 年に 25% を超えたものの、平成 30 年は 20% を下回っています。脇見運転は、平成 21 年から平成 30 年まで、おおむね 16% 前後の傾向にあります。さらに、安全不確認は、平成 21 年から平成 29 年まではおおむね 14% 程度だったものの、平成 30 年は大きく増加し 20% を超えています。

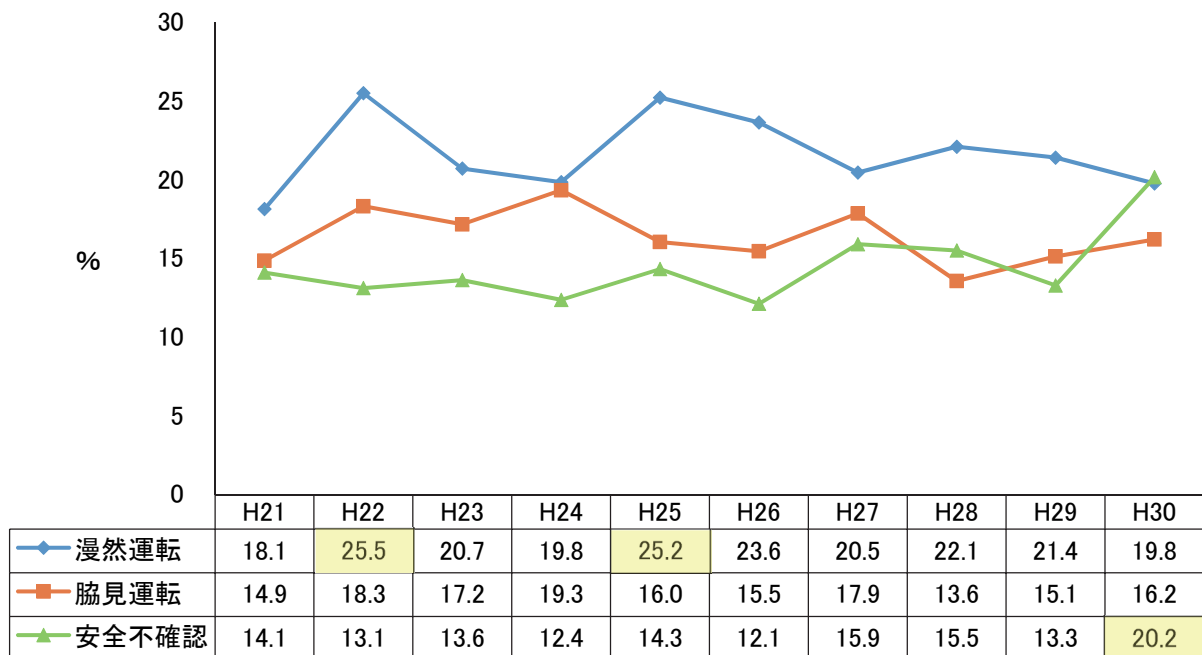


図 9-2 法令違反別死亡事故件数構成率の推移（平成 21-30 年）

10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数（平成 30 年）

平成 30 年の飲酒運転による死傷事故は 20 件で、うち、死亡事故 2 件（10.0%）、重傷事故 2 件（10.0%）、軽傷事故 16 件（80.0%）となっています。

飲酒基準別では、酒気帯び(0.25 以上)12 件、酒気帯び(0.25 未満)3 件、基準以下 5 件となり、酒気帯び(0.25 以上)が全体の 60.0%を占めています。

表 10-1 飲酒運転による死傷事故件数及び構成率（平成 30 年）

事故内容	飲酒基準					合計	構成率(%)	(参考)	
	酒酔い	酒気帯び (0.25以上)	酒気帯び (0.25未満)	基準 以下	検知 不能			飲酒なし等 件数	構成率(%)
死亡(件)	0	1	0	1	0	2	10.0	251	1.9
重傷(件)	0	1	0	1	0	2	10.0	1,024	7.6
軽傷(件)	0	10	3	3	0	16	80.0	12,133	90.5
合計	0	12	3	5	0	20	100.0	13,408	100.0
構成率(%)	0.0	60.0	15.0	25.0	0.0	100.0			

※ 「酒気帯び」欄の数値は、呼気中のアルコール濃度（mg/l）を示す。

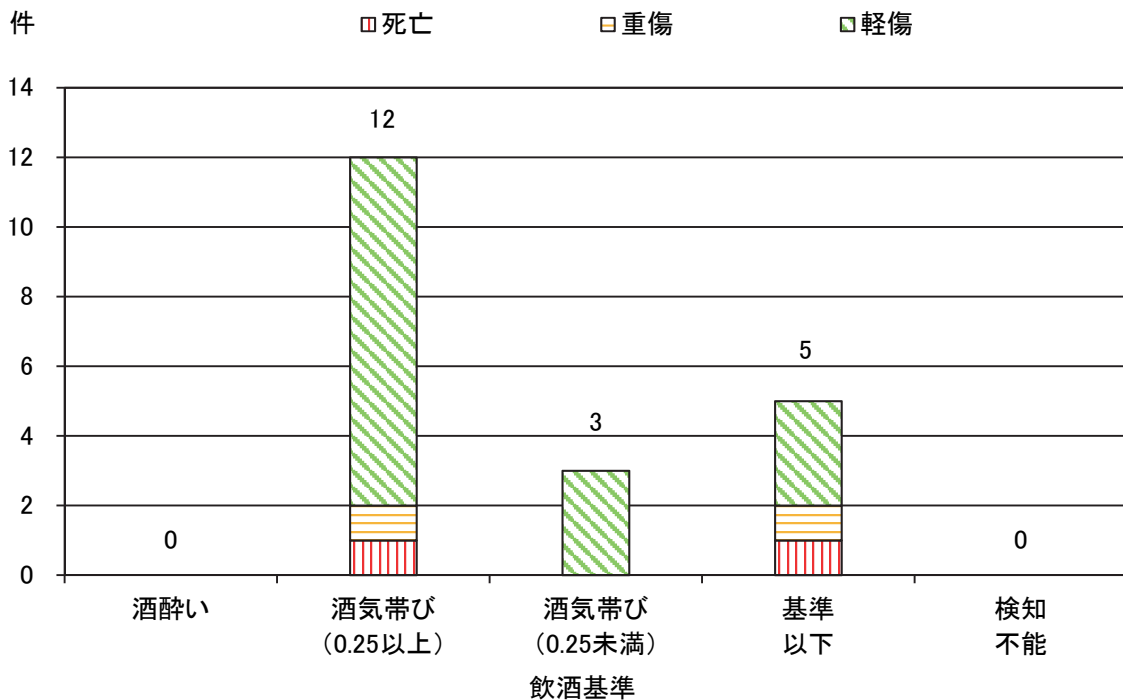


図 10-1 飲酒運転による死傷事故件数（平成 30 年）

(2) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

飲酒運転事故による死傷事故件数は、平成 21 年の 58 件に比べて平成 30 年には 20 件となり、10 年間で見ると 38 件（65.5%）減少しています。しかし、依然として飲酒運転による事故件数 0 件には厳しい状況です。

表 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

飲酒基準	年									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
酒酔い	1	1	0	3	2	3	3	3	1	0
酒気帯び(0.25以上)	28	22	14	8	15	15	14	23	13	12
酒気帯び(0.25未満)	12	7	6	3	7	3	4	5	4	3
基準以下	12	4	14	10	8	8	12	6	10	5
検知不能	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0
合計	58	34	35	24	32	30	33	37	28	20

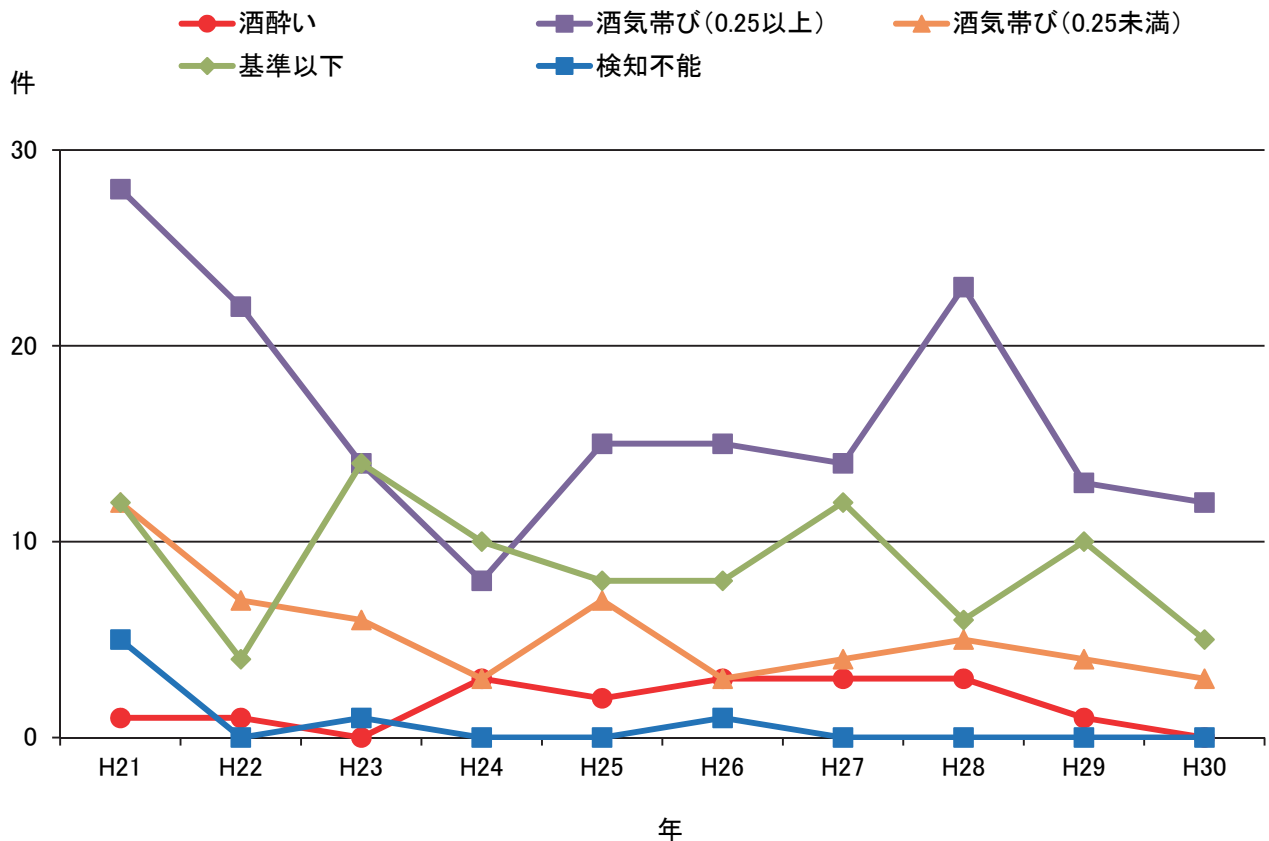


図 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 21-30 年）

(3) 事業用貨物自動車の管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移

管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数は、平成21年から30年までの10年間の合計で、大阪36件、東京25件、福岡18件、北海道17件、愛知及び兵庫15件、千葉及び埼玉12件、神奈川11件、静岡及び広島10件となっています。

表10-3 管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成21-30年）

年 車籍	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21-30
北海道	2	2	1	1	2	1	3	1	2	2	17
宮城	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
福島	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	5
岩手	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
青森	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	4
山形	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4
秋田	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
新潟	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
長野	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4
石川	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	6
富山	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
東京	6	5	1	3	2	3	0	3	2	0	25
神奈川	1	0	2	0	1	1	3	1	1	1	11
千葉	2	2	1	1	0	3	2	1	0	0	12
埼玉	1	2	2	2	1	1	1	0	2	0	12
茨城	1	0	1	0	2	0	1	1	0	2	8
群馬	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	6
栃木	1	0	1	1	1	0	1	2	1	0	8
山梨	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
愛知	3	1	2	3	1	1	1	0	2	1	15
静岡	1	0	1	0	2	0	1	5	0	0	10
岐阜	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	5
三重	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	6
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪	8	4	3	2	7	3	2	3	3	1	36
京都	2	2	0	0	0	1	0	2	1	0	8
兵庫	1	3	1	0	1	3	3	1	1	1	15
滋賀	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
奈良	2	0	1	1	1	2	0	0	0	0	7
和歌山	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4
広島	2	1	2	0	1	2	0	0	1	1	10
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
島根	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
岡山	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0	5
山口	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	5
高松	0	0	1	0	1	0	0	2	1	0	5
徳島	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	4
愛媛	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	5
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
福岡	3	3	1	1	0	1	4	3	1	1	18
佐賀	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
長崎	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	5
熊本	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
大分	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
宮崎	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
鹿児島	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	5
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	2	1	1	1	1	0	1	0	2	0	9
合計	58	34	35	24	32	30	33	37	28	20	331

10年間の合計が10件以上の都道府県

1年間の事故件数が3件以上

11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況

整備不良違反による第1当事者種別の死傷事故件数は、平成27年に4件と一旦減少したものの、平成28年は13件、平成29年は11件、平成30年は13件と再び増加しており、10年間をとおして変動が大きい状況です。

第1当事者種別でみると大型の事故件数が多く、10年間のうち7回、10件を超えています。

また、普通では、平成25年の1件を除いて平成22年以降はいずれの年も0件で、10年間をとおしても比較的少ない状況です。

※ 「整備不良違反」とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

表11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成21-30年）

第1当事者種別	年									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
大型	11	12	5	11	11	9	3	12	10	10
中型	3	2	4	1	2	1	1	1	0	1
準中型									1	2
普通	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	16	14	9	12	14	10	4	13	11	13

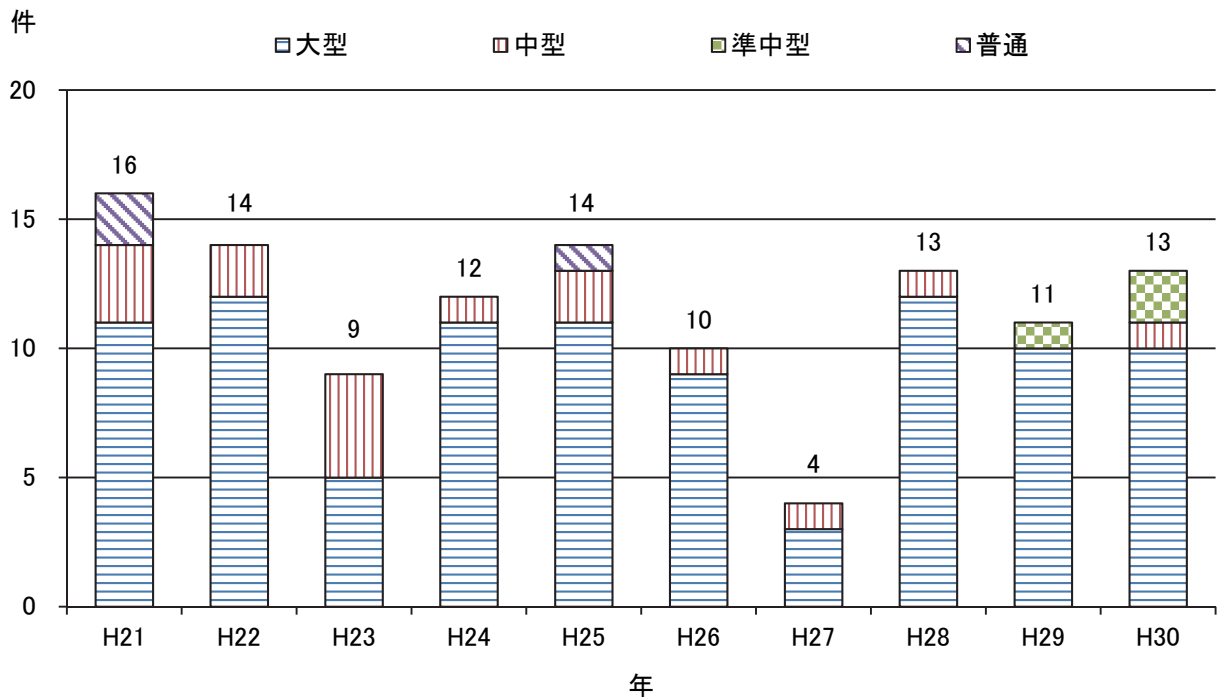


図11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成21-30年）

12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況

平成30年の車両的要因による死傷事故件数は87件で、内訳は大型54件、中型17件、準中型8件、普通8件となっています。

整備不良による死傷事故の要因別件数は、大型では、タイヤ不良18件、制動装置不良7件で、中型では、タイヤ不良4件、制動装置不良4件、準中型では、制動装置不良2件、タイヤ不良1件、普通ではタイヤ不良4件となっています。

同様に、状態的不良のある死傷事故の要因別件数は、大型では、荷くずれ13件、中型では、荷くずれ2件、準中型では、荷くずれ2件、普通では、荷くずれ2件となっています。

このように車両的要因別のある事故では、タイヤ不良と荷くずれが多くなっています。

※ 「車両的要因」とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人的要因を誘発した場合を含む。

表12 車両的要因別の死傷事故件数（平成30年）

車両的要因		大型	中型	準中型	普通	合計	
整備不良	制動装置不良	7	4	2	0	13	
	かじ取り装置不良	0	0	0	0	0	
	タイヤ不良	18	4	1	4	27	
	車輪不良	2	0	0	0	2	
	灯火不良	0	0	0	0	0	
	エンジン故障	0	0	0	0	0	
	変速機不良・故障	0	0	0	0	0	
	燃料・潤滑装置不良	0	0	0	0	0	
	フロントガラス等不良	0	0	0	0	0	
	ミラー調整不良、破損、欠落	0	0	0	0	0	
	不良改造(オーバーフェンダ等)	0	0	0	0	0	
	その他車両等の構造・装置等の整備不良	3	0	1	0	4	
小計		30	8	4	4	46	
状態的不良	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	0	0	0	0	0
		ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかつたなどのため相手の発見が遅れた	0	0	0	0	0
		車室内の飾り物が視界に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の同乗者が視界、操作に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の荷物が視界、操作に影響した	1	0	1	1	3
		計	1	0	1	1	3
	積荷の状態	過積載が制動距離に影響した	0	0	0	0	0
		過積載が車両の安全性に影響した	0	0	0	0	0
		荷くずれ	13	2	2	2	19
		積み荷等の車外はみ出し	3	1	0	0	4
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0	0
		計	16	3	2	2	23
	灯火の状態	前照灯不点火	0	0	0	0	0
		駐車灯不点火(尾灯、非常点滅を含む)	0	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影響	1	0	0	0	1
		計	1	0	0	0	1
	小計		18	3	3	3	27
その他の車両的要因		6	6	1	1	14	
合計		54	17	8	8	87	

13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数 (平成30年)

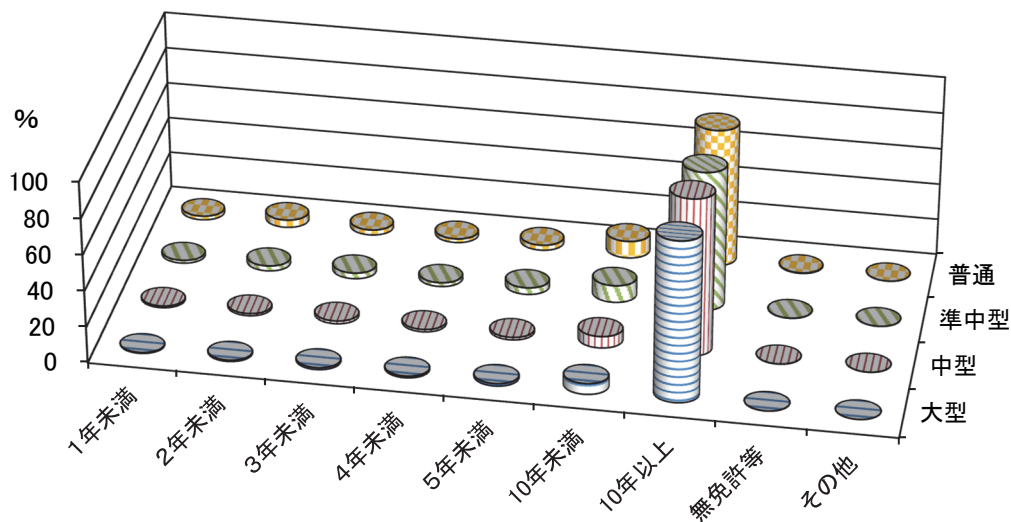
平成30年の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数は、いずれの種別においても10年以上の年数の運転者が多く、大型で4,827件、中型で3,514件、準中型で2,449件、普通で627件となっています。

表13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

第1当事者種別	運転免許経過年数										合計
	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他		
大型	27	39	58	52	73	328	4,827	2	0	5,406	
中型	37	46	61	52	56	261	3,514	3	1	4,031	
準中型	49	88	100	67	117	298	2,449	2	1	3,171	
普通	17	34	23	17	23	77	627	2	0	820	
合計	130	207	242	188	269	964	11,417	9	2	13,428	

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

構成率で見ると、大型では、10年以上89.3%、5年以上10年未満6.1%となっています。中型では、10年以上87.2%、5年以上10年未満6.5%となっており、準中型では、10年以上77.2%、5年以上10年未満9.4%、普通では、10年以上76.5%、5年以上10年未満9.4%となっています。



	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他
大型	0.5	0.7	1.1	1.0	1.4	6.1	89.3	0.0	0.0
中型	0.9	1.1	1.5	1.3	1.4	6.5	87.2	0.1	0.0
準中型	1.5	2.8	3.2	2.1	3.7	9.4	77.2	0.1	0.0
普通	2.1	4.1	2.8	2.1	2.8	9.4	76.5	0.2	0.0

図13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数
(平成 30 年)

平成 30 年の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数は、運転免許経過年数 10 年以上の 45-49 歳 2,197 件、50-54 歳 1,948 件、40-44 歳 1,617 件となっています。

表 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数 (平成 30 年)

運転者年齢 運転免許経過年	(件)												合計
	19歳以下	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	
1年未満	35	59	13	2	3	4	6	6	0	2	0	0	130
2年未満	35	113	19	13	10	6	4	5	1	1	0	0	207
3年未満	0	165	34	12	9	4	9	5	1	2	1	0	242
4年未満	0	125	24	11	7	5	10	3	2	1	0	0	188
5年未満	0	110	108	17	8	6	7	5	5	2	1	0	269
10年未満	0	64	496	125	58	69	58	38	30	17	9	0	964
10年以上	0	0	74	750	1,020	1,617	2,197	1,948	1,510	1,217	1,084	0	11,417
無免許等	0	1	2	2	1	1	0	1	1	0	2	0	11
合計	70	637	770	932	1,116	1,712	2,291	2,011	1,550	1,242	1,097	0	13,428

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

※ 「無免許等」とは、無資格運転、免許外、無免許をいう。

構成率でみると、19 歳以下では、運転免許経過年数が 1 年未満の 50.0%と 1 年以上 2 年未満 50.0%で、合わせて 100%を占め、20-24 歳では、5 年未満の件数の合計で 89.8%となります。また、25-29 歳では 5 年以上 10 年未満が 64.4%に、さらに 30-34 歳では 10 年以上が 80.5%となり、35 歳以上ではすべての年齢層で 10 年以上が 90%を超えています。

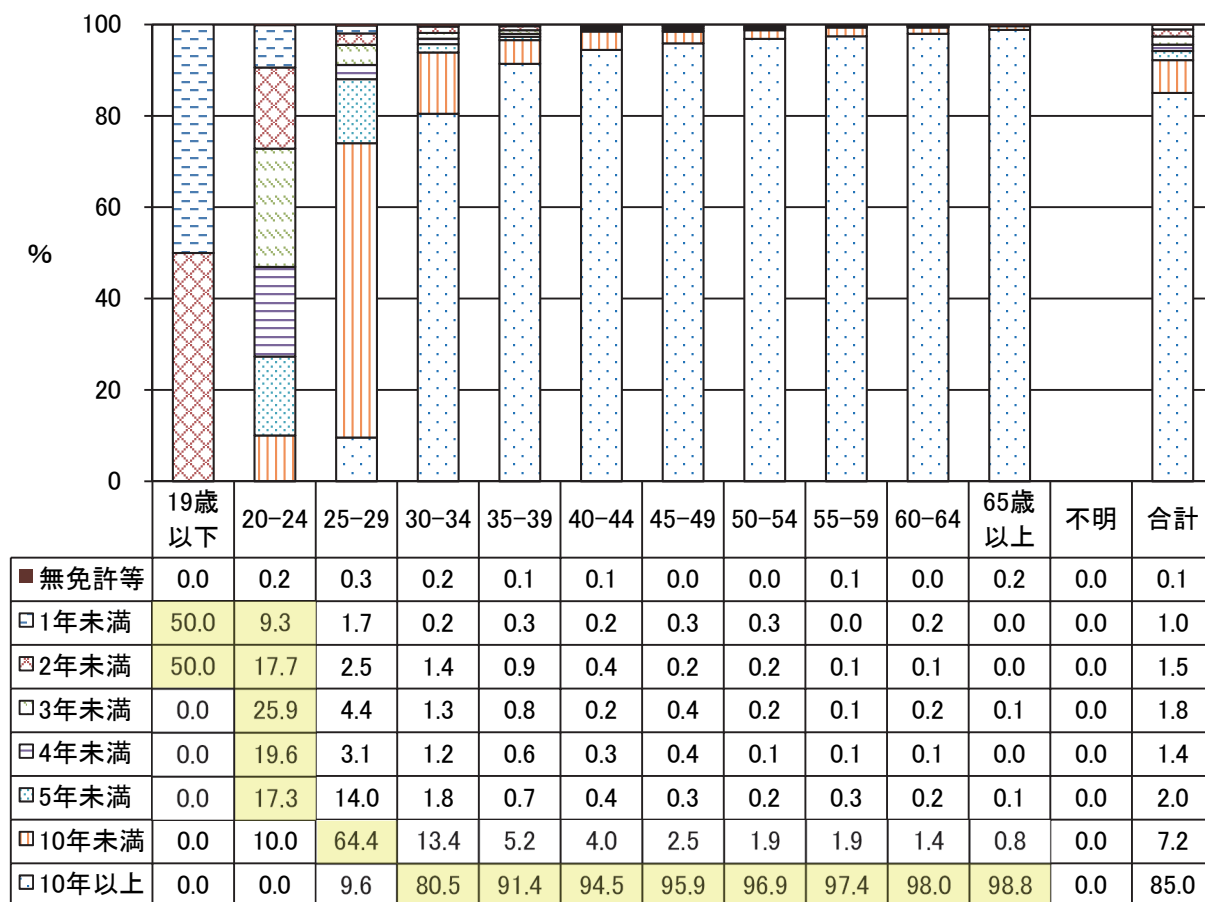


図 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別死傷事故件数の構成率 (平成 30 年)

14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況

平成30年における運転者の運転資格別の死傷事故のうち、有資格者以外の事故は14件で、無免許等9件、免許停止中4件、免許期限切れ1件となっています。

これを第1当事者種別で見ると、大型では、無免許等2件、免許停止中1件の合計3件となっています。中型では、無免許等3件、免許停止中2件、免許期限切れ1件の合計6件となっており、準中型では、無免許等2件となっています。また、普通では、無免許等2件、免許停止中1件の合計3件となっています。

表14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

第1当事者種別 \ 免許資格	有資格	免許停止中	免許期限切れ	免許条件違反	無免許等	不明	合計
大型	5,403	1	0	0	2	0	5,406
中型	4,024	2	1	0	3	1	4,031
準中型	3,168	0	0	0	2	1	3,171
普通	817	1	0	0	2	0	820
合計	13,412	4	1	0	9	2	13,428

※ 「無免許等」とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

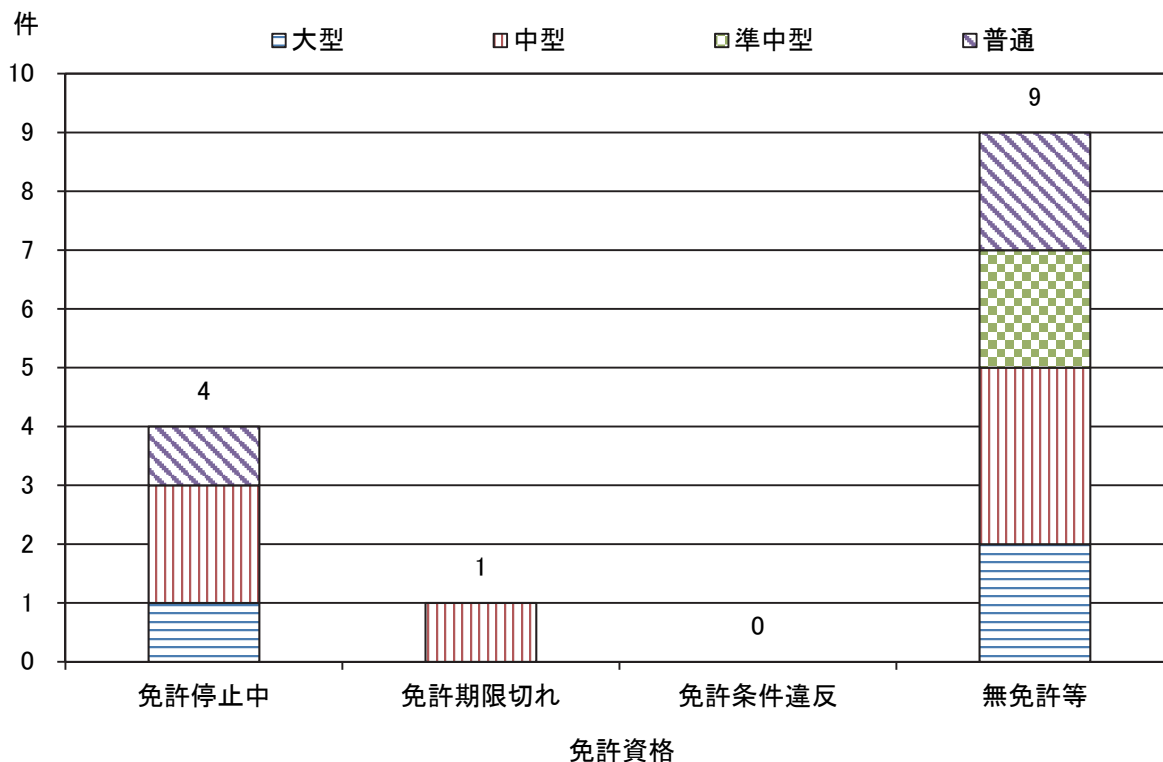


図14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成30年）

15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況

平成30年における運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別の死傷事故件数は、着用13,251件、非着用120件となっています。

これを死傷率で見ると、シートベルト着用では、死亡0.1%、重傷0.4%、軽傷1.1%、損傷なし98.4%となっています。

一方、シートベルト非着用では、死亡10.8%、重傷6.7%、軽傷1.7%、損傷なし80.8%となり、着用と比較すると死傷率が非常に高くなっています。

また、死傷率の構成率で見ると、シートベルト着用では軽傷の69.7%が最も多く、一方、シートベルト非着用では死亡の56.5%が最も高くなっています。

※「死傷率」とは、被害程度を対象者で割った値（例：着用死亡死傷率＝着用の死亡/着用の合計）

表15-1 運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別・第1当事者種別の死傷事故件数
（平成30年）

第1当事者種別 運転者の着用状況						(件)			
		大型	中型	準中型	普通	合計	死傷率(%)	構成率(%)	
着用	死 亡	8	5	3	0	16	0.1	7.3	
	重 傷	25	18	6	1	50	0.4	22.9	
	軽 傷	49	55	36	12	152	1.1	69.7	
	小計	82	78	45	13	218	1.6	100.0	
	損傷なし	5,263	3,906	3,066	798	13,033	98.4		
	計	5,345	3,984	3,111	811	13,251	100.0		
非着用	死 亡	9	1	3	0	13	10.8	56.5	
	重 傷	2	1	5	0	8	6.7	34.8	
	軽 傷	1	1	0	0	2	1.7	8.7	
	小計	12	3	8	0	23	19.2	100.0	
	損傷なし	27	27	35	8	97	80.8		
	計	39	30	43	8	120	100.0		
不 明	死 亡	1	2	1	0	4	7.0	33.3	
	重 傷	4	2	0	0	6	10.5	50.0	
	軽 傷	0	0	1	1	2	3.5	16.7	
	小計	5	4	2	1	12	21.1	100.0	
	損傷なし	17	13	15	0	45	78.9		
	計	22	17	17	1	57	100.0		
合 計		5,406	4,031	3,171	820	13,428			

当事者種別・
着用状況

□ 軽 傷 □ 重 傷 □ 死 亡

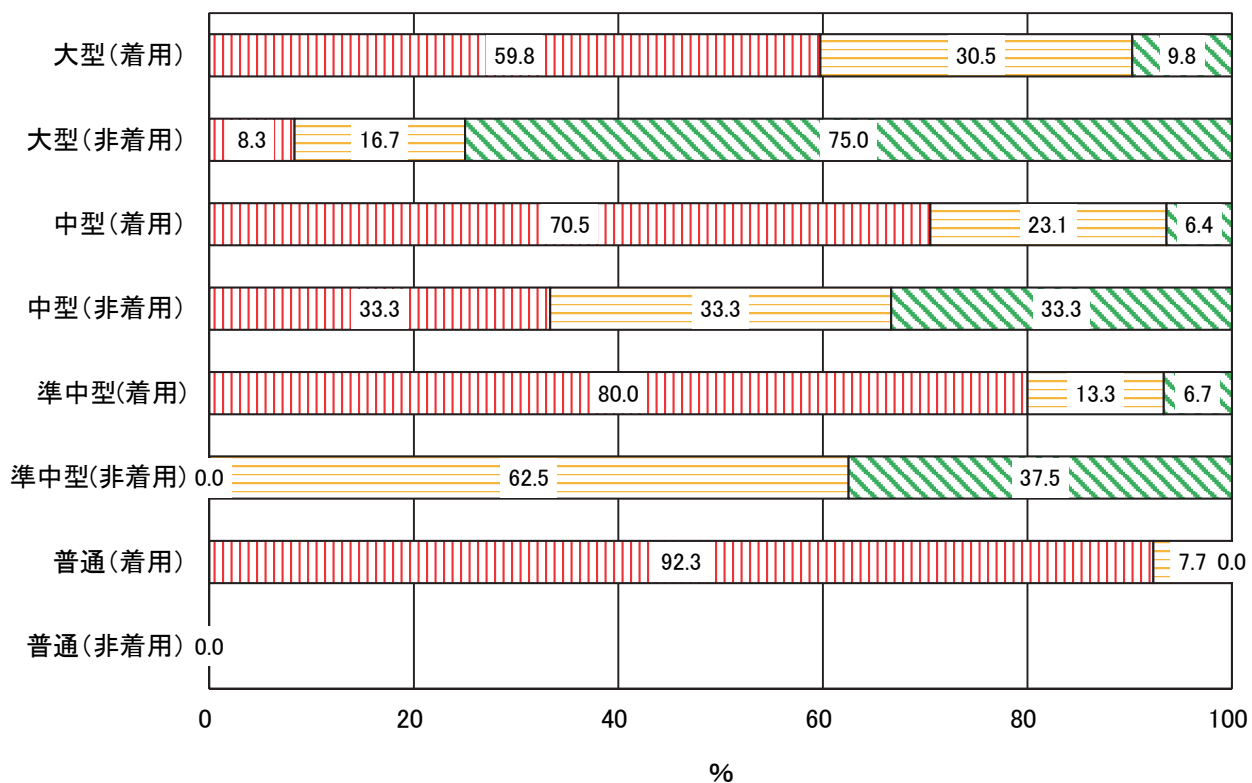


図 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別死傷事故件数の構成率
(平成 30 年)

参 考

事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用状況（平成 21-30 年）

- ・運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別の死傷者数の内、死者では、着用・非着用ともに平成 21 年から平成 30 年の 10 年間では、増減を繰り返しており、大きな減少傾向はみられません。また、着用・非着用に関わらず、死者数は 2 桁台を下回ることはありません。
- ・重傷者では、着用は平成 21 年から平成 30 年の 10 年間では増減があるものの、平成 25 年からは確実に減少傾向にあります。また、非着用でも微増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。
- ・軽傷者では、着用は平成 21 年の 388 人から平成 30 年の 152 人と着実に減少しており、10 年間で 236 人（60.8%）の減少となっています。また、非着用は平成 21 年から平成 30 年の 10 年間で微増減はあるもののおおむね減少傾向にあり、特に軽傷者は、平成 27 年以降、10 人を下回る人数となっています。

表 15-2 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別死傷者数の推移（平成 21-30 年）

運転者の着用状況		年									
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
着用	死者	30	33	26	37	33	27	23	24	26	16
	重傷者	134	102	136	102	112	97	78	65	52	50
	軽傷者	388	394	355	318	314	274	190	192	165	152
	計	552	529	517	457	459	398	291	281	243	218
非着用	死者	15	30	18	23	19	20	26	15	18	13
	重傷者	11	19	21	11	8	11	11	9	4	8
	軽傷者	13	19	19	13	16	11	4	6	4	2
	計	39	68	58	47	43	42	41	30	26	23
不明	死者	4	2	1	3	3	4	2	2	2	4
	重傷者	7	9	9	8	5	5	0	1	2	6
	軽傷者	3	6	4	1	1	1	1	1	3	2
	計	14	17	14	12	9	10	3	4	7	12
合計	死者	49	65	45	63	55	51	51	41	46	33
	重傷者	152	130	166	121	125	113	89	75	58	64
	軽傷者	404	419	378	332	331	286	195	199	172	156
	計	605	614	589	516	511	450	335	315	276	253

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用率は、平成21年から平成30年までの10年間をとおして、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト着用率でみると、死者は、最も低いのは平成27年の45.1%、最も高いのは平成21年の61.2%など、着用率の増減が激しく、また、平成21年から平成30年までの10年間をとおして多くても6割程度までの着用率にとどまっています。
- ・一方、重傷者は、最も高いときで平成29年の89.7%と、死者よりも高いものの、平成21年から平成30年までの10年間をとおして、90%を超えていません。
- ・さらに、軽傷者は、平成27年、平成30年の97.4%を最高値とし、10年間をとおして常に90%を超えています。

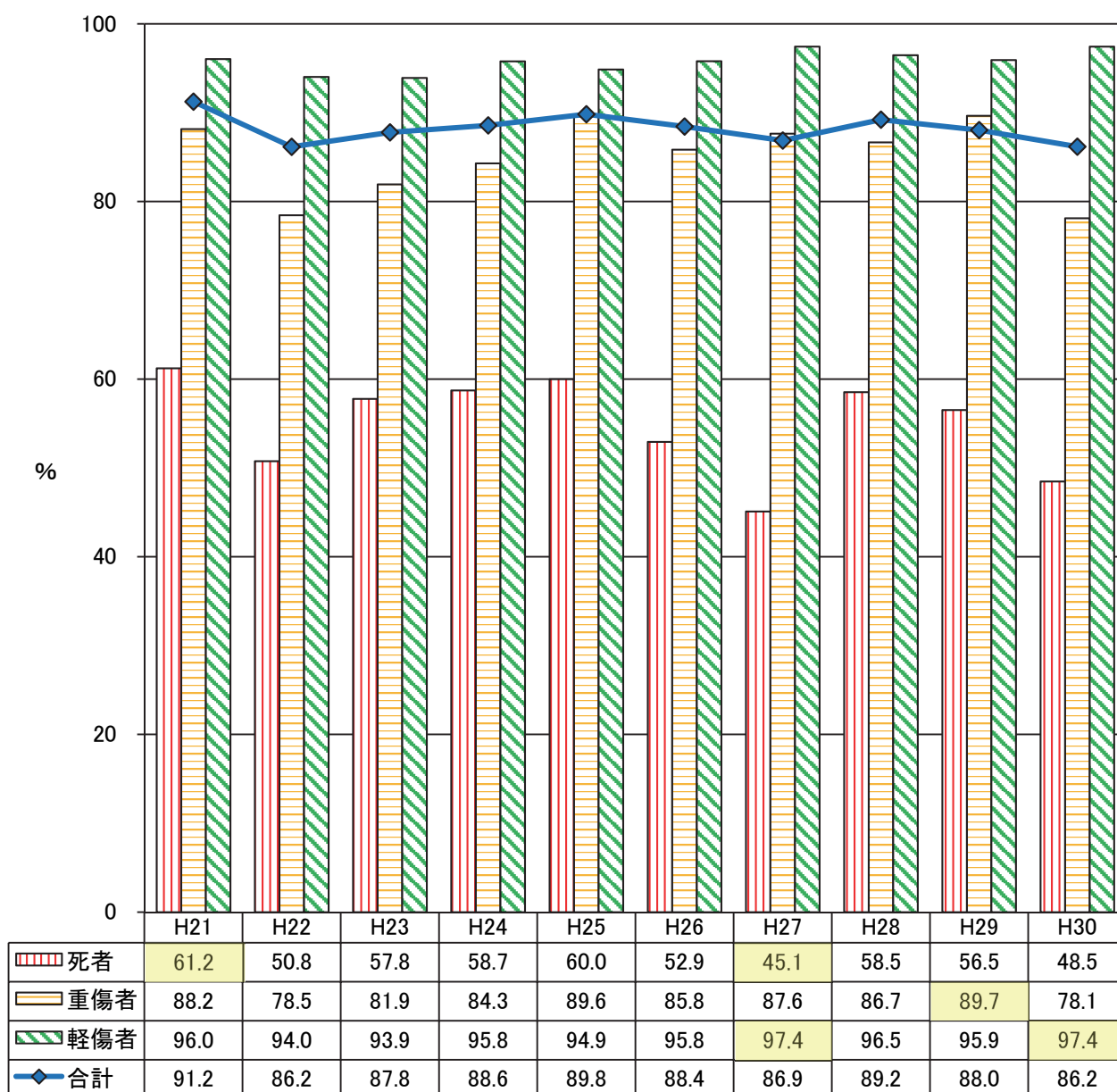


図 15-2 運転者の傷害程度別シートベルト着用率の推移（平成21-30年）

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト非着用率は、平成21年から平成30年までの10年間をとおして6%台から12%台の範囲で、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト非着用率で見ると、死者では、平成21年の30.6%が最も低く、平成27年の51.0%が最も高くなっています。
- ・一方、重傷者では、平成25年の6.4%が最も低く、平成22年の14.6%が最も高くなっています。
- ・さらに、軽傷者では、平成30年の1.3%が最も低く、平成23年の5.0%が最も高くなっています。
- ・死者のシートベルト非着用率は、重傷者及び軽傷者と比較して、非常に高い値となっています。

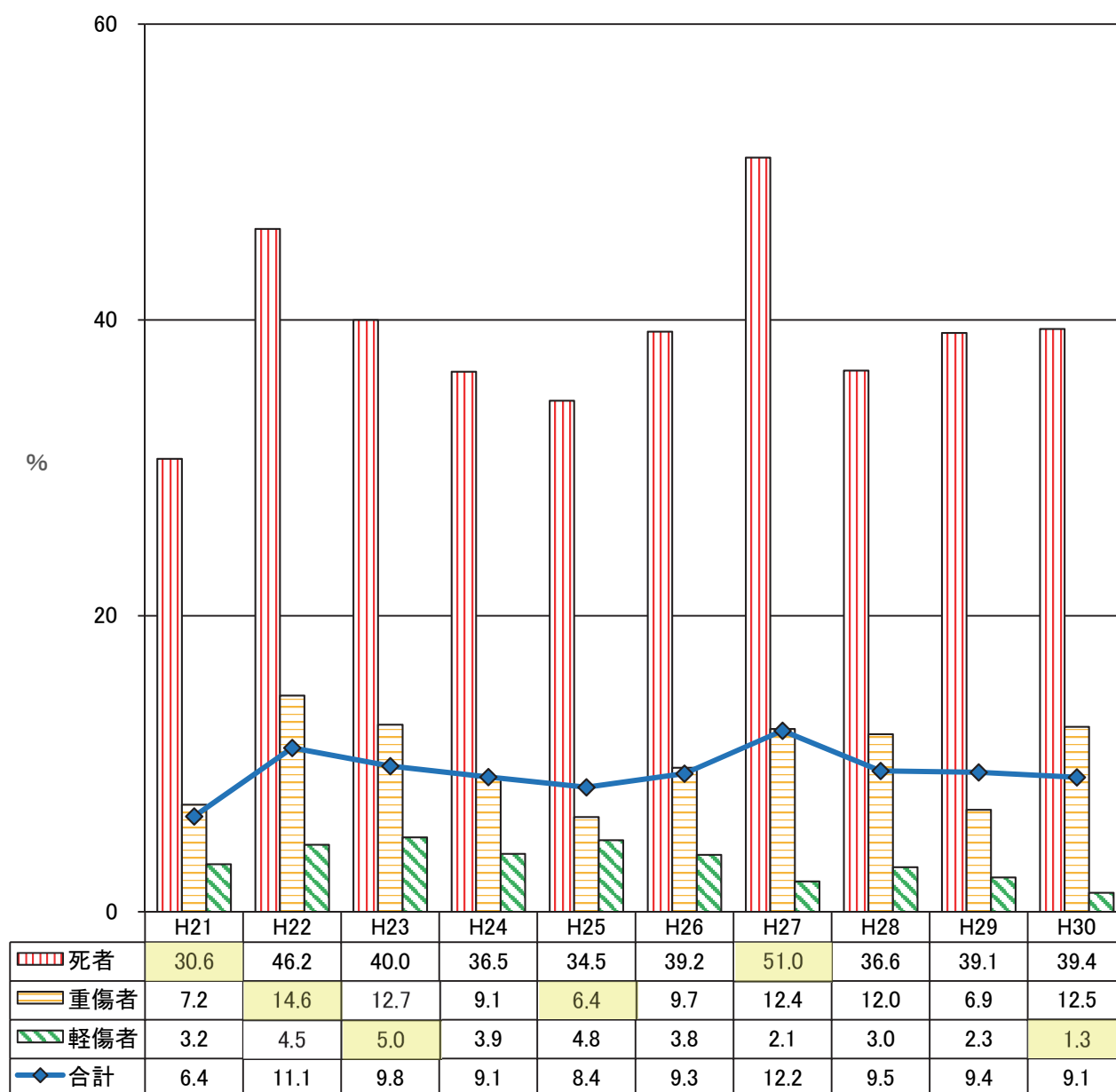


図 15-3 運転者（第1当事者）の傷害程度別シートベルト非着用率の推移（平成21-30年）

16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況

(1) 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成 29・30 年）

平成 30 年の高速道路における追突死傷事故件数は 958 件で、平成 29 年の 936 件から 22 件（2.3%）増加しています。

事故詳細区分別にみると、走行中の追突では、平成 29 年の死亡 5 件、重傷 29 件、軽傷 368 件の計 402 件から、平成 30 年の死亡 11 件、重傷 36 件、軽傷 390 件の計 437 件となり、死亡で 6 件増加、重傷 7 件増加、軽傷 22 件増加の、合計 35 件増加となっています。

同様に車線停止中（その他）では、平成 29 年の死亡 12 件、重傷 24 件、軽傷 360 件の計 396 件から、平成 30 年には死亡 16 件、重傷 16 件、軽傷 386 件の計 418 件となり、死亡で 4 件増加、重傷 8 件減少、軽傷 26 件増加の、合計 22 件増加となっています。

※ 「車線停止中その他」には、渋滞停止中が含まれる。

※ 「高速道路」とは、高速自動車国道、自動車専用道路（道路交通法施行令第 42 条の規定により指定された自動車専用道路）をいう。

表 16-1 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成 29・30 年）

(件)

事故内容		H29				H30				増減	
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計		
追突	追越・追抜	2	1	7	10	0	0	5	5	-5	
	走行車に	5	29	368	402	11	36	390	437	35	
	流入車に	0	0	2	2	0	0	2	2	0	
	流出車に	0	0	10	10	0	1	3	4	-6	
	車線停止中	故障車に	2	7	13	22	1	5	10	16	-6
		事故車に	1	7	16	24	0	4	14	18	-6
		その他	12	24	360	396	16	16	386	418	22
	路肩停止中	故障車に	0	0	10	10	0	1	3	4	-6
		事故車に	0	0	3	3	0	0	0	0	-3
		その他	0	2	9	11	0	2	6	8	-3
	料金所付近停止車に	0	2	26	28	0	0	22	22	-6	
	その他	2	0	16	18	0	1	23	24	6	
	合計	24	72	840	936	28	66	864	958	22	

(2) 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 29・30 年）

高速道路における追突の道路区分別事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成 29 年の死亡 12 件、重傷 47 件、軽傷 387 件の計 446 件から、平成 30 年には死亡 20 件、重傷 36 件、軽傷 402 件の計 458 件となり、死亡は 8 件増加、重傷は 11 件減少、軽傷は 15 件の増加の、合計 12 件の増加となっています。

走行車線（第二通行帯以上）では、平成 29 年の死亡 6 件、重傷 13 件、軽傷 222 件の計 241 件から、平成 30 年には死亡 5 件、重傷 13 件、軽傷 243 件の計 261 件となり、死亡で 1 件減少、重傷は増減なし、軽傷で 21 件増加の、合計 20 件の増加となっています。

追越車線では、平成 29 年の死亡 3 件、重傷 5 件、軽傷 132 件の計 140 件から、平成 30 年には死亡 3 件、重傷 9 件、軽傷 137 件の計 149 件となり、死亡は増減なし、重傷は 4 件増加、軽傷は 5 件増加の、合計 9 件の増加となっています。

一方で、路肩では、平成 29 年の 27 件から平成 30 年には 15 件となり、合計 12 件の減少となっています。

表 16-2 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 29・30 年）

(件)

年 事故内容	H29				H30				増減
	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
道路区分									
走行車線-第一通行帯	12	47	387	446	20	36	402	458	12
走行車線-第二通行帯以上	6	13	222	241	5	13	243	261	20
追越車線	3	5	132	140	3	9	137	149	9
登板車線	1	1	5	7	0	2	1	3	-4
加速車線	0	0	1	1	0	1	2	3	2
減速車線	0	1	4	5	0	0	5	5	0
路肩	0	3	24	27	0	4	11	15	-12
ランプウェイ-入路	0	0	5	5	0	0	6	6	1
ランプウェイ-出路	0	0	21	21	0	0	25	25	4
ジャンクション	0	0	3	3	0	0	2	2	-1
料金所等付近-本線上	0	1	14	15	0	0	14	14	-1
料金所等付近-その他	0	0	15	15	0	0	8	8	-7
サービスエリア	0	1	2	3	0	0	0	0	-3
パーキングエリア	1	0	2	3	0	1	5	6	3
その他	1	0	3	4	0	0	3	3	-1
合計	24	72	840	936	28	66	864	958	22

(3) 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成29・30年）

高速道路における対歩行者の死傷事故件数は、平成29年の死亡3件、重傷4件、軽傷4件の計11件から、平成30年には死亡4件、重傷4件、軽傷4件の計12件となり、合計で1件（8.3%）増加しています。

これを事故類型詳細区分別で見ると、故障修理中では、平成29年には死亡1件、重傷1件から、平成30年には0件となり、2件減少しています。

また、路上作業中では、平成29年の0件から、平成30年には重傷1件、軽傷1件となり、合計で2件増加しています。

表 16-3 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成29・30年）

(件)

年		H29				H30				増減
事故詳細区分	事故内容	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
人対車両	故障修理中	1	1	0	2	0	0	0	0	-2
	路上作業中	0	0	0	0	0	1	1	2	2
	その他	2	3	4	9	4	3	3	10	1
	合計	3	4	4	11	4	4	4	12	1

(4) 高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数（平成29・30年）

高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成29年の死亡2件、重傷3件、軽傷2件の合計7件から、平成30年には死亡2件となり、重傷3件減少、軽傷2件減少の合計5件減少しています。

また、走行車線（第二通行帯以上）では、平成29年の重傷1件から、平成30年には、死亡1件、重傷1件となり、合計1件増加しています。

表 16-4 高速道路における人対車両の道路区分別死傷事故件数（平成29・30年）

(件)

年		H29				H30				増減
道路区分	事故内容	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
	走行車線-第一通行帯	2	3	2	7	2	0	0	2	-5
	走行車線-第二通行帯以上	0	1	0	1	1	1	0	2	1
	追越車線	1	0	0	1	1	0	1	2	1
	登板車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路肩	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	ランプウェイ-入路	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	ランプウェイ-出路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジャンクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-本線上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービスエリア	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	パーキングエリア	0	0	2	2	0	1	2	3	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	4	4	11	4	4	4	12	1

17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

(1) 事業用貨物自動車の死傷者数（平成 30 年）

平成 30 年の死傷者数は、死者 260 人、重傷者 1,116 人、軽傷者 16,392 人の計 17,768 人となっています。

第 2 当事者種別では、対普通乗用車 6,972 人、対軽乗用 3,257 人、対自転車 1,467 人、対歩行者 911 人となっています。

死傷者別・第 1 当事者種別でみると、死者は、大型では、対歩行者 39 人、対自転車 36 人、中型では、対歩行者 26 人、対自転車 15 人、準中型では、対歩行者 17 人、対自転車 5 人、普通では、対歩行者 1 人、対自転車 1 人となっています。

一方、重傷者は、大型では、対自転車 114 人、対普通乗用車 95 人、中型では、対歩行者 60 人、対自転車 47 人、準中型では、対歩行者 60 人、対自転車 56 人、普通では、対自転車 8 人、対歩行者 8 人となっています。

また、軽傷者は、大型では、対普通乗用車 2,824 人、対軽乗用 1,280 人、中型では、対普通乗用車 2,118 人、対軽乗用 1,022 人、準中型では、対普通乗用車 1,511 人、対軽乗用 667 人、普通では、対普通乗用車 344 人、対軽乗用 170 人となっています。

表 17-1 事業用貨物自動車の死傷者数（平成 30 年）

死傷者別 第 2 当事者種別		死者					重傷者					軽傷者					合計
		大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
乗用車	バス	1	1	0	0	2	2	0	2	0	4	50	33	20	3	106	112
	マイクロバス	0	0	0	0	0	2	0	0	2	8	1	0	1	10	12	
	普通乗用車	15	5	0	0	20	95	39	17	4	155	2,824	2,118	1,511	344	6,797	6,972
	軽乗用	7	6	1	0	14	63	25	12	4	104	1,280	1,022	667	170	3,139	3,257
	ミニカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	6	6
	小計	23	12	1	0	36	162	64	31	8	265	4,162	3,177	2,201	518	10,058	10,359
貨物車	大型貨物	7	5	3	0	15	30	15	2	1	48	308	168	42	8	526	589
	中型貨物	2	1	0	0	3	11	6	1	0	18	239	162	43	9	453	474
	準中型貨物	5	0	0	0	5	15	4	3	0	22	212	193	133	13	551	578
	普通貨物	1	0	0	0	1	17	7	2	1	27	233	188	132	34	587	615
	ライトバン	1	0	0	0	1	6	1	1	0	8	146	116	65	16	343	352
	軽貨物	4	2	0	0	6	24	12	9	2	47	354	298	227	51	930	983
	小計	20	8	3	0	31	103	45	18	4	170	1,492	1,125	642	131	3,390	3,591
トレーラ	4	2	0	0	6	7	4	1	1	13	72	40	15	4	131	150	
自動二輪	小型二輪	2	3	3	0	8	17	13	6	0	36	58	42	44	8	152	196
	軽二輪	2	0	4	1	7	11	6	13	2	32	59	60	61	15	195	234
	原付二輪	0	0	1	1	2	14	10	13	1	38	71	65	88	25	249	289
	小計	4	3	8	2	17	42	29	32	3	106	188	167	193	48	596	719
原付	7	2	0	1	10	31	20	20	7	78	99	93	131	39	362	450	
特殊車	農耕用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4	4	
	大型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	1	4	5
	小型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	3	4
	小計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	7	2	1	1	11	13
路面電車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
軽車両	自転車	36	15	5	1	57	114	47	56	8	225	363	321	377	124	1,185	1,467
	駆動補助機付自転車	2	1	2	0	5	3	1	3	0	7	11	10	18	3	42	54
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38	16	7	1	62	117	48	59	8	232	374	331	395	127	1,227	1,521
歩行者	39	26	17	1	83	89	60	60	8	217	135	180	218	78	611	911	
駐車車両(運転者不在)	5	0	1	0	6	11	2	1	0	14	12	12	10	1	35	55	
物件	10	1	1	0	12	15	6	5	1	27	40	23	19	8	90	129	
相手なし	1	1	1	0	3	2	1	2	0	5	7	1	2	1	11	19	
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	147	69	39	5	260	572	277	228	39	1,116	6,517	5,111	3,812	952	16,392	17,768	

(2) 事業用貨物自動車の死傷者の構成率（平成30年）

平成30年の死傷者の第1当事者種別の構成率は、大型では、対普通乗用車40.5%、対軽乗用18.7%、対自転車7.1%、中型では、対普通乗用車39.6%、対軽乗用19.3%、対自転車7.0%、準中型では、対普通乗用車37.5%、対軽乗用16.7%、対自転車10.7%、普通では、対普通乗用車34.9%、対軽乗用17.5%、対自転車13.4%となっています。

表 17-2 相関別死傷者数の構成率（平成30年）

		(%)			
第2当事者種別	第1当事者種別	大型	中型	準中型	普通
	バス		0.7	0.6	0.5
マイクロバス		0.1	0.0	0.0	0.1
普通乗用車		40.5	39.6	37.5	34.9
軽乗用		18.7	19.3	16.7	17.5
ミニカー		0.0	0.1	0.1	0.0
大型貨物		4.8	3.4	1.2	0.9
中型貨物		3.5	3.1	1.1	0.9
準中型貨物		3.2	3.6	3.3	1.3
普通貨物		3.5	3.6	3.3	3.5
ライトバン		2.1	2.1	1.6	1.6
軽貨物		5.3	5.7	5.8	5.3
小型二輪		1.1	1.1	1.3	0.8
軽二輪		1.0	1.2	1.9	1.8
原付二輪		1.2	1.4	2.5	2.7
原付		1.9	2.1	3.7	4.7
農耕用		0.0	0.0	0.0	0.0
特殊大型		0.0	0.0	0.0	0.1
特殊小型		0.0	0.0	0.0	0.0
路面電車		0.0	0.0	0.0	0.0
列車		0.0	0.0	0.0	0.0
自転車		7.1	7.0	10.7	13.4
駆動補助機付自転車		0.2	0.2	0.6	0.3
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
歩行者		3.6	4.9	7.2	8.7
駐車車両（運転者不在）		0.4	0.3	0.3	0.1
物件		0.9	0.5	0.6	0.9
相手なし		0.1	0.1	0.1	0.1
不明		0.0	0.0	0.0	0.0
		100.0	100.0	100.0	100.0

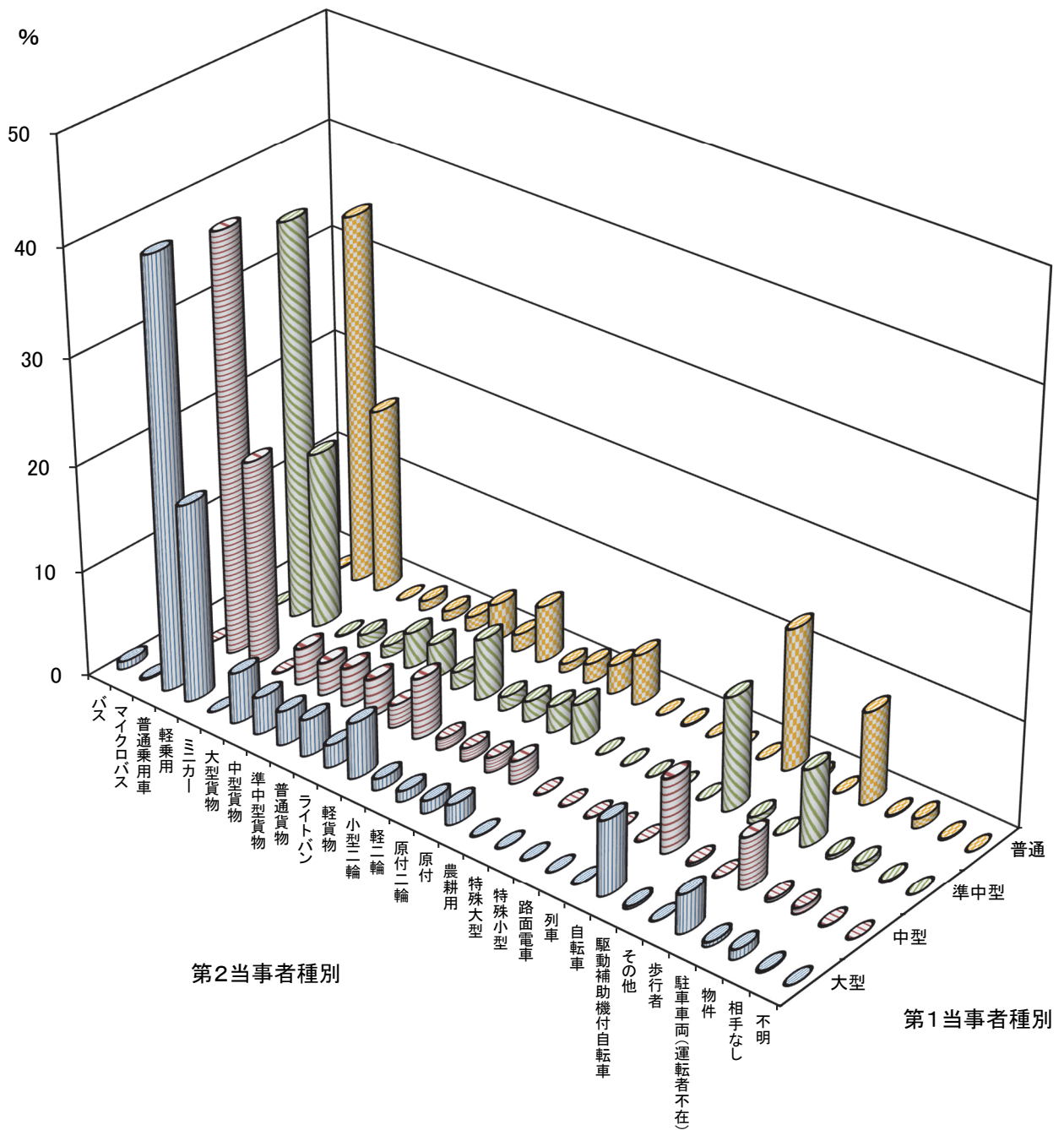


図 17-1 相関別死傷者数の構成率 (平成 30 年)

(3) 事業用貨物自動車の第1当事者種別・年齢別の死傷者数（平成30年）

平成30年の第1当事者種別・年齢別の死傷者数は、45-49歳2,045人、40-44歳1,986人、50-54歳1,672人、35-39歳1,670人となっています。

死傷者別にみると、死者は、大型では、70-74歳16人、中型では、80-84歳8人、準中型では、45-49歳6人、普通では、55-59歳3人となっています。

一方、重傷者は、大型では、45-49歳53人、65-69歳52人、中型では、45-49歳36人、50-54歳27人、準中型では、65-69歳22人、20-24歳21人、普通では、35-39歳及び50-54歳が各5人となっています。

また、軽傷者は、大型では、40-44歳752人、45-49歳738人、中型では、45-49歳621人、40-44歳589人、準中型では、40-44歳447人、45-49歳434人、普通では、45-49歳131人、25-29歳99人となっています。

第1当事者別にみると、大型が7,236人（40.7%）、中型が5,457人（30.7%）、準中型が4,079人（23.0%）、普通996人（5.6%）で、大型・中型で全体の約71%を占めています。

また、65歳以上では、死者が105人（40.4%）、重傷者335人（30.0%）、軽傷者2,096人（12.8%）となっています。

表17-3 第1当事者種別・年齢別の死傷者数（平成30年）

(人)

年齢別	死傷者					死者					重傷者					軽傷者					合計				
	第1当事者種別	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通
6歳以下		0	3	0	0	3	7	0	2	1	10	94	66	65	21	246	101	69	67	22	259				
7-12歳		5	0	1	0	6	7	6	8	1	22	92	64	72	13	241	104	70	81	14	269				
13-15歳		2	0	0	0	2	5	1	1	1	8	59	35	25	10	129	66	36	26	11	139				
16-19歳		1	2	2	0	5	30	12	7	3	52	189	156	137	29	511	220	170	146	32	568				
20-24歳		13	4	1	0	18	38	11	21	1	71	491	374	311	70	1,246	542	389	333	71	1,335				
25-29歳		2	1	2	0	5	31	13	9	2	55	595	460	318	99	1,472	628	474	329	101	1,532				
30-34歳		7	4	0	0	11	37	15	9	1	62	626	449	332	66	1,473	670	468	341	67	1,546				
35-39歳		7	2	1	1	11	27	11	12	5	55	640	492	383	89	1,604	674	505	396	95	1,670				
40-44歳		12	6	2	0	20	45	25	13	2	85	752	589	447	93	1,881	809	620	462	95	1,986				
45-49歳		9	4	6	0	19	53	36	11	2	102	738	621	434	131	1,924	800	661	451	133	2,045				
50-54歳		8	7	1	0	16	38	27	17	5	87	625	493	378	73	1,569	671	527	396	78	1,672				
55-59歳		12	4	5	3	24	48	19	18	2	87	461	347	259	55	1,122	521	370	282	60	1,233				
60-64歳		11	2	2	0	15	42	23	19	1	85	365	273	190	50	878	418	298	211	51	978				
65-69歳		12	7	3	1	23	52	24	22	3	101	328	281	184	52	845	392	312	209	56	969				
70-74歳		16	5	3	0	24	31	13	15	3	62	231	185	133	50	599	278	203	151	53	685				
75-79歳		10	6	5	0	21	37	24	16	3	80	131	131	79	31	372	178	161	100	34	473				
80-84歳		7	8	1	0	16	24	12	12	1	49	66	59	45	14	184	97	79	58	15	249				
85-89歳		8	2	3	0	13	15	4	13	2	34	26	32	17	6	81	49	38	33	8	128				
90-94歳		4	2	1	0	7	3	1	2	0	6	8	2	2	0	12	15	5	5	0	25				
95歳以上		1	0	0	0	1	2	0	1	0	3	0	2	1	0	3	3	2	2	0	7				
合計		147	69	39	5	260	572	277	228	39	1,116	6,517	5,111	3,812	952	16,392	7,236	5,457	4,079	996	17,768				

(4) 事業用貨物自動車の年齢別死傷者数の構成率（平成30年）

平成30年の年齢別死傷者数の構成率は、死者では、55-59歳及び70-74歳9.2%、65-69歳8.8%、75-79歳8.1%となっています。

一方、重傷者では、45-49歳及び65-69歳9.1%、50-54歳及び55-59歳7.8%、40-44歳及び60-64歳7.6%となっています。

また、軽傷者では、45-49歳11.7%、40-44歳11.5%、35-39歳9.8%となっています。

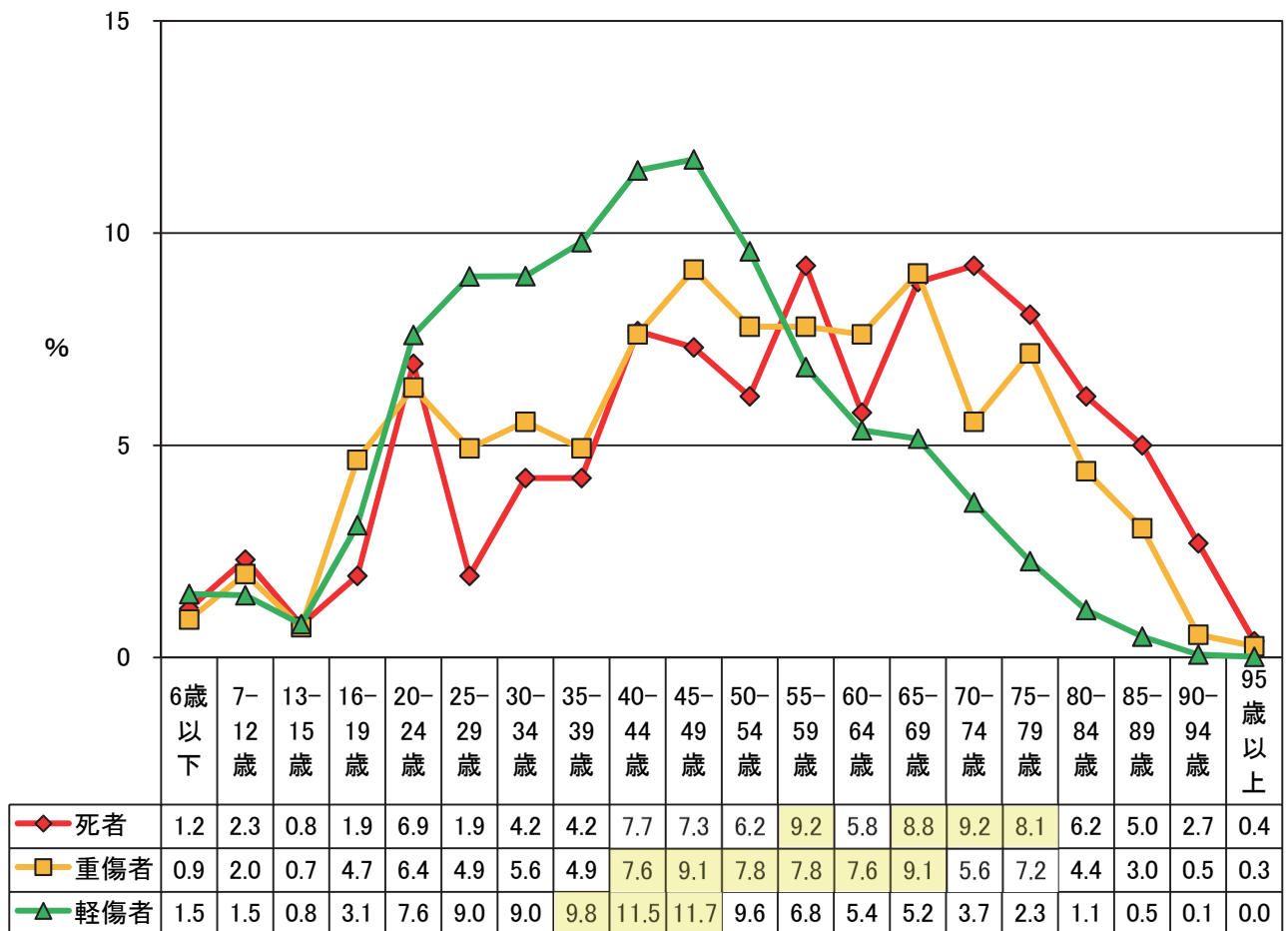


図17-2 年齢別死傷者数の構成率（平成30年）

(5) 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 21-30 年）

事業用貨物自動車の死者数全体の推移は、平成 21 年から平成 24 年までは増減を繰り返していますが、平成 25 年以降はほぼ減少傾向にあり、平成 28 年以降は 300 人を下回っています。

第 2 当事者別でみると、比較的顕著な減少傾向にあるのは対歩行者で、平成 21 年及び平成 24 年の 143 人をピークに平成 30 年には 83 人まで減少しています。

表 17-4 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 21-30 年）

第2当事者	年									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
乗用車	32	46	51	48	41	30	33	31	30	36
貨物車	59	71	57	52	53	51	41	36	41	31
二輪車	47	35	37	38	37	28	25	29	27	27
対自転車	71	84	78	57	73	74	59	53	47	62
対歩行者	143	121	119	143	124	121	112	89	91	83
物件	12	23	10	28	14	23	20	15	22	12
その他	23	22	16	23	22	13	22	17	22	9
合計	387	402	368	389	364	340	312	270	280	260

※ 「第2当事者」は、表 17-1 の項目とする。

※ 「その他」は、特殊車、路面電車、列車、駐車車両（運転者不在）、相手なし、不明の合計とする。

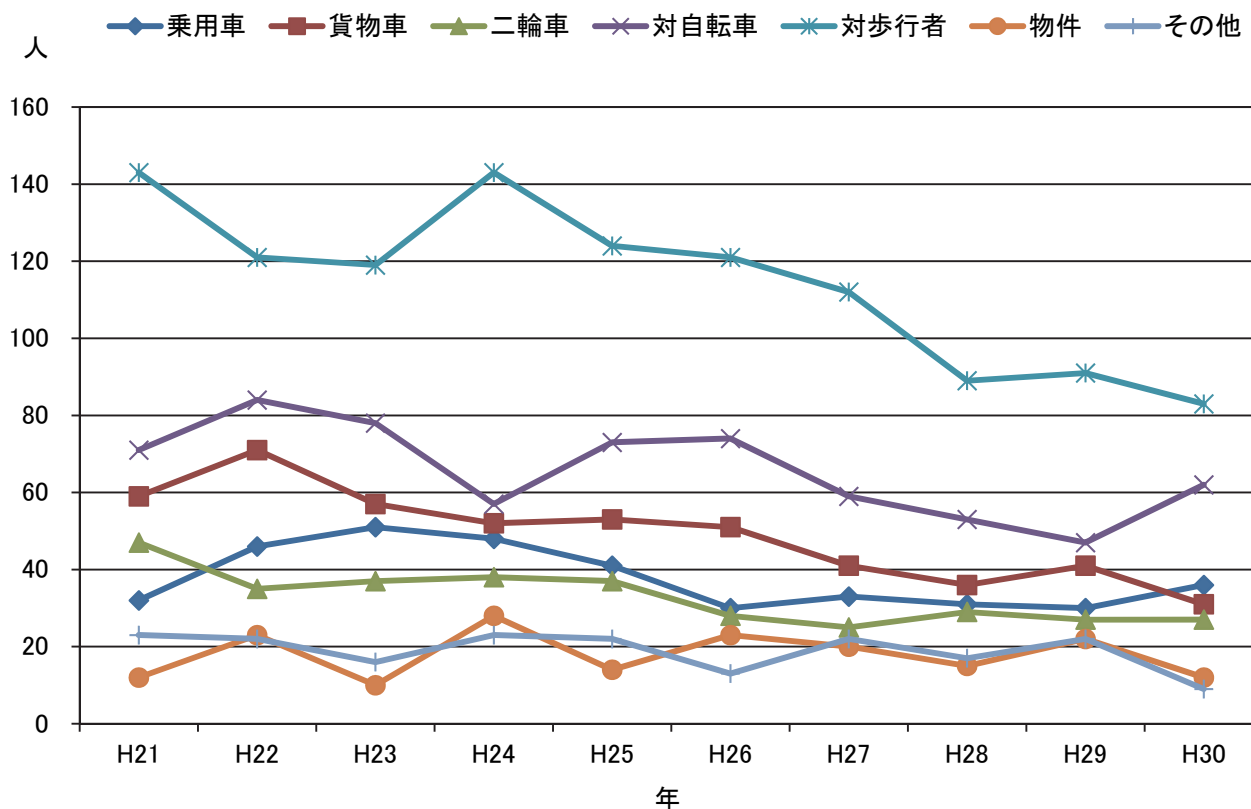


図 17-3 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 21-30 年）

(6) 事業用貨物自動車の対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成30年）

平成30年の対歩行者と対自転車の年齢別死者数は、対歩行者の年齢別でみると、第1当事者種別では、大型は85-89歳6人、60-64歳、65-69歳、70-74歳、80-84歳が各5人、中型は、80-84歳5人、40-44歳3人、準中型は、55-59歳及び75-79歳各4人、普通は、55-59歳1人となり、高齢者が多くなっています。

対自転車の年齢別でみると、大型では、20-24歳及び75-79歳各5人、中型では、75-79歳4人、準中型では、70-74歳3人、普通では、55-59歳1人となっています。

表 17-5 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成30年）

第2当事者 第1当事者 年齢(第2当事者)	対歩行者					対自転車					合計
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
6歳以下	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
7-12歳	1	0	1	0	2	3	0	0	0	3	5
13-15歳	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
16-19歳	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
20-24歳	2	2	1	0	5	5	1	0	0	6	11
25-29歳	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
30-34歳	0	2	0	0	2	1	0	0	0	1	3
35-39歳	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	2
40-44歳	2	3	1	0	6	0	0	0	0	0	6
45-49歳	1	1	2	0	4	2	0	0	0	2	6
50-54歳	0	2	0	0	2	2	0	0	0	2	4
55-59歳	1	1	4	1	7	3	2	0	1	6	13
60-64歳	5	0	1	0	6	1	1	0	0	2	8
65-69歳	5	2	0	0	7	3	3	0	0	6	13
70-74歳	5	1	0	0	6	4	3	3	0	10	16
75-79歳	4	1	4	0	9	5	4	1	0	10	19
80-84歳	5	5	1	0	11	1	2	0	0	3	14
85-89歳	6	2	1	0	9	1	0	2	0	3	12
90-94歳	2	1	0	0	3	2	0	1	0	3	6
95歳以上	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
合計	39	26	17	1	83	38	16	7	1	62	145

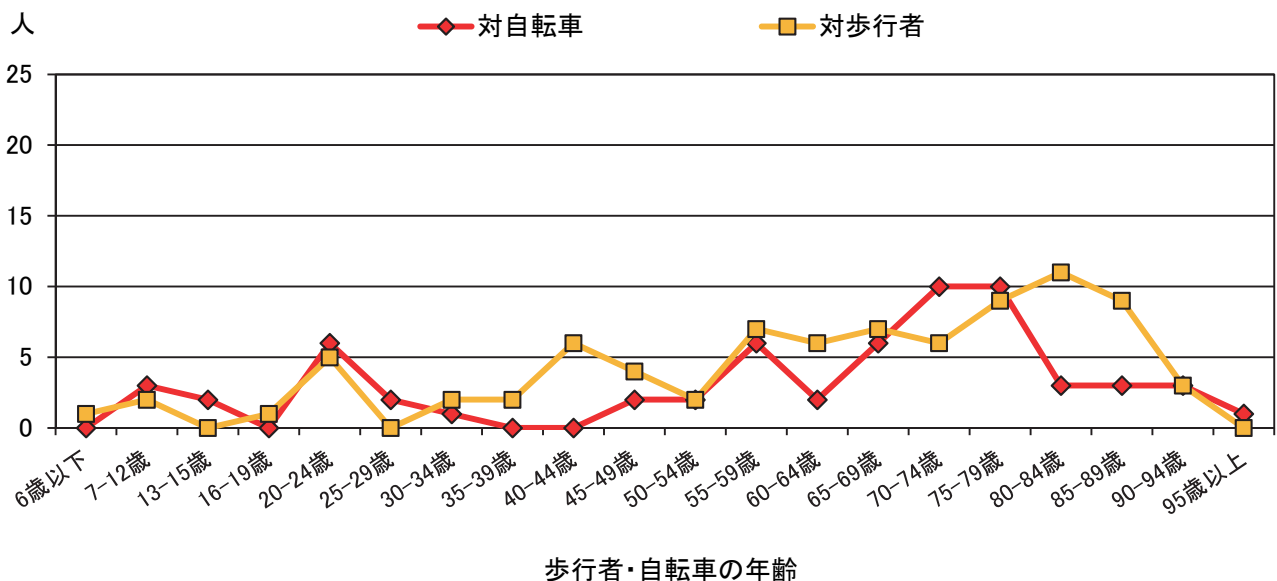


図 17-4 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成30年）

付 録

- 付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（平成30年）
- 付録 2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成30年）
- 付録 3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成30年）
- 付録 4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成30年）
- 付録 5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成30年）
- 付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成3-30年）
- 付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成21-30年）
- 付録 8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成21-30年）
- 付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成21-30年）
- 付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成21-30年）
- 付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（平成30年）
- 付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成30年）
- 付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成21-30年）
- 付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成21-30年）
- 付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成30年）
- 付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）
- 付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成30年）
- 付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）
- 付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況
- 付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況
- 付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況
- 付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況
- 付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況
- 付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（平成27-30年）
- 付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成29-30年）

付録1 都道府県別の死傷事故件数（平成30年）

都道府県	区分	死亡			重傷			軽傷			合計		
		件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)
北海道	札幌	60	-10	-14.3	605	-37	-5.8	6,291	-814	-11.5	6,956	-861	-11.0
	函館	9	-3	-25.0	94	-1	-1.1	697	-32	-4.4	800	-36	-4.3
	旭川	29	8	38.1	111	7	6.7	847	30	3.7	987	45	4.8
	釧路	24	-3	-11.1	131	-5	-3.7	744	2	0.3	899	-6	-0.7
	北見	8	-6	-42.9	54	14	35.0	227	-34	-13.0	289	-26	-8.3
	計	130	-14	-9.7	995	-22	-2.2	8,806	-848	-8.8	9,931	-884	-8.2
東北	青森	39	-3	-7.1	215	-27	-11.2	2,712	-262	-8.8	2,966	-292	-9.0
	岩手	58	3	5.5	335	12	3.7	1,589	-264	-14.2	1,982	-249	-11.2
	宮城	55	5	10.0	583	-80	-12.1	6,177	-601	-8.9	6,815	-676	-9.0
	秋田	39	9	30.0	255	-29	-10.2	1,490	-230	-13.4	1,784	-250	-12.3
	山形	49	12	32.4	436	-54	-11.0	4,612	-677	-12.8	5,097	-719	-12.4
	福島	74	10	15.6	556	-32	-5.4	3,962	-974	-19.7	4,592	-996	-17.8
	東京	142	-21	-12.9	1,115	382	52.1	31,333	-534	-1.7	32,590	-173	-0.5
関東	茨城	122	-18	-12.9	809	-73	-8.3	7,751	-906	-10.5	8,682	-997	-10.3
	栃木	88	-6	-6.4	537	25	4.9	4,139	-120	-2.8	4,764	-101	-2.1
	群馬	64	-1	-1.5	357	14	4.1	12,666	329	2.7	13,087	342	2.7
	埼玉	172	-5	-2.8	2,410	-196	-7.5	21,541	-1,952	-8.3	24,123	-2,153	-8.2
	千葉	183	29	18.8	1,750	-296	-14.5	15,441	-389	-2.5	17,374	-656	-3.6
	神奈川	159	12	8.2	1,320	12	0.9	24,733	-2,352	-8.7	26,212	-2,328	-8.2
	新潟	99	18	22.2	740	-115	-13.5	2,960	-408	-12.1	3,799	-505	-11.7
	山梨	36	-1	-2.7	337	-8	-2.3	3,189	-624	-16.4	3,562	-633	-15.1
	長野	64	-15	-19.0	669	-4	-0.6	6,517	-680	-9.4	7,250	-699	-8.8
		静岡	103	-20	-16.3	1,222	30	2.5	27,077	-1,852	-6.4	28,402	-1,842
中部	富山	53	17	47.2	304	-106	-25.9	2,482	-310	-11.1	2,839	-399	-12.3
	石川	27	-7	-20.6	270	-43	-13.7	2,345	-506	-17.7	2,642	-556	-17.4
	福井	39	-7	-15.2	250	-15	-5.7	1,109	-129	-10.4	1,398	-151	-9.7
	岐阜	91	17	23.0	550	7	1.3	4,219	-812	-16.1	4,860	-788	-14.0
	愛知	189	-7	-3.6	938	-30	-3.1	34,131	-3,820	-10.1	35,258	-3,857	-9.9
	三重	82	-1	-1.2	663	-4	-0.6	3,942	-749	-16.0	4,687	-754	-13.9
近畿	滋賀	39	-14	-26.4	378	-52	-12.1	3,795	-598	-13.6	4,212	-664	-13.6
	京都	51	-13	-20.3	1,110	-79	-6.6	4,981	-911	-15.5	6,142	-1,003	-14.0
	大阪	145	-2	-1.4	3,165	224	7.6	31,072	-1,837	-5.6	34,382	-1,615	-4.5
	兵庫	147	-13	-8.1	1,521	-308	-16.8	22,999	-1,803	-7.3	24,667	-2,124	-7.9
	奈良	37	-3	-7.5	505	-27	-5.1	3,474	-414	-10.6	4,016	-444	-10.0
	和歌山	36	-2	-5.3	399	-85	-17.6	1,835	-234	-11.3	2,270	-321	-12.4
中国	鳥取	19	-7	-26.9	146	-8	-5.2	704	-81	-10.3	869	-96	-9.9
	島根	20	3	17.6	216	-4	-1.8	787	-258	-24.7	1,023	-259	-20.2
	岡山	67	-27	-28.7	589	-18	-3.0	5,246	-1,273	-19.5	5,902	-1,318	-18.3
	広島	92	1	1.1	1,017	-200	-16.4	6,473	-1,103	-14.6	7,582	-1,302	-14.7
		山口	52	-26	-33.3	536	-95	-15.1	3,422	-787	-18.7	4,010	-908
四国	徳島	29	-4	-12.1	293	-61	-17.2	2,487	-277	-10.0	2,809	-342	-10.9
	香川	44	-3	-6.4	293	-23	-7.3	4,831	-932	-16.2	5,168	-958	-15.6
	愛媛	58	-20	-25.6	664	-193	-22.5	2,765	-397	-12.6	3,487	-610	-14.9
		高知	29	0	0.0	371	-5	-1.3	1,213	-172	-12.4	1,613	-177
九州	福岡	134	-4	-2.9	870	-140	-13.9	30,275	-3,439	-10.2	31,279	-3,583	-10.3
	佐賀	28	-8	-22.2	138	-1	-0.7	5,559	-1,031	-15.6	5,725	-1,040	-15.4
	長崎	36	-11	-23.4	351	-140	-28.5	4,254	-499	-10.5	4,641	-650	-12.3
	熊本	59	-12	-16.9	641	-117	-15.4	4,084	-873	-17.6	4,784	-1,002	-17.3
	大分	38	-6	-13.6	347	-30	-8.0	3,225	-485	-13.1	3,610	-521	-12.6
	宮崎	32	-10	-23.8	322	-36	-10.1	7,092	-801	-10.1	7,446	-847	-10.2
	鹿児島	63	-2	-3.1	687	-102	-12.9	5,083	-627	-11.0	5,833	-731	-11.1
		沖縄	37	-4	-9.8	551	-62	-10.1	3,847	-667	-14.8	4,435	-733
	合計	3,449	-181	-5.0	32,726	-2,214	-6.3	394,426	-39,169	-9.0	430,601	-41,564	-8.8

付録2 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

第1当事者種別 都道府県		事業用										事業用 合計
		乗用車				貨物車						
		バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ	
北海道	札幌	42	4	436	482	126	57	45	11	239	39	721
	函館	6	0	30	36	10	4	3	0	17	2	53
	旭川	4	0	31	35	21	3	2	0	26	8	61
	釧路	4	0	24	28	18	5	1	0	24	7	52
	北見	1	0	4	5	7	1	0	1	9	3	14
	計	57	4	525	586	182	70	51	12	315	59	901
東北	青森	13	1	62	76	24	19	13	2	58	1	134
	岩手	4	0	29	33	38	17	8	0	63	5	96
	宮城	10	3	154	167	84	48	27	4	163	14	330
	秋田	10	0	15	25	10	9	5	1	25	3	50
	山形	4	1	26	31	50	27	14	5	96	4	127
	福島	7	1	41	49	74	33	24	5	136	7	185
	東京	196	18	3,299	3,513	400	383	588	221	1,592	187	5,105
関東	茨城	7	2	45	54	122	89	61	11	283	28	337
	栃木	9	0	25	34	53	52	17	4	126	8	160
	群馬	8	0	57	65	104	90	45	8	247	17	312
	埼玉	37	8	358	403	322	370	268	57	1,017	67	1,420
	千葉	63	7	343	413	227	176	163	23	589	34	1,002
	神奈川	134	2	924	1,060	318	248	290	65	921	70	1,981
	新潟	7	0	45	52	39	25	10	2	76	5	128
	山梨	4	1	16	21	30	24	12	8	74	2	95
	長野	8	2	66	76	73	61	33	3	170	10	246
	静岡	62	4	289	355	350	247	134	27	758	39	1,113
中部	富山	9	1	12	22	37	24	9	3	73	4	95
	石川	14	1	45	60	18	32	9	5	64	5	124
	福井	1	0	12	13	30	24	8	7	69	14	82
	岐阜	7	0	16	23	84	57	18	6	165	14	188
	愛知	61	9	557	627	489	384	187	80	1,140	78	1,767
	三重	5	0	18	23	102	71	22	12	207	15	230
近畿	滋賀	7	0	29	36	97	61	25	2	185	6	221
	京都	81	3	333	417	79	57	84	11	231	7	648
	大阪	115	10	1,518	1,643	513	405	437	94	1,449	105	3,092
	兵庫	99	6	545	650	345	211	187	38	781	65	1,431
	奈良	6	2	34	42	39	45	23	8	115	6	157
	和歌山	4	0	26	30	16	13	6	7	42	2	72
中国	鳥取	3	0	10	13	9	8	2	1	20	2	33
	島根	3	0	15	18	14	3	2	0	19	1	37
	岡山	11	2	54	67	92	54	34	2	182	10	249
	広島	22	1	209	232	122	69	38	6	235	16	467
	山口	17	0	75	92	78	27	18	2	125	14	217
四国	徳島	3	0	35	38	27	9	7	5	48	4	86
	香川	8	0	67	75	56	35	19	3	113	10	188
	愛媛	6	0	53	59	31	30	15	7	83	6	142
	高知	2	2	26	30	15	4	7	2	28	4	58
九州	福岡	127	0	1,105	1,232	331	242	148	18	739	28	1,971
	佐賀	4	1	50	55	66	31	20	5	122	9	177
	長崎	37	2	146	185	31	19	17	1	68	11	253
	熊本	7	0	83	90	45	50	25	1	121	16	211
	大分	4	0	72	76	35	16	10	5	66	4	142
	宮崎	13	0	102	115	38	31	14	17	100	19	215
	鹿児島	35	0	105	140	55	30	15	4	104	9	244
	沖縄	9	0	236	245	12	1	2	10	25	3	270
	合計	1,360	94	11,907	13,361	5,406	4,031	3,171	820	13,428	1,047	26,789

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録3 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

第1当事者種別	事業用										事業用 合計	
	乗用車				貨物車							
	バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ		
法令違反												
車 両 の 運 転 者	信号無視	22	1	296	319	194	132	103	20	449	48	768
	通行区分	5	1	25	31	37	15	13	7	72	13	103
	最高速度	1	1	2	4	11	5	2	-	18	2	22
	横断転回後退	7	-	129	136	34	30	24	2	90	5	226
	車間距離不保持	7	-	23	30	28	27	13	1	69	2	99
	追越し	6	-	11	17	44	25	13	1	83	7	100
	踏切不停止	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
	右折	4	-	42	46	14	8	6	1	29	2	75
	左折	5	1	62	68	42	20	23	6	91	9	159
	環状交差点違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	優先通行妨害	9	1	220	230	36	22	31	5	94	8	324
	交差点安全進行	49	6	1,021	1,076	144	105	157	47	453	27	1,529
	歩行者妨害等	45	1	523	569	98	74	73	17	262	17	831
	徐行	1	-	96	97	5	5	22	7	39	-	136
	一時不停止	2	-	405	407	27	35	36	15	113	2	520
	整備不良	-	-	-	-	10	1	2	-	13	5	13
	酒酔い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	過労運転	2	-	6	8	10	3	5	1	19	3	27
	薬物運転	-	-	-	-	2	-	-	-	2	1	2
	安 全 運 転 者	運転操作	242	9	810	1,061	402	280	165	60	907	80
前方漫然		46	8	475	529	543	548	340	83	1,514	108	2,043
不注意脇見		96	10	1,274	1,380	1,032	872	669	148	2,721	182	4,101
動静不注視		179	13	844	1,036	850	653	485	97	2,085	173	3,121
安全不確認		400	33	4,709	5,142	1,520	987	827	261	3,595	289	8,737
安全速度		13	2	44	59	48	14	11	2	75	11	134
その他		173	6	275	454	94	87	73	22	276	19	730
その他の違反		46	1	607	654	176	80	77	17	350	31	1,004
不明	-	-	8	8	4	3	1	-	8	3	16	
計	1,360	94	11,907	13,361	5,406	4,031	3,171	820	13,428	1,047	26,789	
歩 行 者	信号無視	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両直前直後横断	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他横断	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	酩酊・はいかい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	路上遊戯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	飛び出し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
当事者不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	1,360	94	11,907	13,361	5,406	4,031	3,171	820	13,428	1,047	26,789	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録4 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成30年）

区分 運輸支局等	死亡				重傷				軽傷				合計			
	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	
北海道	札幌	2	1	6	9	8	28	15	51	37	387	180	604	47	416	201
	函館	0	0	2	2	0	3	0	3	6	27	14	47	6	30	16
	室蘭	0	0	2	2	0	0	8	8	0	18	41	59	0	18	51
	帯広	0	0	0	0	0	0	4	4	1	13	15	29	1	13	19
	釧路	1	0	0	1	0	3	3	6	1	8	8	17	2	11	11
	北見	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	4	8	1	4	4
旭川	0	1	3	4	0	1	4	5	3	29	23	55	3	31	30	
小計	3	2	13	18	8	36	34	78	49	485	285	819	60	523	332	
東北	宮城	0	1	5	6	2	14	22	38	13	137	152	302	15	152	179
	福島	0	0	5	5	2	3	25	30	7	38	101	146	9	41	131
	岩手	1	1	3	5	1	1	11	13	1	27	47	75	3	29	61
	青森	0	1	4	5	2	3	9	14	12	57	75	144	14	61	88
	山形	0	0	1	1	0	2	10	12	5	24	61	90	5	26	72
	秋田	0	1	0	1	2	2	4	8	8	13	27	48	10	16	31
小計	1	4	18	23	9	25	81	115	46	296	463	805	56	325	562	
北陸信越	新潟	0	0	4	4	2	10	13	25	4	35	87	126	6	45	104
	長野	0	1	2	3	1	1	14	16	10	64	155	229	11	66	171
	石川	0	0	0	0	2	4	9	15	13	41	67	121	15	45	76
	富山	0	0	2	2	1	2	10	13	12	10	85	107	13	12	97
小計	0	1	8	9	6	17	46	69	39	150	394	583	45	168	448	
関東	東京	2	7	7	16	11	92	56	159	195	3,211	1,079	4,485	208	3,310	1,142
	神奈川	2	3	6	11	6	29	33	68	125	866	757	1,748	133	898	796
	千葉	1	3	16	20	10	39	56	105	72	285	534	891	83	327	606
	埼玉	0	0	17	17	4	34	84	122	38	306	1,008	1,352	42	340	1,109
	茨城	2	1	11	14	2	3	25	30	9	42	332	383	13	46	368
	群馬	0	0	5	5	0	2	23	25	6	54	259	319	6	56	287
	栃木	0	1	9	10	1	1	16	18	7	23	161	191	8	25	186
	山梨	0	0	1	1	0	2	4	6	1	14	75	90	1	16	80
小計	7	15	72	94	34	202	297	533	453	4,801	4,205	9,459	494	5,018	4,574	
中部	愛知	0	1	22	23	5	10	41	56	64	539	990	1,593	69	550	1,053
	静岡	0	3	9	12	1	7	33	41	53	276	616	945	54	286	658
	岐阜	0	0	2	2	1	4	18	23	11	15	197	223	12	19	217
	三重	1	1	4	6	1	2	16	19	4	14	213	231	6	17	233
	福井	0	0	2	2	0	3	6	9	1	7	55	63	1	10	63
小計	1	5	39	45	8	26	114	148	133	851	2,071	3,055	142	882	2,224	
近畿	大阪	1	2	22	25	7	116	125	248	113	1,403	1,328	2,844	121	1,521	1,475
	京都	1	0	7	8	12	46	32	90	74	288	289	651	87	334	328
	兵庫	0	4	14	18	11	19	50	80	88	513	537	1,138	99	536	601
	滋賀	1	0	1	2	1	2	13	16	2	25	98	125	4	27	112
	奈良	0	0	8	8	0	2	13	15	8	32	115	155	8	34	136
	和歌山	0	0	1	1	1	2	12	15	3	24	86	113	4	26	99
小計	3	6	53	62	32	187	245	464	288	2,285	2,453	5,026	323	2,478	2,751	
中国	広島	0	3	4	7	4	32	27	63	19	176	237	432	23	211	268
	鳥取	1	0	1	2	2	0	9	11	1	10	24	35	4	10	34
	島根	0	2	0	2	1	3	5	9	1	9	22	32	2	14	27
	岡山	0	0	2	2	4	2	27	33	11	51	190	252	15	53	219
	山口	0	1	2	3	3	13	10	26	14	60	69	143	17	74	81
小計	1	6	9	16	14	50	78	142	46	306	542	894	61	362	629	
四国	香川	0	0	1	1	2	3	13	18	8	64	131	203	10	67	145
	徳島	0	0	1	1	0	3	7	10	3	32	37	72	3	35	45
	愛媛	0	0	4	4	2	7	6	15	2	39	73	114	4	46	83
	高知	0	0	4	4	2	7	6	15	3	18	27	48	5	25	37
	小計	0	0	10	10	6	20	32	58	16	153	268	437	22	173	310
九州	福岡	0	3	15	18	2	22	35	59	123	1,076	695	1,894	125	1,101	745
	佐賀	0	0	2	2	0	1	8	9	6	45	120	171	6	46	130
	長崎	0	2	3	5	4	12	5	21	33	132	68	233	37	146	76
	熊本	0	0	4	4	3	12	10	25	6	71	119	196	9	83	133
	大分	0	0	1	1	0	6	10	16	4	63	68	135	4	69	79
	宮崎	0	0	0	0	1	5	5	11	12	97	105	214	13	102	110
	鹿児島	0	0	2	2	7	7	12	26	27	96	109	232	34	103	123
	小計	0	5	27	32	17	65	85	167	211	1,580	1,284	3,075	228	1,650	1,396
沖縄	0	2	0	2	1	34	2	37	8	199	23	230	9	235	25	
不明	0	0	4	4	2	7	12	21	12	86	161	259	14	93	177	
合計	16	46	253	315	137	669	1,026	1,832	1,301	11,192	12,149	24,642	1,454	11,907	13,428	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

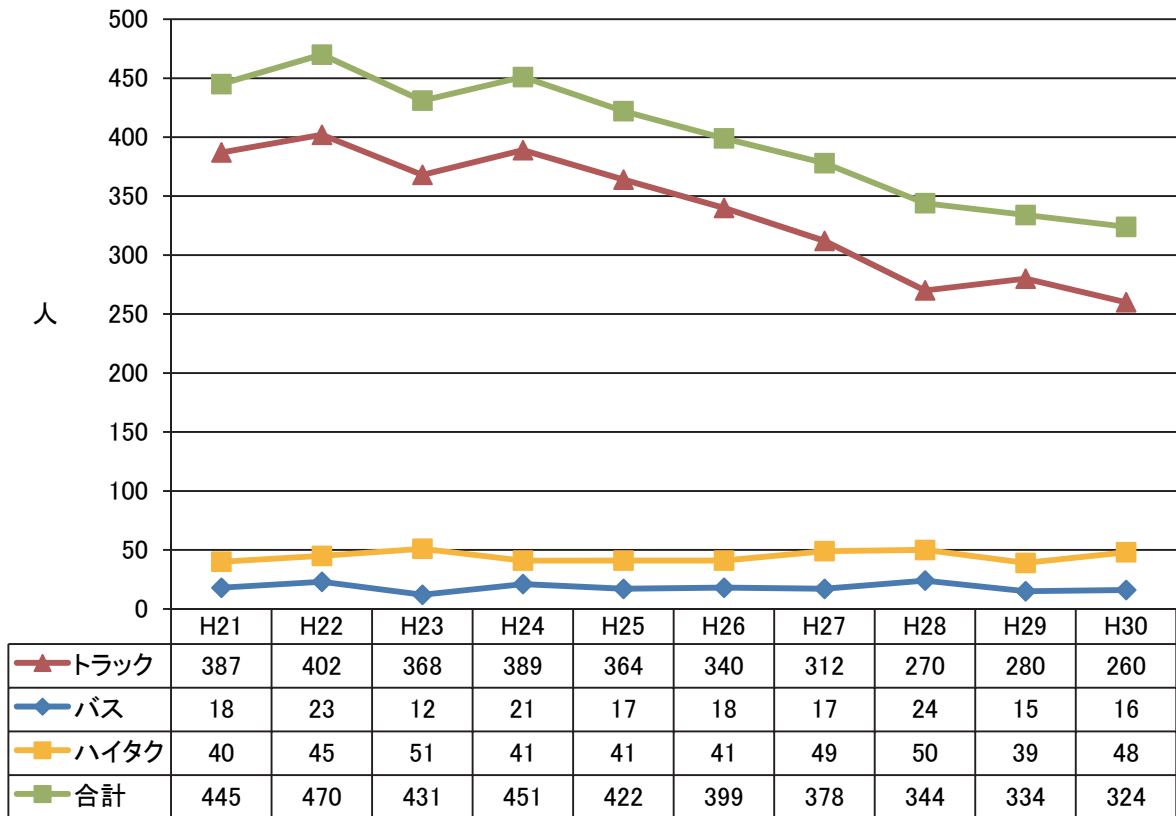
※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン・セダン等、トラックは、貨物車。

付録6 交通事故発生状況の推移（平成3-30年）

事故状況 年	全体			貨物自動車					
	事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	事故件数(件)		死者数(人)		負傷者数(人)	
				事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成3年	662,392	11,109	810,245	23,396	73,707	761	1,172	30,840	89,065
平成4年	695,346	11,452	844,003	23,694	74,660	763	1,133	30,605	89,592
平成5年	724,678	10,945	878,633	24,258	77,740	708	1,074	31,281	93,211
平成6年	729,461	10,653	881,723	26,114	78,910	750	1,042	33,884	94,482
平成7年	761,794	10,684	922,677	27,840	82,551	800	1,125	35,984	99,112
平成8年	771,085	9,943	942,204	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成9年	780,401	9,642	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,882	9,214	990,676	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	32,403	76,464	637	622	43,460	94,962
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	32,000	73,446	632	571	42,656	90,986
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	30,328	68,005	557	519	40,328	84,300
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	27,356	61,829	534	506	36,316	77,224
平成20年	766,394	5,209	945,703	24,222	55,315	428	430	31,852	68,608
平成21年	737,637	4,979	911,215	20,681	49,851	387	371	27,049	62,133
平成22年	725,924	4,948	896,297	21,049	48,747	402	412	27,897	60,605
平成23年	692,084	4,691	854,613	20,568	46,826	368	386	27,282	58,427
平成24年	665,157	4,438	825,392	19,474	43,978	389	316	25,739	55,825
平成25年	629,033	4,388	781,492	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720
平成27年	536,899	4,117	666,023	16,156	34,719	312	257	21,366	44,468
平成28年	499,201	3,904	618,853	14,600	32,197	270	277	19,165	41,186
平成29年	472,165	3,694	580,850	14,217	30,290	280	236	18,611	38,239
平成30年	430,601	3,532	525,846	13,428	28,117	260	251	17,508	35,278

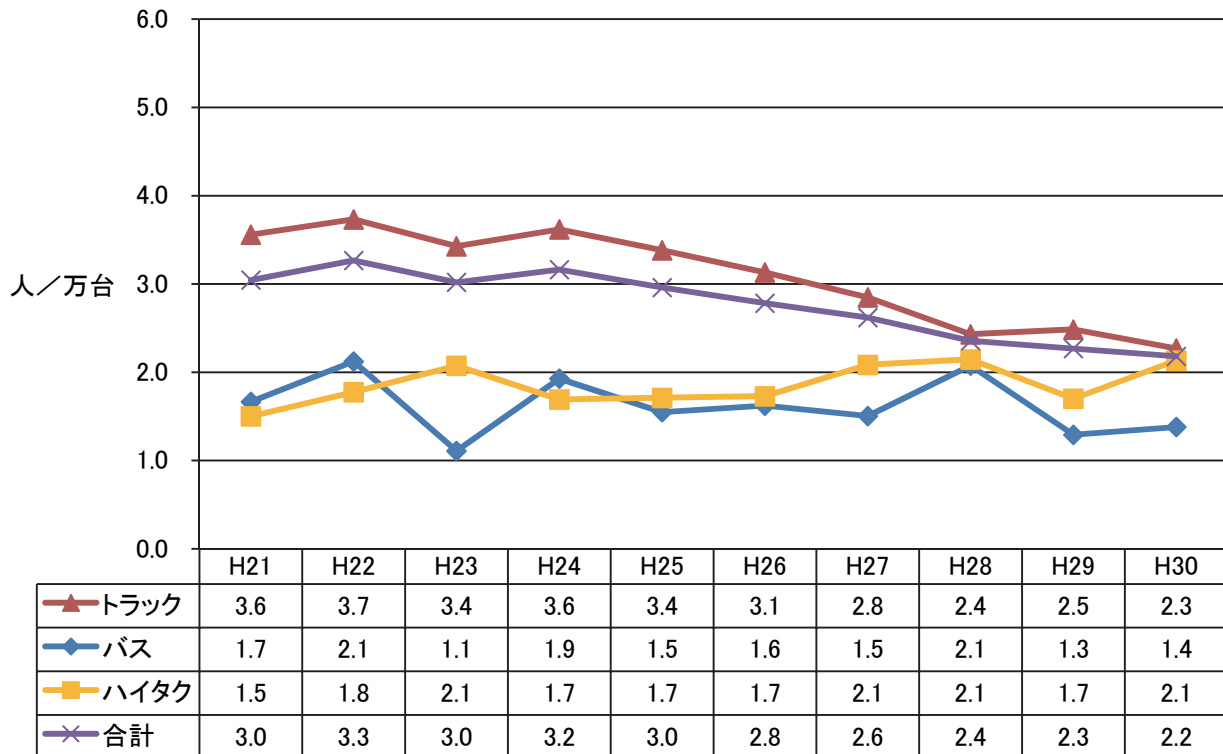
※貨物自動車は、軽自動車を除く。

付録7 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成21-30年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

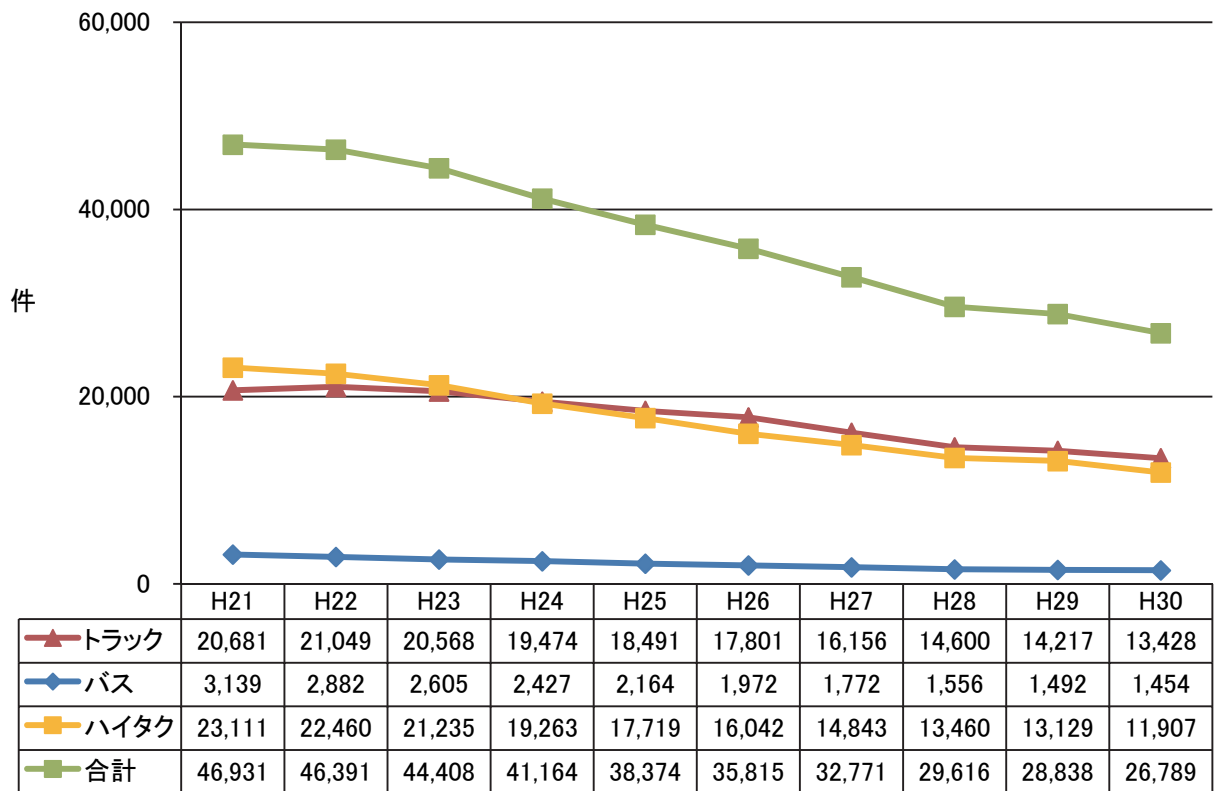
付録8 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成21-30年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

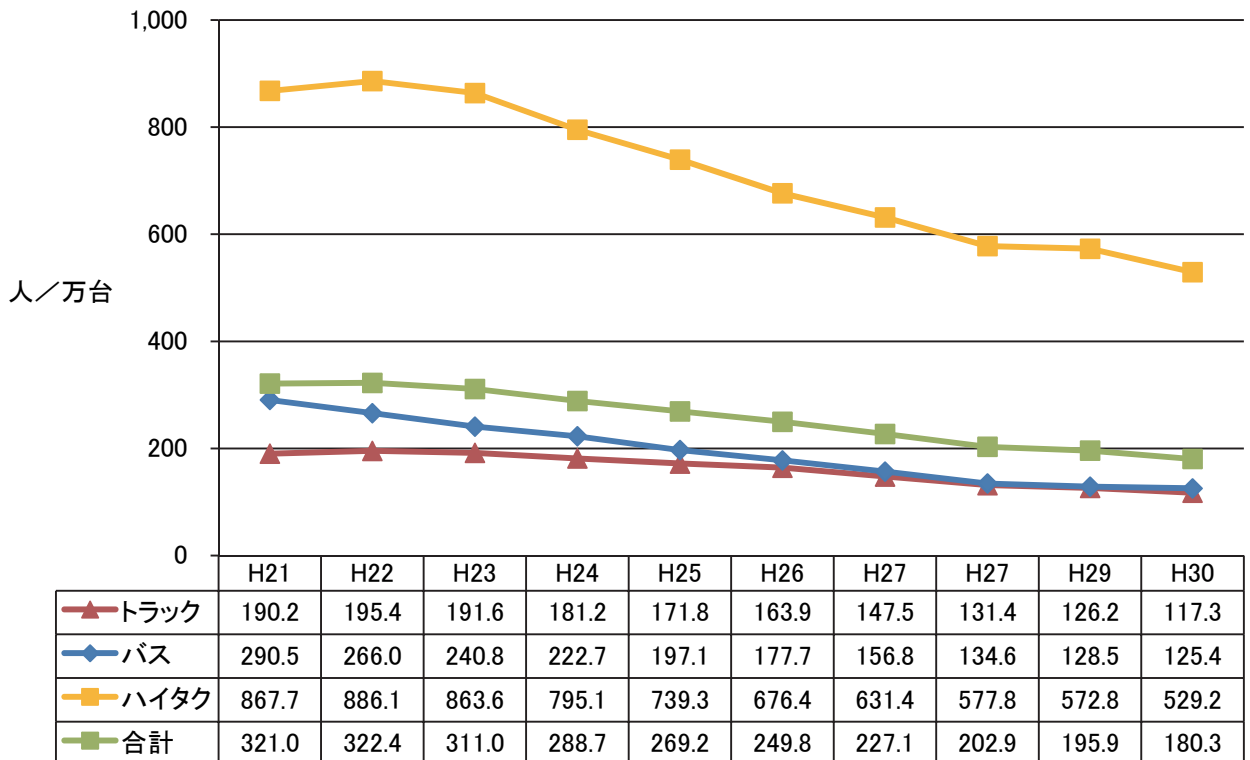
※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（平成30年12月末現在）」を使用した。

付録9 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成21-30年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

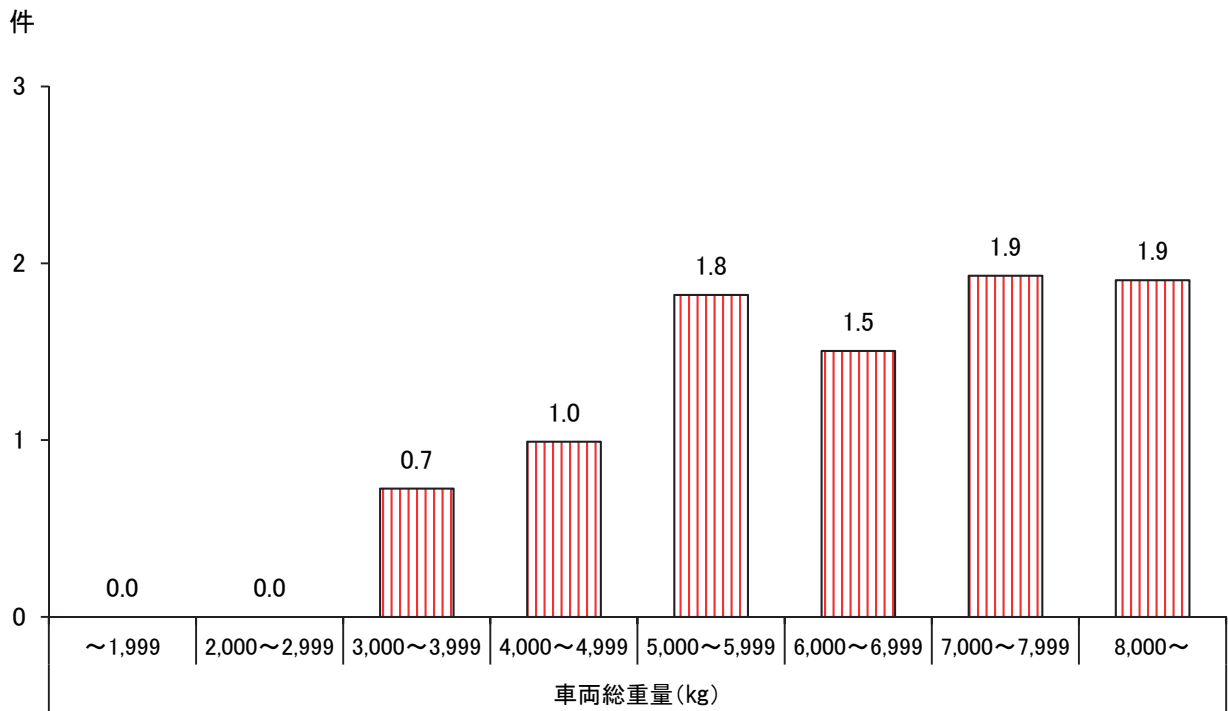
付録10 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成21-30年）



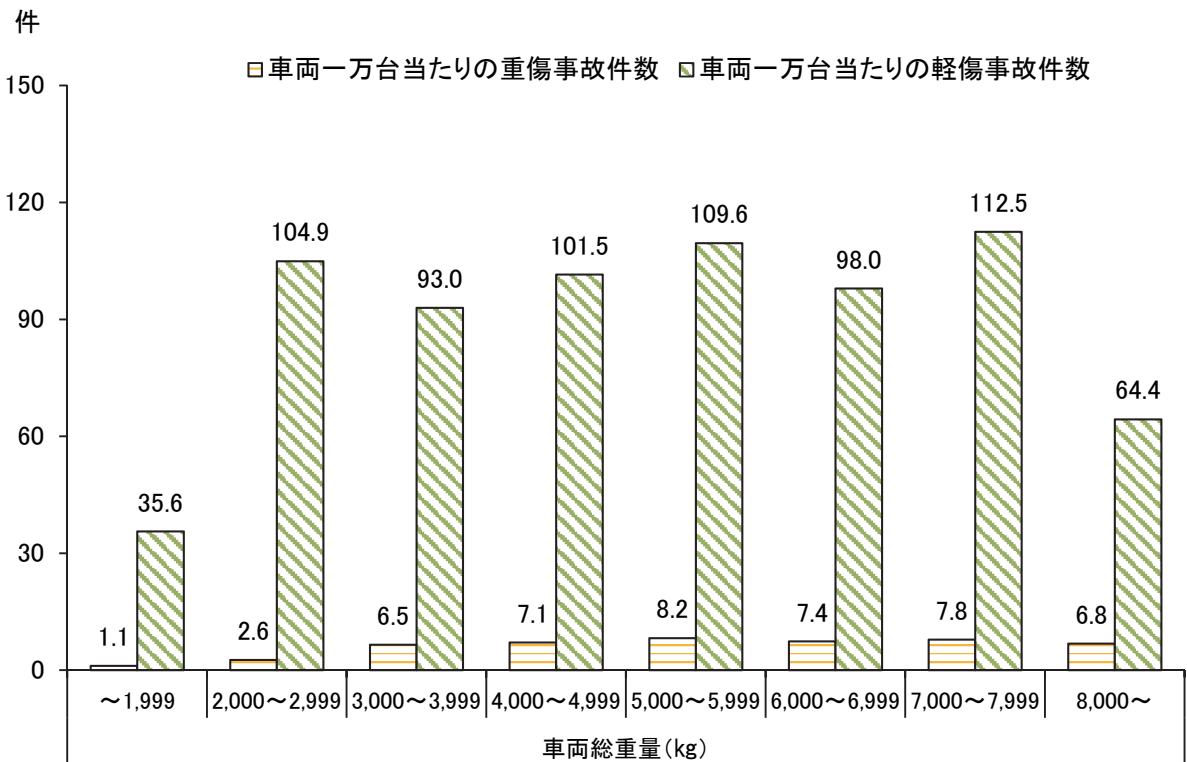
※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（平成30年12月末現在）」を使用した。

付録11 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（平成30年）



付録12 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成30年）



付録13 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成21-30年）

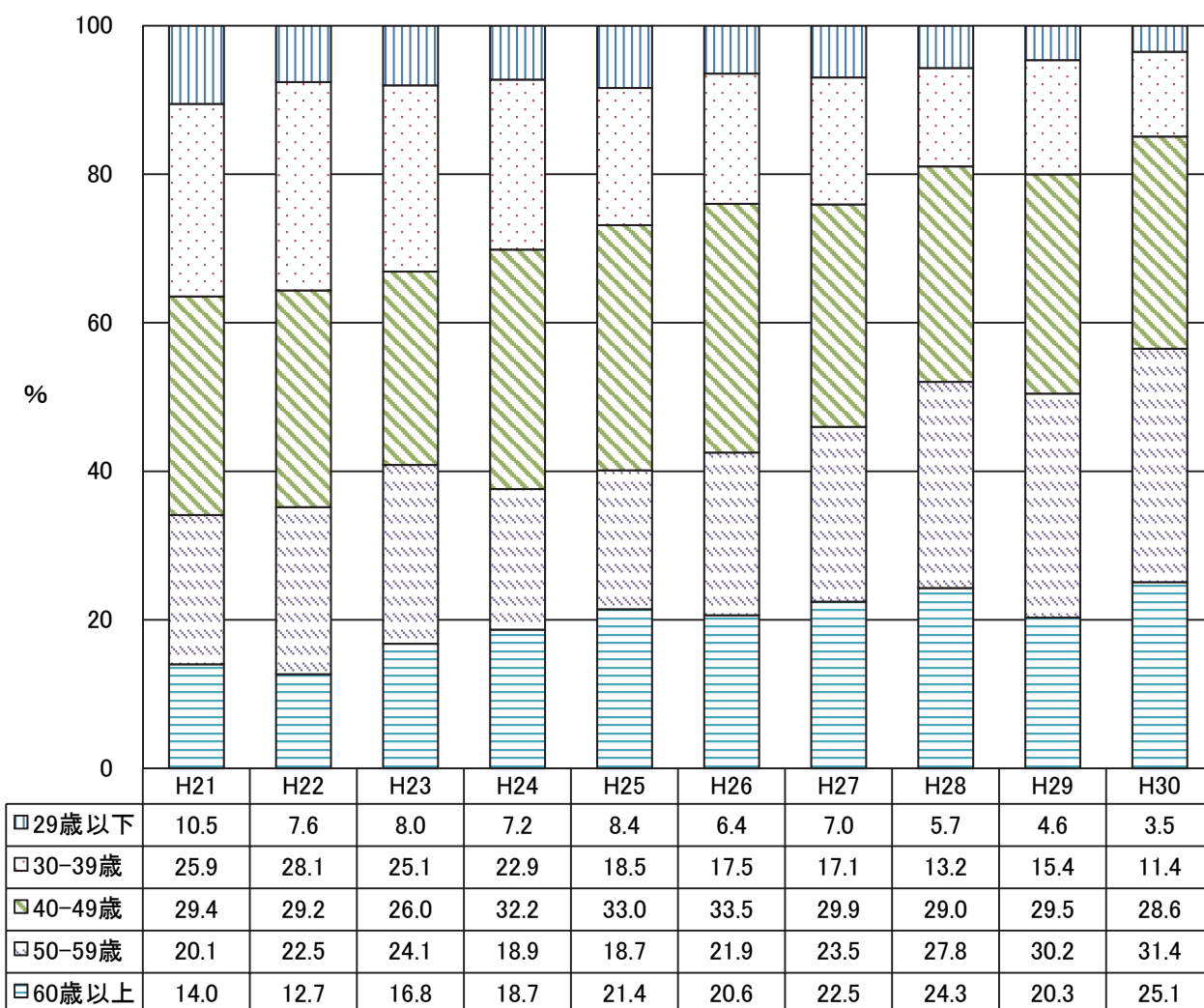
(1-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H21		45	111	126	86	60	428
H22		34	126	131	101	57	449
H23		33	103	107	99	69	411
H24		31	98	138	81	80	428
H25		34	75	134	76	87	406
H26		25	68	130	85	80	388
H27		26	64	112	88	84	374
H28		18	42	92	88	77	317
H29		15	50	96	98	66	325
H30		11	36	90	99	79	315

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



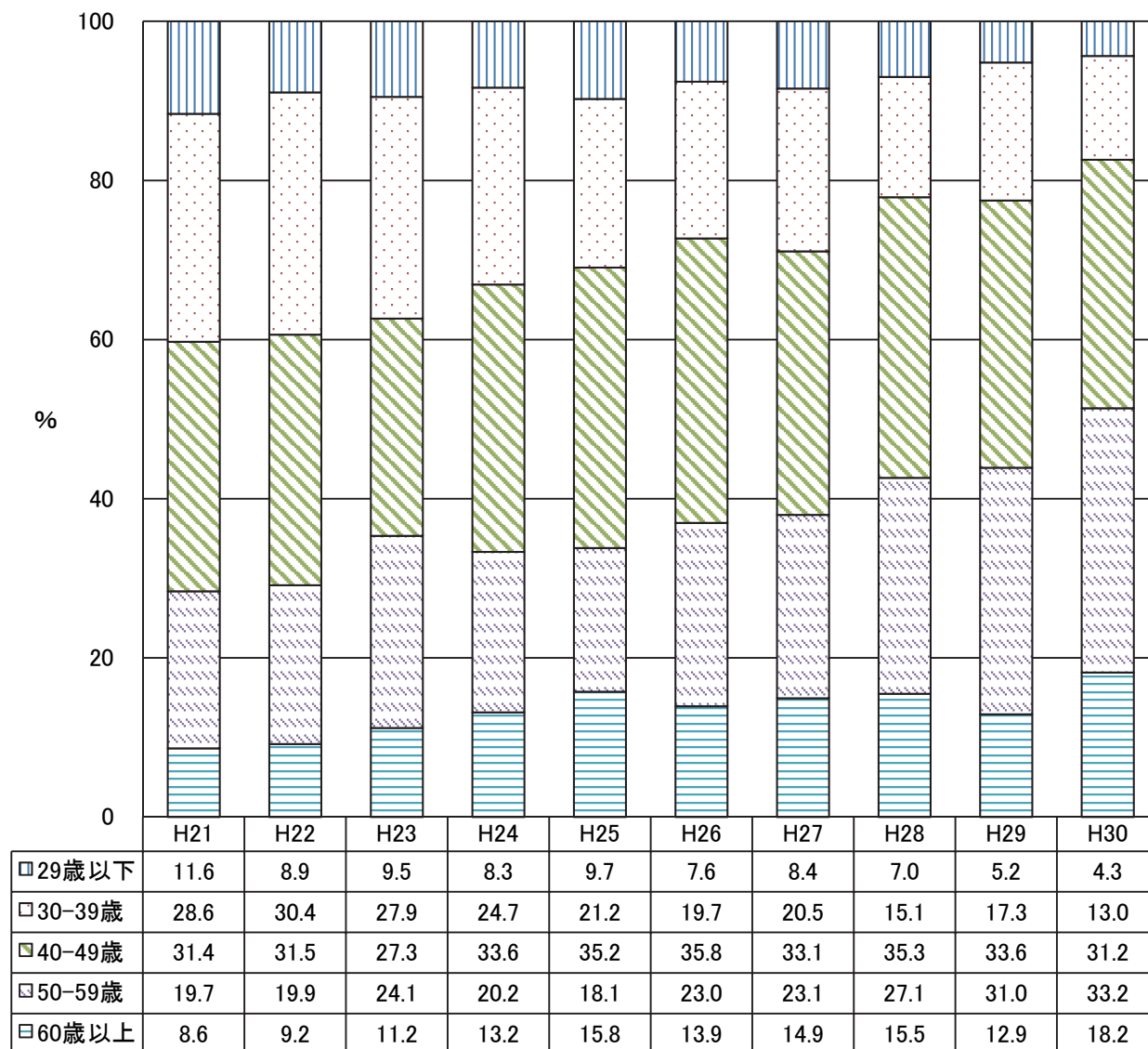
(2-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H21		43	106	116	73	32	370
H22		34	116	120	76	35	381
H23		33	97	95	84	39	348
H24		31	92	125	75	49	372
H25		34	74	123	63	55	349
H26		25	65	118	76	46	330
H27		26	63	102	71	46	308
H28		18	39	91	70	40	258
H29		14	47	91	84	35	271
H30		11	33	79	84	46	253

※ 軽自動車を除く

(2-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（トラック）



付録14 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成21-30年）

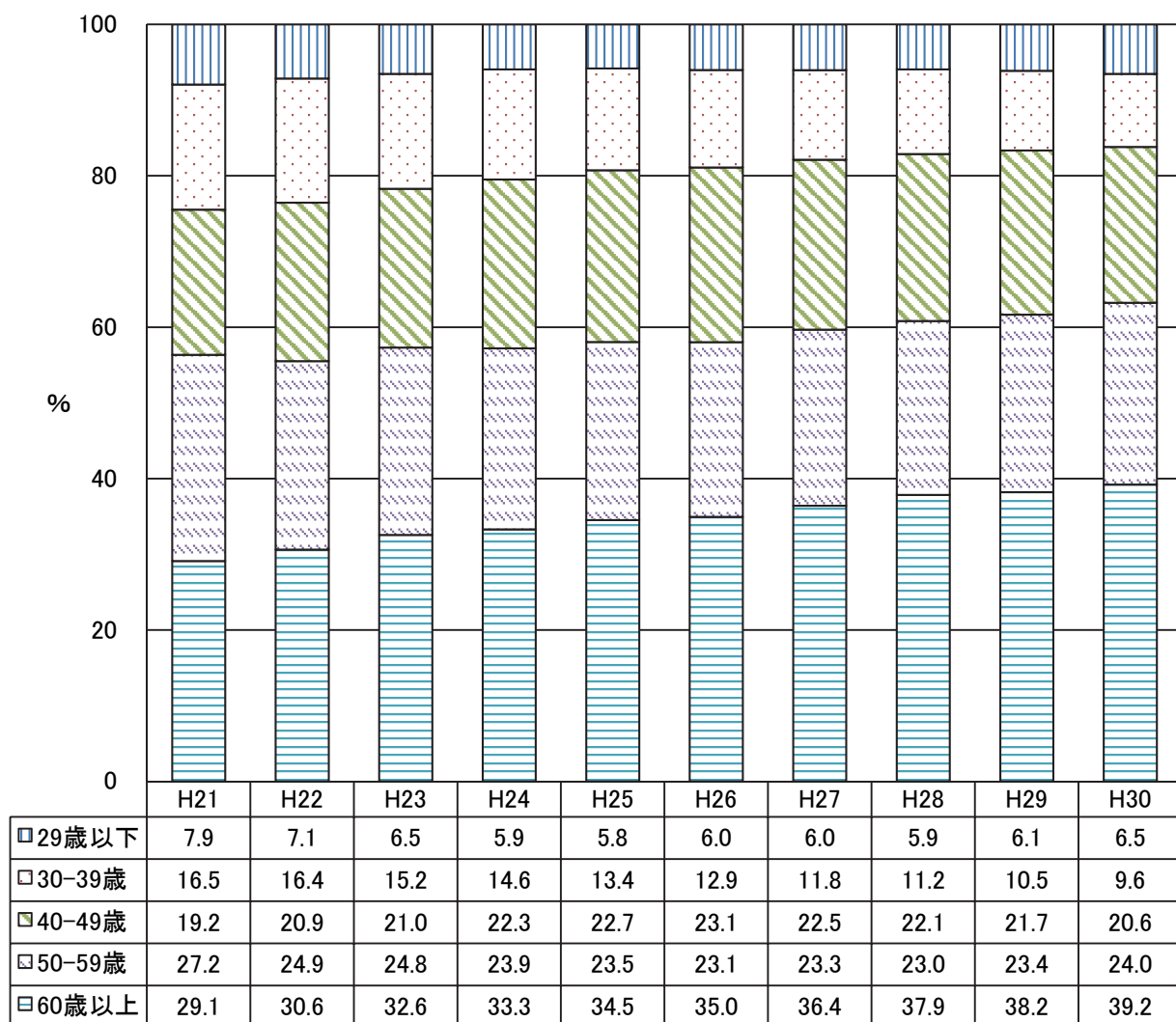
(1-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H21		3,720	7,760	9,000	12,785	13,666	46,931
H22		3,312	7,613	9,708	11,547	14,211	46,391
H23		2,902	6,736	9,318	10,991	14,461	44,408
H24		2,442	5,991	9,178	9,843	13,710	41,164
H25		2,232	5,155	8,709	9,026	13,252	38,374
H26		2,154	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815
H27		1,976	3,878	7,359	7,621	11,937	32,771
H28		1,759	3,307	6,534	6,804	11,212	29,616
H29		1,764	3,035	6,258	6,758	11,023	28,838
H30		1,747	2,584	5,520	6,433	10,505	26,789

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



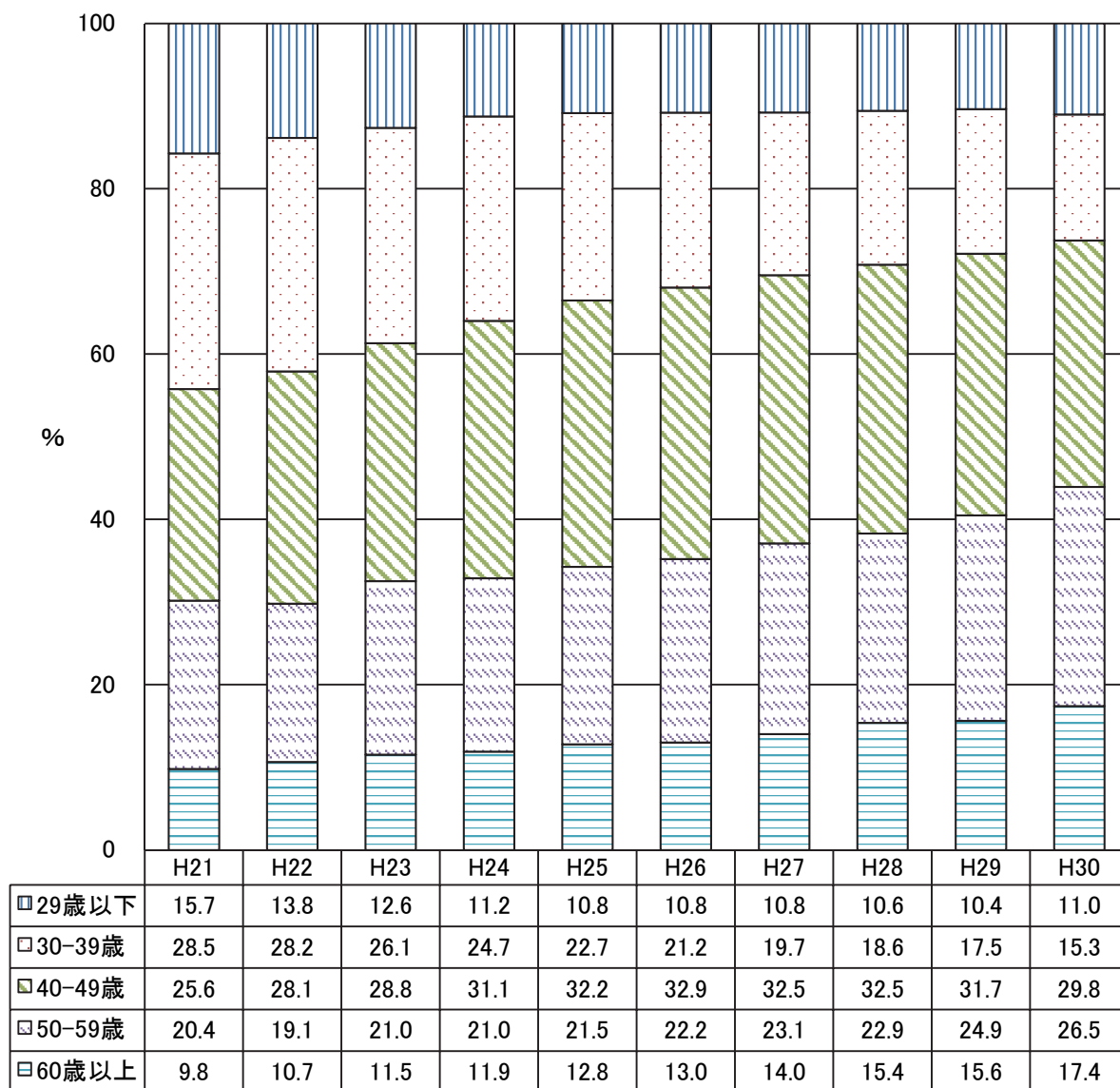
(2-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H21		3,249	5,897	5,296	4,213	2,026	20,681
H22		2,912	5,946	5,918	4,030	2,243	21,049
H23		2,595	5,363	5,919	4,320	2,371	20,568
H24		2,189	4,818	6,065	4,084	2,318	19,474
H25		2,005	4,190	5,962	3,971	2,363	18,491
H26		1,921	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801
H27		1,739	3,181	5,244	3,728	2,264	16,156
H28		1,543	2,717	4,750	3,345	2,245	14,600
H29		1,473	2,487	4,501	3,535	2,221	14,217
H30		1,477	2,048	4,003	3,561	2,339	13,428

※ 軽自動車を除く

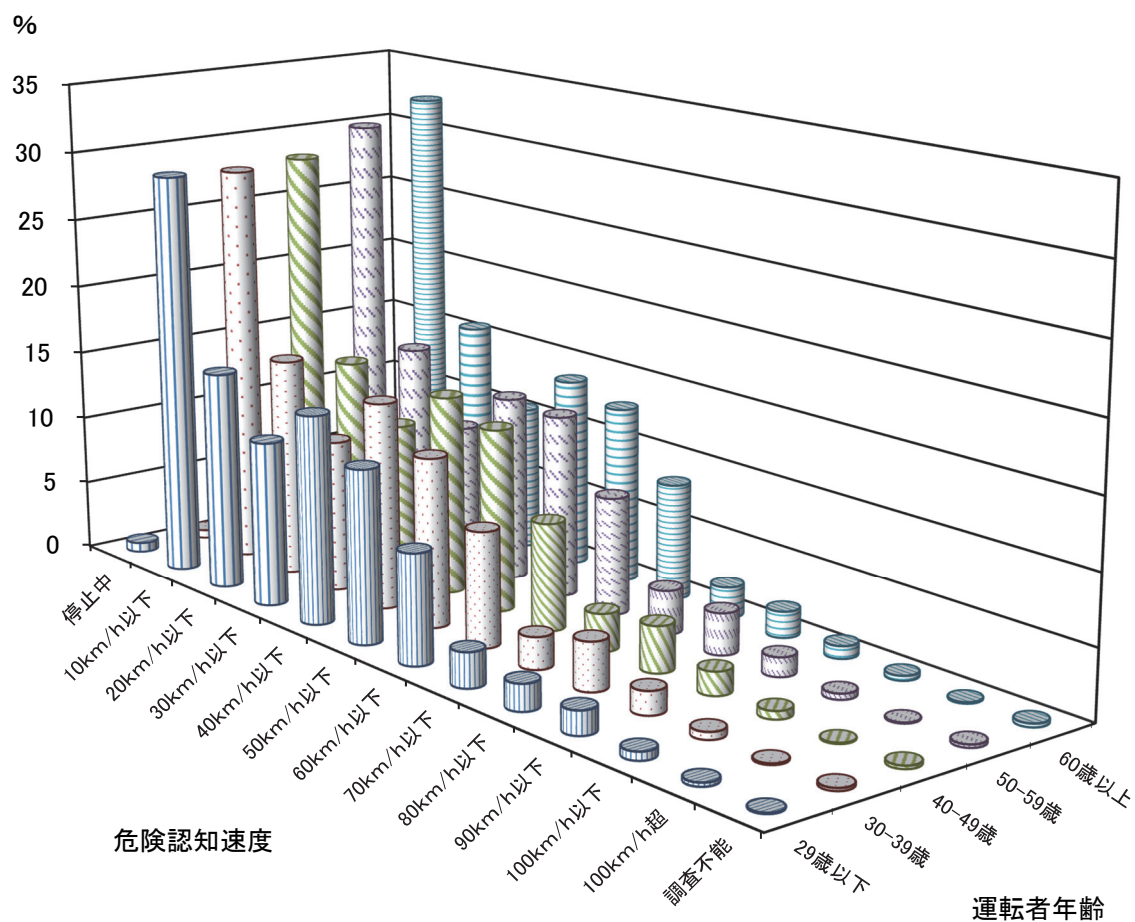
(2-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（トラック）



付録15 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

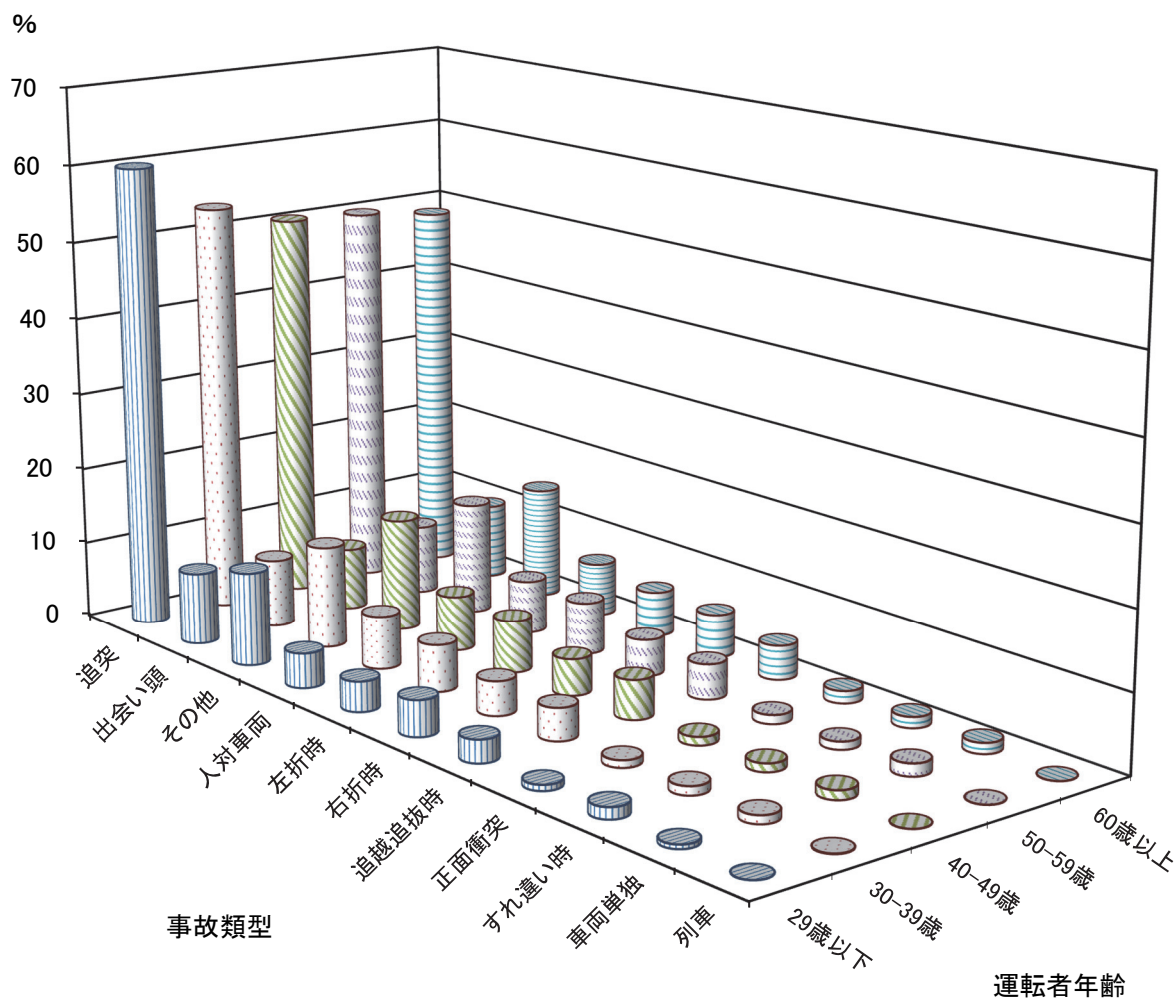
運転者年齢 危険認知速度	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
停止中	0.7	0.6	0.8	0.7	0.6	0.7
10km/h以下	29.2	28.9	29.2	31.0	32.4	30.2
20km/h以下	15.8	15.8	14.8	14.9	15.7	15.3
30km/h以下	11.9	11.0	11.2	10.1	10.5	10.8
40km/h以下	15.0	14.9	14.4	13.4	13.8	14.2
50km/h以下	12.5	12.2	13.2	13.2	12.8	12.9
60km/h以下	7.9	8.3	7.8	8.5	8.4	8.2
70km/h以下	2.5	2.3	2.7	3.1	2.2	2.7
80km/h以下	1.9	3.5	3.3	3.0	1.9	2.8
90km/h以下	1.7	1.7	1.7	1.4	0.9	1.5
100km/h以下	0.6	0.5	0.6	0.4	0.3	0.5
100km/h超	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
調査不能	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録16 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
追突	60.1	53.4	50.5	49.9	48.6	51.5
出会い頭	9.3	8.8	8.1	9.0	9.8	8.9
その他	12.1	13.2	14.6	14.5	14.5	14.1
人対車両	4.5	6.8	7.1	6.8	6.9	6.7
左折時	3.9	6.1	6.7	6.7	5.8	6.1
右折時	4.6	4.4	4.7	4.7	5.6	4.8
追越追抜時	2.9	4.2	5.0	4.5	4.4	4.4
正面衝突	0.7	0.9	1.1	1.2	1.6	1.1
すれ違い時	1.5	1.1	1.1	1.0	1.4	1.2
車両単独	0.5	1.1	1.2	1.6	1.4	1.2
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録17 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成30年）

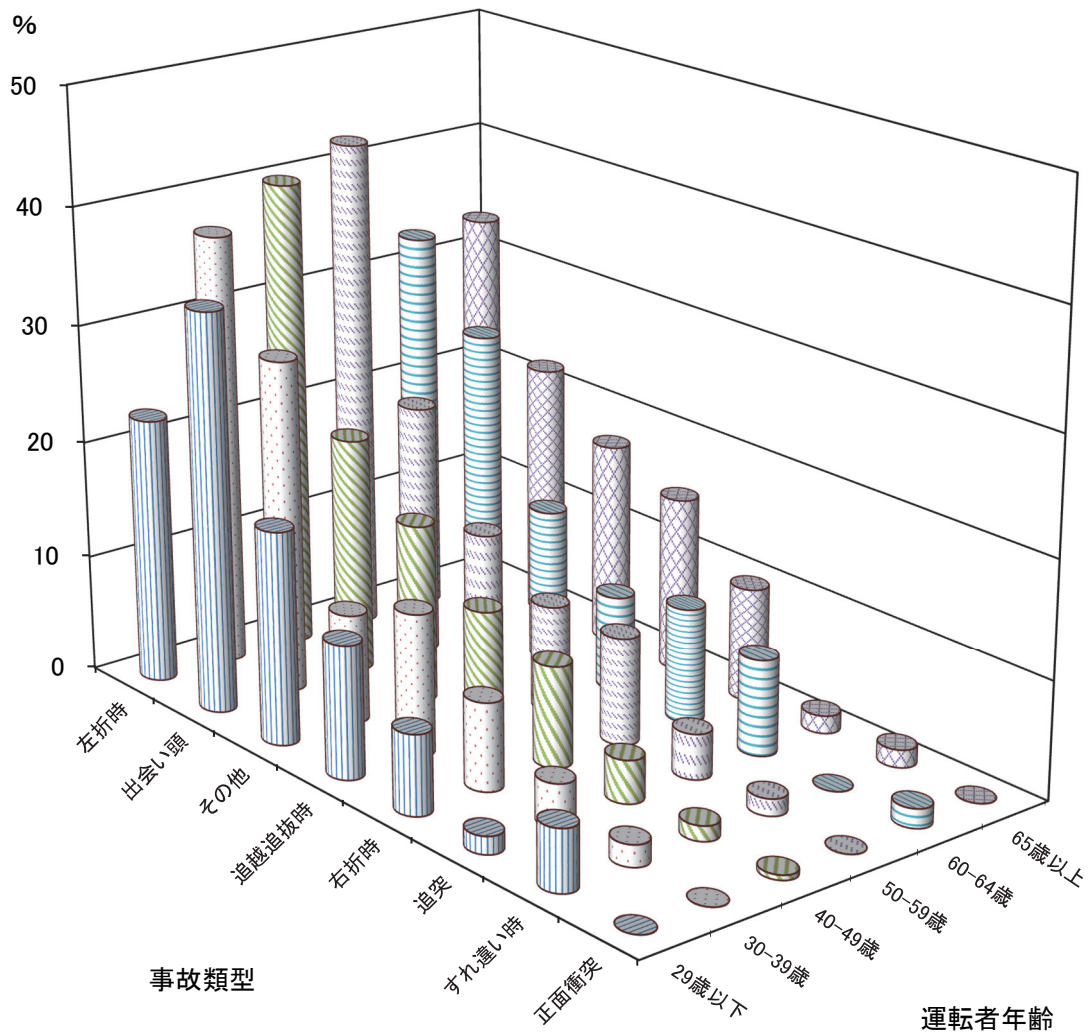
(件)

事故内容		死亡			重傷			軽傷			合計			
		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	
自 転 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	4	4
	追突	進行中	0	7	7	1	12	13	0	29	29	1	48	49
		駐・停車中	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	6	6
	出会い頭衝突	0	11	11	0	58	58	0	281	281	0	350	350	
	追越・追抜時衝突	0	5	5	0	21	21	0	132	132	0	158	158	
	進路変更時衝突	0	0	0	0	2	2	0	8	8	0	10	10	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	7	7	0	17	17	0	25	25	
	左折時衝突	0	32	32	0	78	78	0	444	444	0	554	554	
	右折時衝突	0	4	4	0	21	21	0	103	103	0	128	128	
	横断時衝突	0	0	0	0	3	3	0	15	15	0	18	18	
	転回時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	後退時衝突	0	0	0	0	3	3	0	37	37	0	40	40	
その他	0	2	2	0	22	22	0	115	115	0	139	139		
小計	0	62	62	1	230	231	0	1,188	1,188	1	1,480	1,481		
二 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	1	1	0	2	2	0	8	8	0	11	11
	追突	進行中	1	2	3	1	4	5	0	23	23	2	29	31
		駐・停車中	1	2	3	0	8	8	1	126	127	2	136	138
	出会い頭衝突	0	7	7	0	41	41	0	138	138	0	186	186	
	追越・追抜時衝突	0	2	2	1	25	26	1	97	98	2	124	126	
	進路変更時衝突	1	2	3	3	10	13	5	90	95	9	102	111	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	2	2	0	8	8	0	10	10	
	左折時衝突	0	0	0	0	15	15	0	112	112	0	127	127	
	右折時衝突	0	4	4	0	45	45	1	160	161	1	209	210	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	転回時衝突	0	0	0	0	3	3	0	16	16	0	19	19	
	後退時衝突	0	0	0	0	5	5	0	69	69	0	74	74	
その他	0	4	4	0	18	18	1	73	74	1	95	96		
小計	3	24	27	5	178	183	9	921	930	17	1,123	1,140		
四 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	1	1	0	0	0	3	3	0	4	4	
		その他	0	11	11	1	26	27	0	94	94	1	131	132
	追突	進行中	10	2	12	35	17	52	349	479	828	394	498	892
		駐・停車中	16	7	23	29	115	144	514	5,117	5,631	559	5,239	5,798
	出会い頭衝突	0	4	4	0	64	64	2	585	587	2	653	655	
	追越・追抜時衝突	0	0	0	2	3	5	53	253	306	55	256	311	
	進路変更時衝突	1	0	1	6	3	9	191	344	535	198	347	545	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	5	5	0	117	117	0	122	122	
	左折時衝突	0	0	0	0	4	4	4	135	139	4	139	143	
	右折時衝突	0	5	5	1	27	28	1	274	275	2	306	308	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	
	転回時衝突	0	1	1	0	1	1	0	26	26	0	28	28	
	後退時衝突	0	0	0	0	3	3	12	427	439	12	430	442	
その他	3	0	3	7	10	17	61	283	344	71	293	364		
小計	30	31	61	81	278	359	1,187	8,139	9,326	1,298	8,448	9,746		
其 他	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	追突	進行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		駐・停車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	出会い頭衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	追越・追抜時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	進路変更時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	左折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	右折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	転回時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	後退時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	33	117	150	87	686	773	1,196	10,248	11,444	1,316	11,051	12,367		

付録18 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率
(平成30年)

(%)

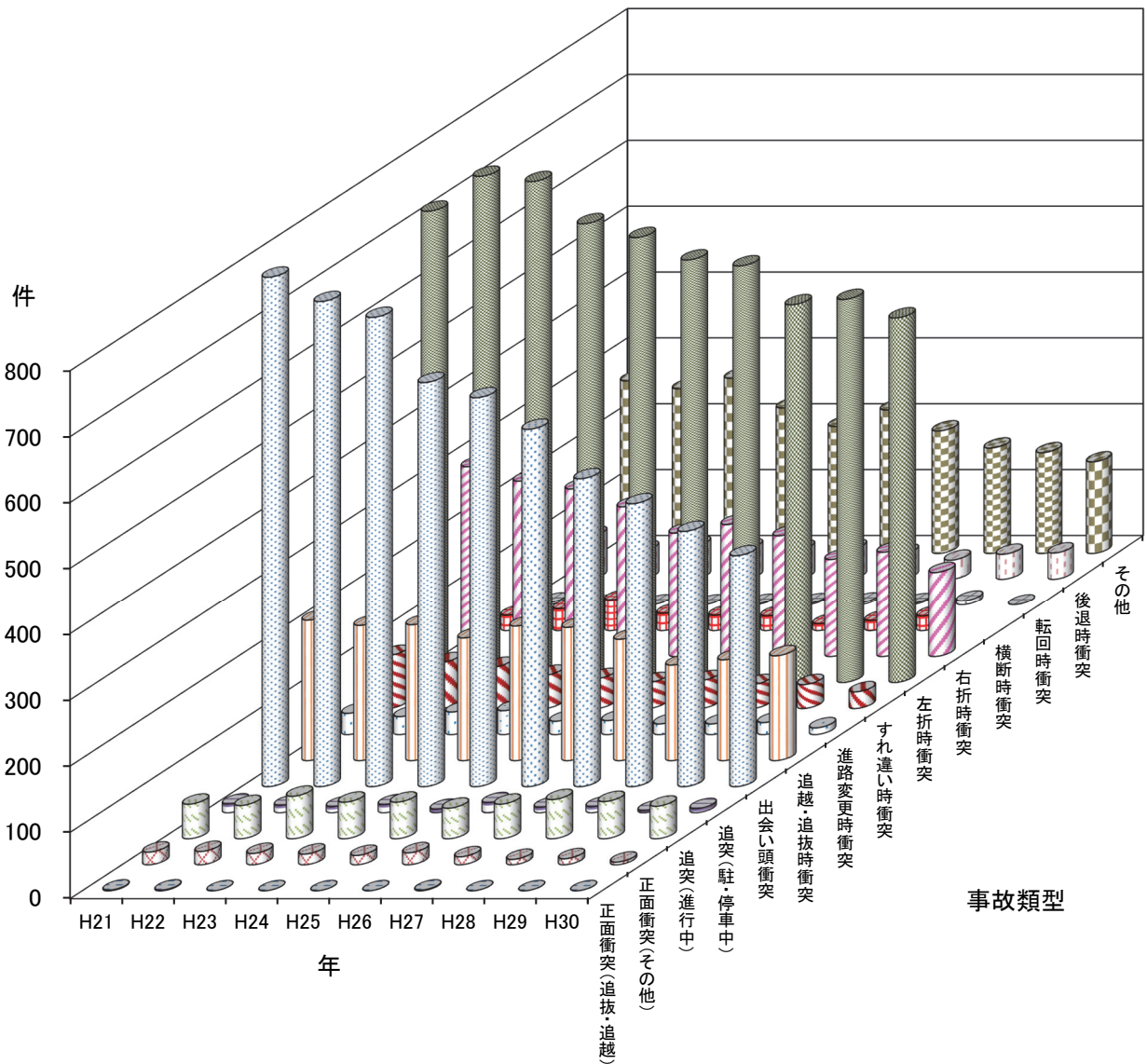
事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
左折時	22.7	36.9	40.0	42.2	32.8	33.1	37.4
出会い頭	34.1	28.5	20.2	21.4	26.2	21.8	23.6
その他	18.2	9.3	15.3	12.8	13.1	17.3	14.0
追越追抜時	11.4	12.1	10.5	9.2	8.2	15.0	10.7
右折時	6.8	7.5	8.6	9.2	9.8	9.8	8.6
追突	1.5	3.7	3.7	3.9	8.2	1.5	3.7
すれ違い時	5.3	1.9	1.3	1.4	0.0	1.5	1.7
正面衝突	0.0	0.0	0.4	0.0	1.6	0.0	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録19 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況

(1) 対自転車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成21-30年）

事故類型		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
対自転車	正面衝突	追越・追抜	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
		その他	19	20	17	16	14	18	12	8	9	4
	追突	進行中	52	50	64	55	55	46	52	59	56	49
		駐・停車中	13	11	9	12	5	15	8	9	3	6
	出会い頭衝突	773	736	712	613	590	542	467	429	387	350	
	追越・追抜時衝突	212	204	205	185	203	201	183	144	152	158	
	進路変更時衝突	32	27	34	36	20	21	16	16	18	10	
	すれ違い時衝突	80	69	62	50	45	39	42	36	36	25	
	左折時衝突	716	769	761	697	676	642	633	574	583	554	
	右折時衝突	289	267	255	228	188	201	184	148	159	128	
	横断時衝突	23	33	47	26	23	22	10	15	22	18	
	転回時衝突	3	1	0	0	1	2	3	2	6	0	
	後退時衝突	65	43	50	46	44	45	38	29	38	40	
	その他	262	250	266	221	193	218	186	160	153	139	
合計		2,540	2,481	2,482	2,185	2,057	2,012	1,835	1,629	1,622	1,481	



(2-1) 対自転車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

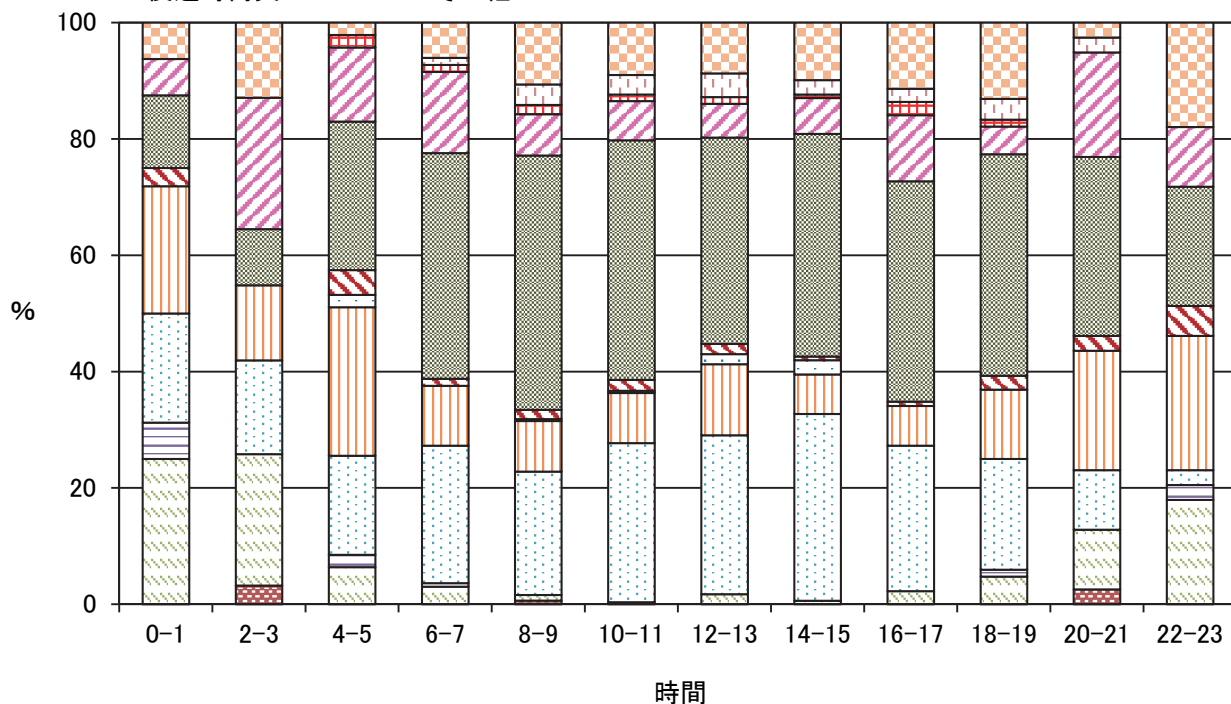
事故類型		時間（2時間毎）												合計			
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23				
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4			
	追突	進行中	8	7	3	5	3	1	3	1	3	4	4	7	49		
		駐・停車中	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	6		
	出会い頭衝突		6	5	8	39	66	73	47	52	33	16	4	1	350		
	追越・追抜時衝突		7	4	12	17	27	23	21	11	9	10	8	9	158		
	進路変更時衝突		0	0	1	0	1	1	3	4	0	0	0	0	10		
	すれ違い時衝突		1	0	2	2	5	5	3	1	1	2	1	2	25		
	左折時衝突		4	3	12	64	136	110	61	62	50	32	12	8	554		
	右折時衝突		2	7	6	23	22	18	10	10	15	4	7	4	128		
	横断時衝突		0	0	1	2	5	3	2	1	3	1	0	0	18		
	転回時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	後退時衝突		0	0	0	2	11	9	7	4	3	3	1	0	40		
	その他		2	4	1	10	33	24	15	16	15	11	1	7	139		
	合計		32	31	47	165	311	267	172	162	132	84	39	39	1,481		

(2-2) 対自転車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計		
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	3.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.3	
	追突	進行中	25.0	22.6	6.4	3.0	1.0	0.4	1.7	0.6	2.3	4.8	10.3	17.9	3.3	
		駐・停車中	6.3	0.0	2.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	2.6	0.4	
	出会い頭衝突		18.8	16.1	17.0	23.6	21.2	27.3	27.3	32.1	25.0	19.0	10.3	2.6	23.6	
	追越・追抜時衝突		21.9	12.9	25.5	10.3	8.7	8.6	12.2	6.8	6.8	11.9	20.5	23.1	10.7	
	進路変更時衝突		0.0	0.0	2.1	0.0	0.3	0.4	1.7	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	
	すれ違い時衝突		3.1	0.0	4.3	1.2	1.6	1.9	1.7	0.6	0.8	2.4	2.6	5.1	1.7	
	左折時衝突		12.5	9.7	25.5	38.8	43.7	41.2	35.5	38.3	37.9	38.1	30.8	20.5	37.4	
	右折時衝突		6.3	22.6	12.8	13.9	7.1	6.7	5.8	6.2	11.4	4.8	17.9	10.3	8.6	
	横断時衝突		0.0	0.0	2.1	1.2	1.6	1.1	1.2	0.6	2.3	1.2	0.0	0.0	1.2	
	転回時衝突		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	後退時衝突		0.0	0.0	0.0	1.2	3.5	3.4	4.1	2.5	2.3	3.6	2.6	0.0	2.7	
	その他		6.3	12.9	2.1	6.1	10.6	9.0	8.7	9.9	11.4	13.1	2.6	17.9	9.4	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 正面衝突(追抜・追越)
- 正面衝突(その他)
- 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対自転車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（平成30年）

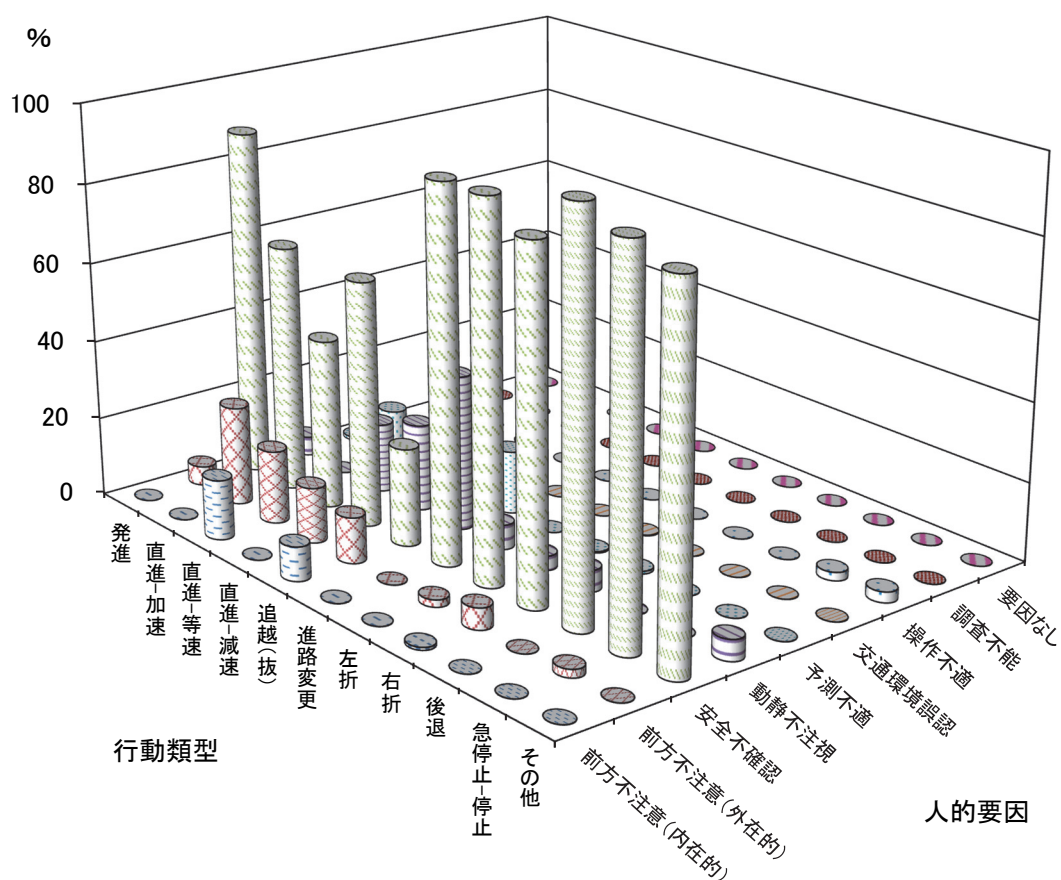
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0	0	51	0	6	0	0	1	0	0	0	58
前方不注意(外在的)	6	2	62	7	8	0	11	8	0	1	0	105
安全不確認	109	5	144	31	17	15	568	129	43	45	34	1,140
動静不注視	6	0	59	11	27	1	22	8	0	0	2	136
予測不適	1	1	17	0	11	0	2	1	0	0	0	33
交通環境誤認	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4
操作不適	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	5
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	124	8	336	50	69	16	604	147	43	47	37	1,481

(3-2) 対自転車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

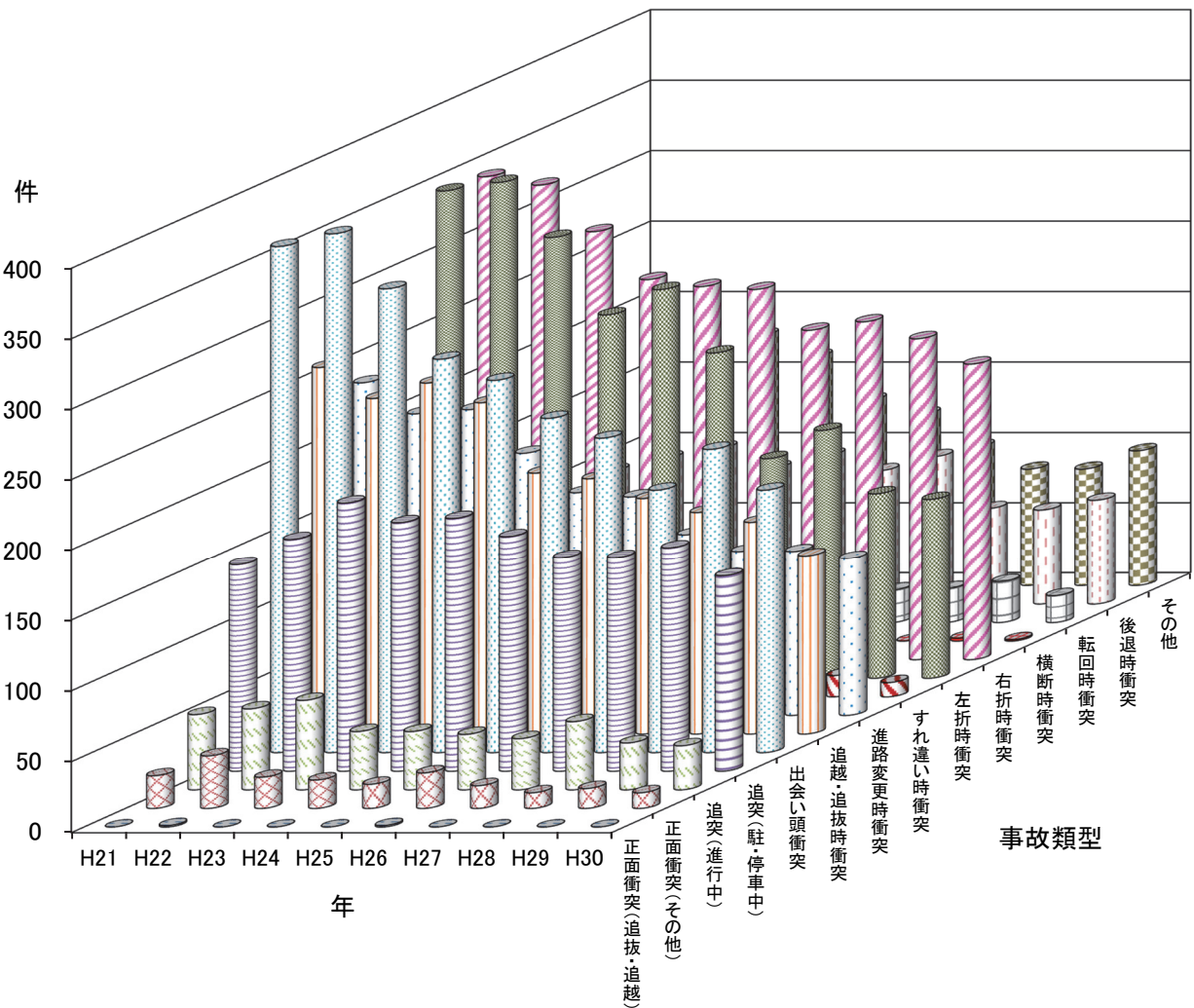
行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	15.2	0.0	8.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	3.9
前方不注意(外在的)	4.8	25.0	18.5	14.0	11.6	0.0	1.8	5.4	0.0	2.1	0.0	7.1
安全不確認	87.9	62.5	42.9	62.0	24.6	93.8	94.0	87.8	100.0	95.7	91.9	77.0
動静不注視	4.8	0.0	17.6	22.0	39.1	6.3	3.6	5.4	0.0	0.0	5.4	9.2
予測不適	0.8	12.5	5.1	0.0	15.9	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	2.2
交通環境誤認	0.0	0.0	0.6	2.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
操作不適	1.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.7	0.3
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録20 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況

(1) 対二輪車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成21-30年）

事故類型		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
対二輪車	正面衝突	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	追越・追抜	23	37	22	20	17	25	16	11	14	11
	追突	53	57	63	41	41	39	36	48	33	31
	進行中	146	164	190	176	179	166	151	151	158	138
	駐・停車中	359	368	329	279	264	237	223	186	215	186
	出会い頭衝突	260	238	249	235	185	181	167	157	150	126
	追越・追抜時衝突	236	214	217	186	158	155	128	116	116	111
	進路変更時衝突	29	19	16	19	16	18	14	13	15	10
	すれ違い時衝突	346	352	313	258	276	231	156	176	131	127
	左折時衝突	343	337	304	270	265	263	234	240	228	210
	横断時衝突	5	7	3	5	6	1	0	0	2	1
	転回時衝突	43	41	32	29	32	32	23	24	29	19
	後退時衝突	95	104	111	97	106	95	105	68	67	74
	その他	174	152	178	163	132	122	99	83	83	96
	合計	2,112	2,091	2,027	1,778	1,677	1,566	1,352	1,273	1,241	1,140



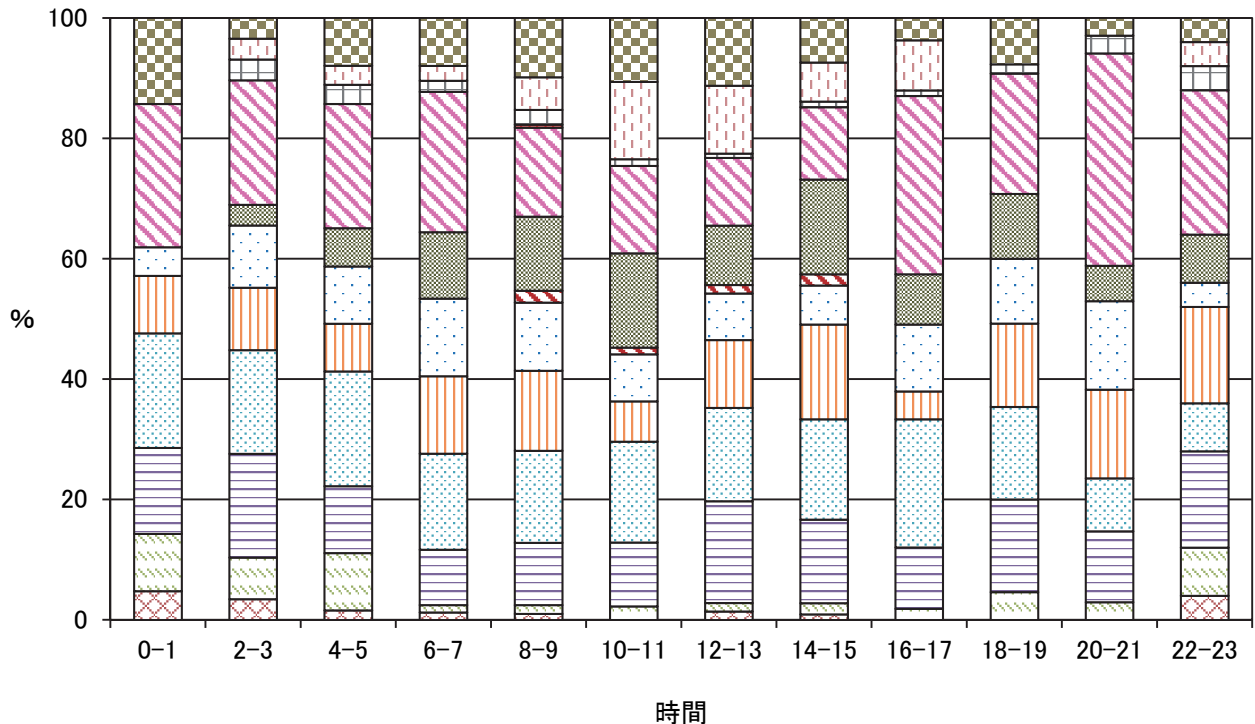
(2-1) 対二輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成30年）

事故類型		時間（2時間毎）													合計		
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23				
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	1	1	2	2	0	2	1	0	0	0	1	1		
	追突	進行中	2	2	6	2	3	4	2	2	2	3	1	2	3		
		駐・停車中	3	5	7	15	21	19	24	15	11	10	4	4	13		
	出会い頭衝突		4	5	12	26	31	30	22	18	23	10	3	2	186		
	追越・追抜時衝突		2	3	5	21	27	12	16	17	5	9	5	4	126		
	進路変更時衝突		1	3	6	21	23	14	11	7	12	7	5	1	111		
	すれ違い時衝突		0	0	0	0	4	2	2	2	0	0	0	0	10		
	左折時衝突		0	1	4	18	25	28	14	17	9	7	2	2	127		
	右折時衝突		5	6	13	38	30	26	16	13	32	13	12	6	210		
	横断時衝突		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	転回時衝突		0	1	2	3	5	2	1	1	1	1	1	1	19		
	後退時衝突		0	1	2	4	11	23	16	7	9	0	0	1	74		
	その他		3	1	5	13	20	19	16	8	4	5	1	1	96		
	合計		21	29	63	163	203	179	142	108	108	65	34	25	1,140		

(2-2) 対二輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）

事故類型		時間（2時間毎）													合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	4.8	3.4	1.6	1.2	1.0	0.0	1.4	0.9	0.0	0.0	4.0	1.0		
	追突	進行中	9.5	6.9	9.5	1.2	1.5	2.2	1.4	1.9	1.9	4.6	2.9	8.0	2.7	
		駐・停車中	14.3	17.2	11.1	9.2	10.3	10.6	16.9	13.9	10.2	15.4	11.8	16.0	12.1	
	出会い頭衝突		19.0	17.2	19.0	16.0	15.3	16.8	15.5	16.7	21.3	15.4	8.8	8.0	16.3	
	追越・追抜時衝突		9.5	10.3	7.9	12.9	13.3	6.7	11.3	15.7	4.6	13.8	14.7	16.0	11.1	
	進路変更時衝突		4.8	10.3	9.5	12.9	11.3	7.8	7.7	6.5	11.1	10.8	14.7	4.0	9.7	
	すれ違い時衝突		0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.1	1.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
	左折時衝突		0.0	3.4	6.3	11.0	12.3	15.6	9.9	15.7	8.3	10.8	5.9	8.0	11.1	
	右折時衝突		23.8	20.7	20.6	23.3	14.8	14.5	11.3	12.0	29.6	20.0	35.3	24.0	18.4	
	横断時衝突		0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
	転回時衝突		0.0	3.4	3.2	1.8	2.5	1.1	0.7	0.9	0.9	1.5	2.9	4.0	1.7	
	後退時衝突		0.0	3.4	3.2	2.5	5.4	12.8	11.3	6.5	8.3	0.0	0.0	4.0	6.5	
	その他		14.3	3.4	7.9	8.0	9.9	10.6	11.3	7.4	3.7	7.7	2.9	4.0	8.4	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 正面衝突(追抜・追越)
- ▣ 正面衝突(その他)
- ▣ 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- ▣ 出会い頭衝突
- ▣ 追越・追抜時衝突
- ▣ 進路変更時衝突
- ▣ すれ違い時衝突
- ▣ 左折時衝突
- ▣ 右折時衝突
- ▣ 横断時衝突
- 転回時衝突
- ▣ 後退時衝突
- ▣ その他



(3-1) 対二輪車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(平成30年)

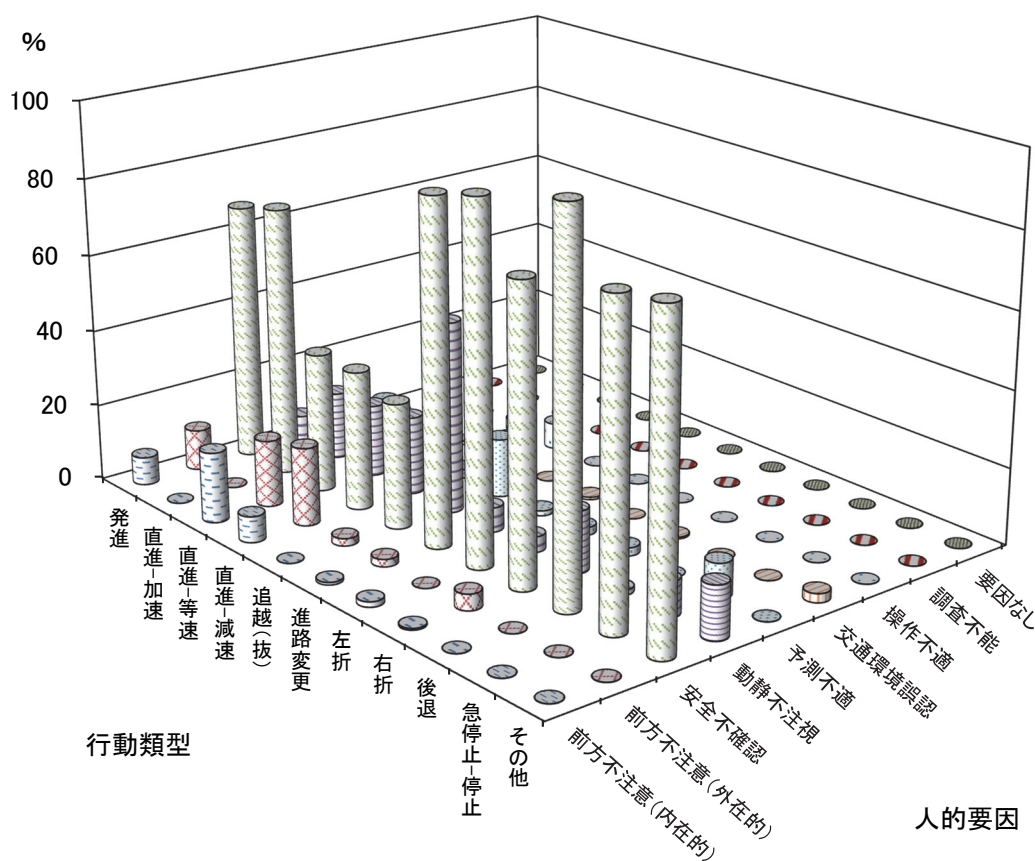
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	11	0	38	3	0	1	2	1	0	0	0	56
前方不注意(外在的)	16	0	36	9	1	3	0	10	0	0	0	75
安全不確認	101	12	75	16	17	139	136	182	76	9	36	799
動静不注視	10	3	39	9	26	10	6	38	1	1	6	149
予測不適	3	2	9	1	8	2	3	5	0	1	0	34
交通環境誤認	0	0	2	3	0	1	0	1	0	0	1	8
操作不適	9	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0	18
調査不能	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	150	17	206	44	52	156	147	237	77	11	43	1,140

(3-2) 対二輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(平成30年)

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	7.3	0.0	18.4	6.8	0.0	0.6	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	4.9
前方不注意(外在的)	10.7	0.0	17.5	20.5	1.9	1.9	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	6.6
安全不確認	67.3	70.6	36.4	36.4	32.7	89.1	92.5	76.8	98.7	81.8	83.7	70.1
動静不注視	6.7	17.6	18.9	20.5	50.0	6.4	4.1	16.0	1.3	9.1	14.0	13.1
予測不適	2.0	11.8	4.4	2.3	15.4	1.3	2.0	2.1	0.0	9.1	0.0	3.0
交通環境誤認	0.0	0.0	1.0	6.8	0.0	0.6	0.0	0.4	0.0	0.0	2.3	0.7
操作不適	6.0	0.0	2.9	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
調査不能	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

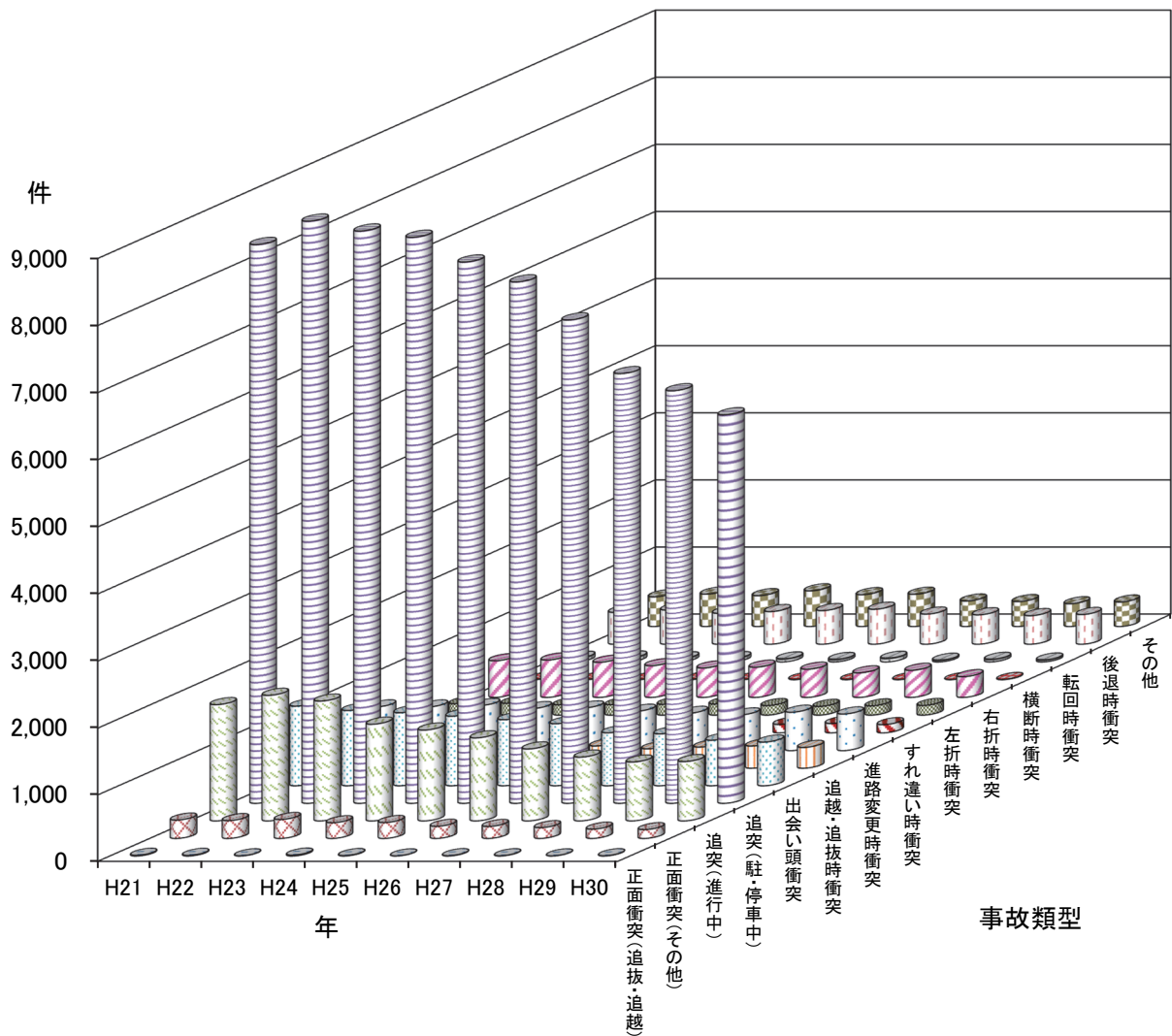


付録21 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況

(1) 対四輪車の事故類型別の死傷事故件数の推移（平成21-30年）

(件)

事故類型		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
対四輪車	正面衝突	10	9	3	13	6	2	5	4	2	4
	追越・追抜	276	268	285	236	239	182	180	162	139	132
	その他	1,741	1,880	1,794	1,450	1,363	1,246	1,081	959	885	892
	追突	8,335	8,683	8,536	8,443	8,074	7,778	7,210	6,411	6,155	5,798
	進行中	1,190	1,126	1,093	1,041	989	929	793	777	683	655
	追越・追抜時衝突	270	255	297	320	281	332	290	316	332	311
	進路変更時衝突	650	649	671	625	635	585	554	531	571	545
	すれ違い時衝突	158	155	202	175	164	170	157	126	140	122
	左折時衝突	169	175	152	154	160	165	141	129	137	143
	右折時衝突	545	556	522	471	437	449	419	365	402	308
	横断時衝突	6	6	4	7	4	4	3	2	1	2
	転回時衝突	53	57	46	48	44	36	53	24	38	28
	後退時衝突	474	509	460	485	500	520	448	437	425	442
	その他	441	481	458	530	473	479	378	370	338	364
	合計	14,318	14,809	14,523	13,998	13,369	12,877	11,712	10,613	10,248	9,746



(2-1) 対四輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成30年）

(件)

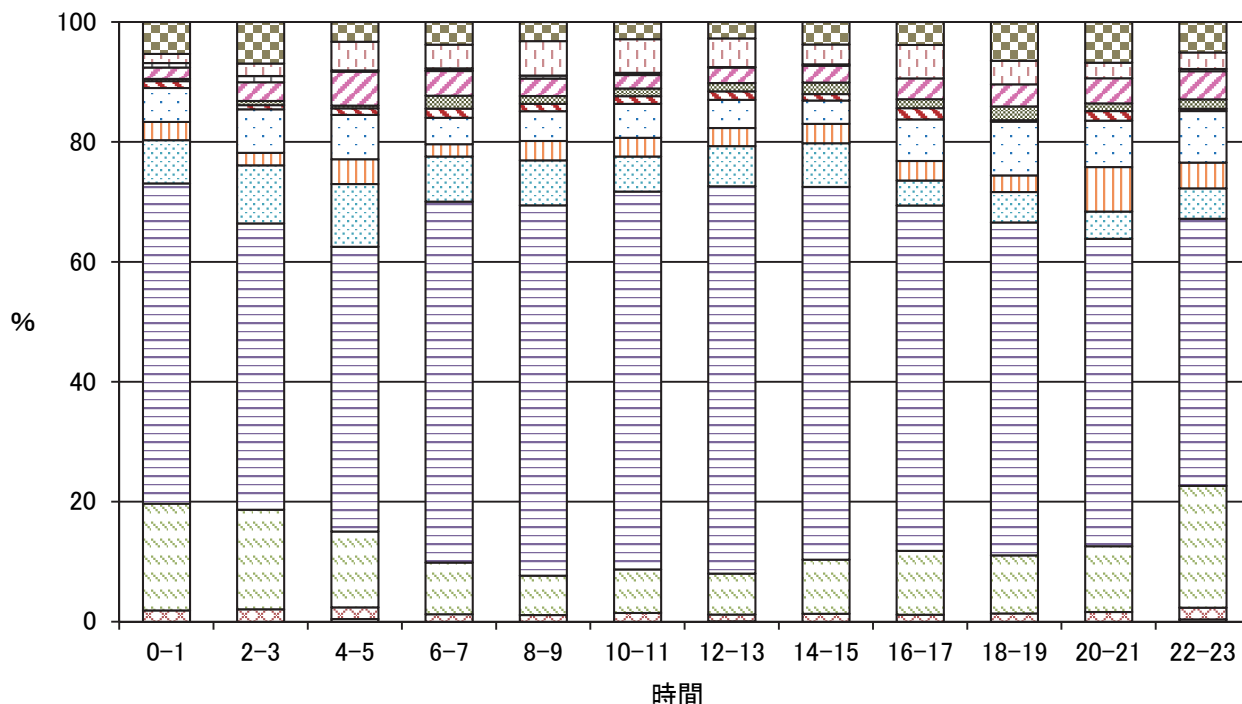
事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
		その他	5	6	9	14	17	24	15	16	10	6	5	5	132
	追突	進行中	47	48	58	96	102	119	93	109	92	42	34	52	892
		駐・停車中	141	138	218	671	956	1,035	877	751	497	241	159	114	5,798
	出会い頭衝突		19	28	48	84	116	96	91	88	36	22	14	13	655
	追越・追抜時衝突		8	6	19	23	50	51	41	39	28	12	23	11	311
	進路変更時衝突		15	21	34	49	77	93	64	47	60	39	24	22	545
	すれ違い時衝突		3	2	5	17	19	21	19	13	16	1	5	1	122
	左折時衝突		1	2	2	24	20	21	19	23	13	10	4	4	143
	右折時衝突		5	9	26	46	45	37	35	34	30	16	13	12	308
	横断時衝突		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	転回時衝突		2	3	1	4	8	6	0	3	0	0	0	1	28
	後退時衝突		4	6	22	44	89	92	65	40	48	17	8	7	442
	その他		14	20	15	42	49	47	37	45	33	28	21	13	364
	合計		264	289	459	1,115	1,548	1,642	1,358	1,208	863	434	310	256	9,746

(2-2) 対四輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
		その他	1.9	2.1	2.0	1.3	1.1	1.5	1.1	1.3	1.2	1.4	1.6	2.0	1.4
	追突	進行中	17.8	16.6	12.6	8.6	6.6	7.2	6.8	9.0	10.7	9.7	11.0	20.3	9.2
		駐・停車中	53.4	47.8	47.5	60.2	61.8	63.0	64.6	62.2	57.6	55.5	51.3	44.5	59.5
	出会い頭衝突		7.2	9.7	10.5	7.5	7.5	5.8	6.7	7.3	4.2	5.1	4.5	5.1	6.7
	追越・追抜時衝突		3.0	2.1	4.1	2.1	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2	2.8	7.4	4.3	3.2
	進路変更時衝突		5.7	7.3	7.4	4.4	5.0	5.7	4.7	3.9	7.0	9.0	7.7	8.6	5.6
	すれ違い時衝突		1.1	0.7	1.1	1.5	1.2	1.3	1.4	1.1	1.9	0.2	1.6	0.4	1.3
	左折時衝突		0.4	0.7	0.4	2.2	1.3	1.3	1.4	1.9	1.5	2.3	1.3	1.6	1.5
	右折時衝突		1.9	3.1	5.7	4.1	2.9	2.3	2.6	2.8	3.5	3.7	4.2	4.7	3.2
	横断時衝突		0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	転回時衝突		0.8	1.0	0.2	0.4	0.5	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3
	後退時衝突		1.5	2.1	4.8	3.9	5.7	5.6	4.8	3.3	5.6	3.9	2.6	2.7	4.5
	その他		5.3	6.9	3.3	3.8	3.2	2.9	2.7	3.7	3.8	6.5	6.8	5.1	3.7
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突（追抜・追越）
- 正面衝突（その他）
- 追突（進行中）
- 追突（駐・停車中）
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対四輪車の行動類型別・人的要因別の事故件数（平成30年）

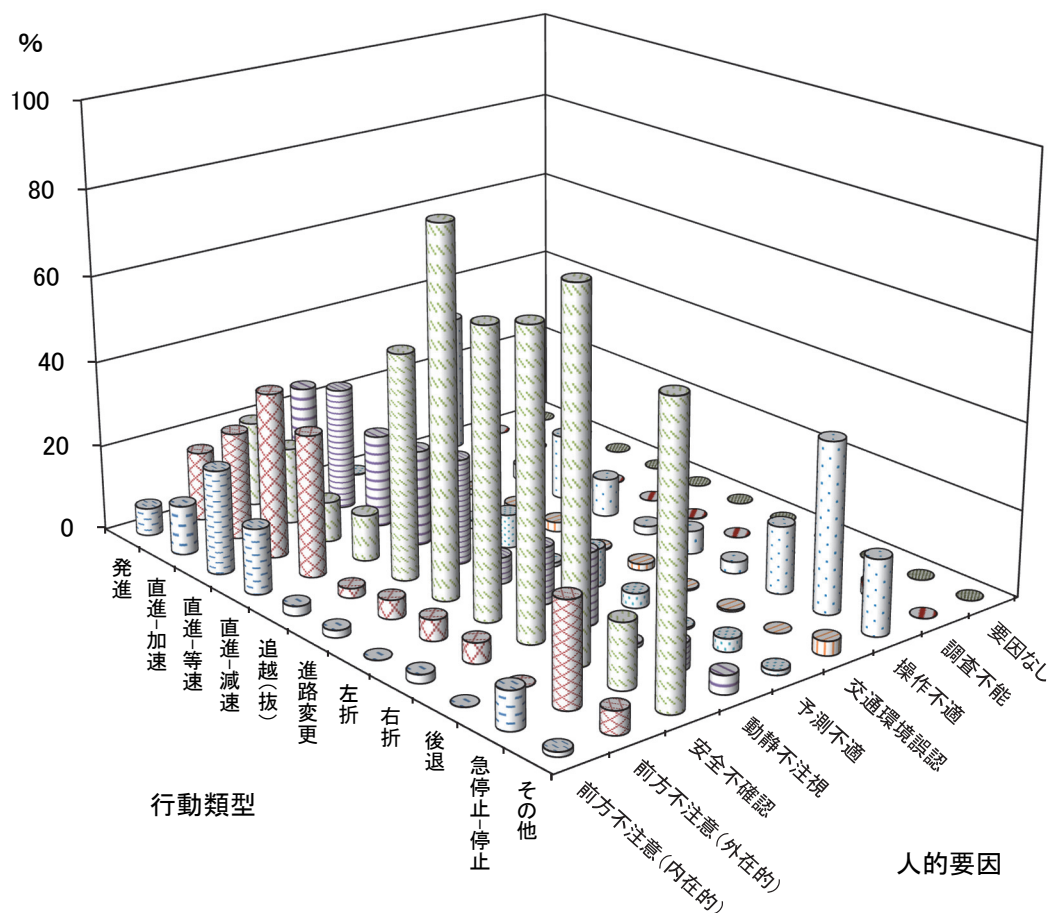
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	85	16	1,259	171	2	13	0	6	0	3	1	1,556
前方不注意(外在的)	214	35	2,003	370	2	34	10	14	0	8	5	2,695
安全不確認	263	25	486	120	47	652	135	206	390	5	61	2,390
動静不注視	330	40	1,120	249	22	47	27	49	4	2	4	1,894
予測不適	2	5	76	21	7	7	18	10	2	1	1	150
交通環境誤認	0	1	69	20	2	2	3	1	2	0	3	103
操作不適	430	18	181	170	8	15	11	8	74	13	16	944
調査不能	0	0	11	0	0	1	0	0	1	1	0	14
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,324	140	5,205	1,121	90	771	204	294	473	33	91	9,746

(3-2) 対四輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	6.4	11.4	24.2	15.3	2.2	1.7	0.0	2.0	0.0	9.1	1.1	16.0
前方不注意(外在的)	16.2	25.0	38.5	33.0	2.2	4.4	4.9	4.8	0.0	24.2	5.5	27.7
安全不確認	19.9	17.9	9.3	10.7	52.2	84.6	66.2	70.1	82.5	15.2	67.0	24.5
動静不注視	24.9	28.6	21.5	22.2	24.4	6.1	13.2	16.7	0.8	6.1	4.4	19.4
予測不適	0.2	3.6	1.5	1.9	7.8	0.9	8.8	3.4	0.4	3.0	1.1	1.5
交通環境誤認	0.0	0.7	1.3	1.8	2.2	0.3	1.5	0.3	0.4	0.0	3.3	1.1
操作不適	32.5	12.9	3.5	15.2	8.9	1.9	5.4	2.7	15.6	39.4	17.6	9.7
調査不能	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	3.0	0.0	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

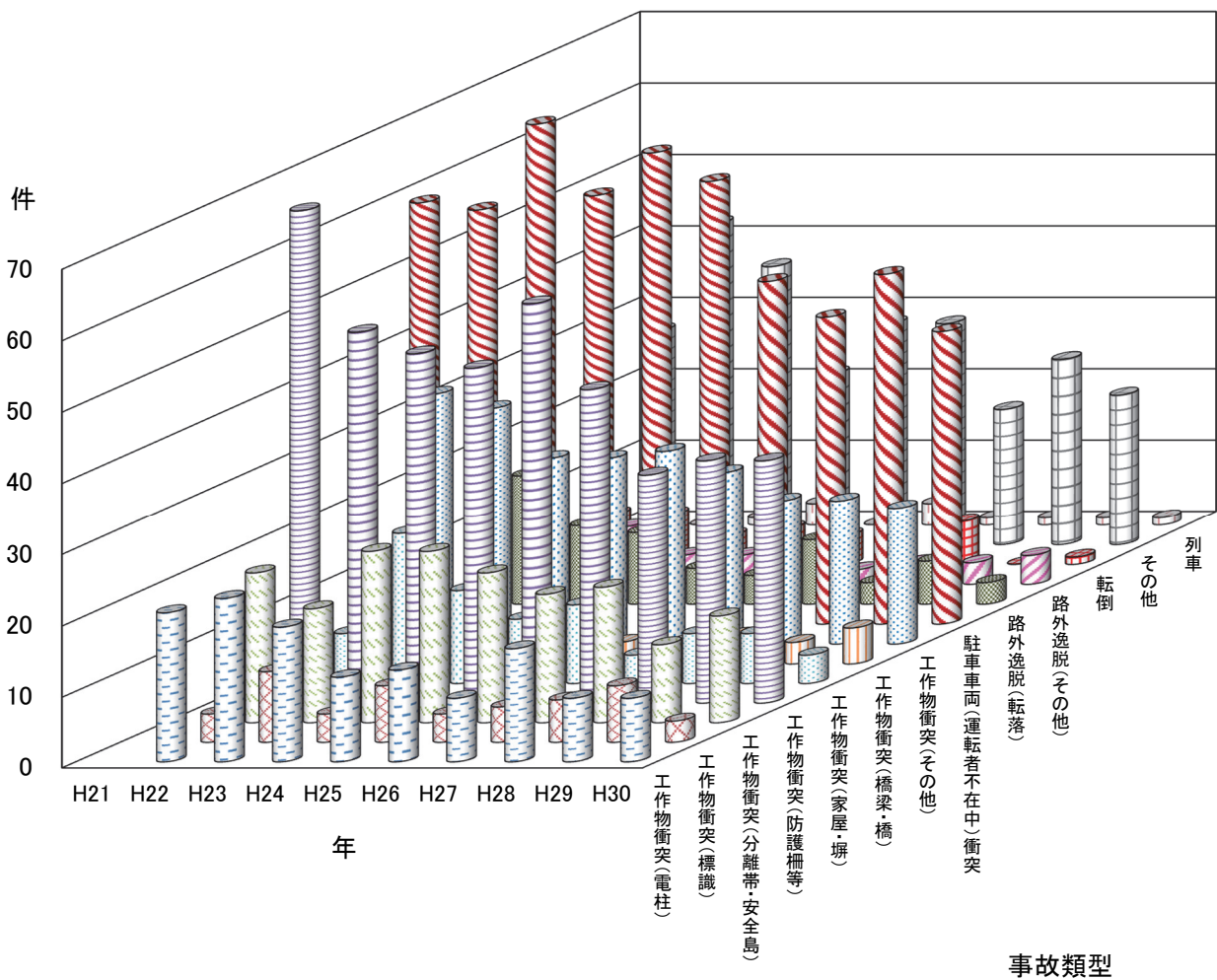


付録22 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況

(1) 車両単独事故の事故類型別死傷事故件数の推移（平成21-30年）

(件)

事故類型		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
車両単独	工作物衝突	電柱	21	23	19	12	13	9	16	9	9	9
		標識	4	10	4	8	4	5	6	8	3	2
		分離帯・安全島	21	16	24	24	21	18	19	11	15	13
		防護柵等	69	52	49	47	56	44	32	34	34	33
		家屋・塀	7	21	13	9	11	4	7	7	4	5
		橋梁・橋	7	9	3	2	3	3	4	3	5	3
		その他	35	33	26	26	27	24	20	20	19	31
	駐車車両（運転者不在中）衝突	59	58	70	60	66	62	48	43	49	41	
	路外逸脱	転落	18	11	10	5	4	9	3	6	3	1
		その他	6	8	4	4	4	2	3	3	4	2
	転倒	7	7	4	5	4	0	6	0	1	4	
	その他	30	45	39	24	31	31	19	26	21	22	
	小計		284	293	265	226	244	211	183	170	167	166
列車		0	1	3	0	3	1	1	1	1	1	



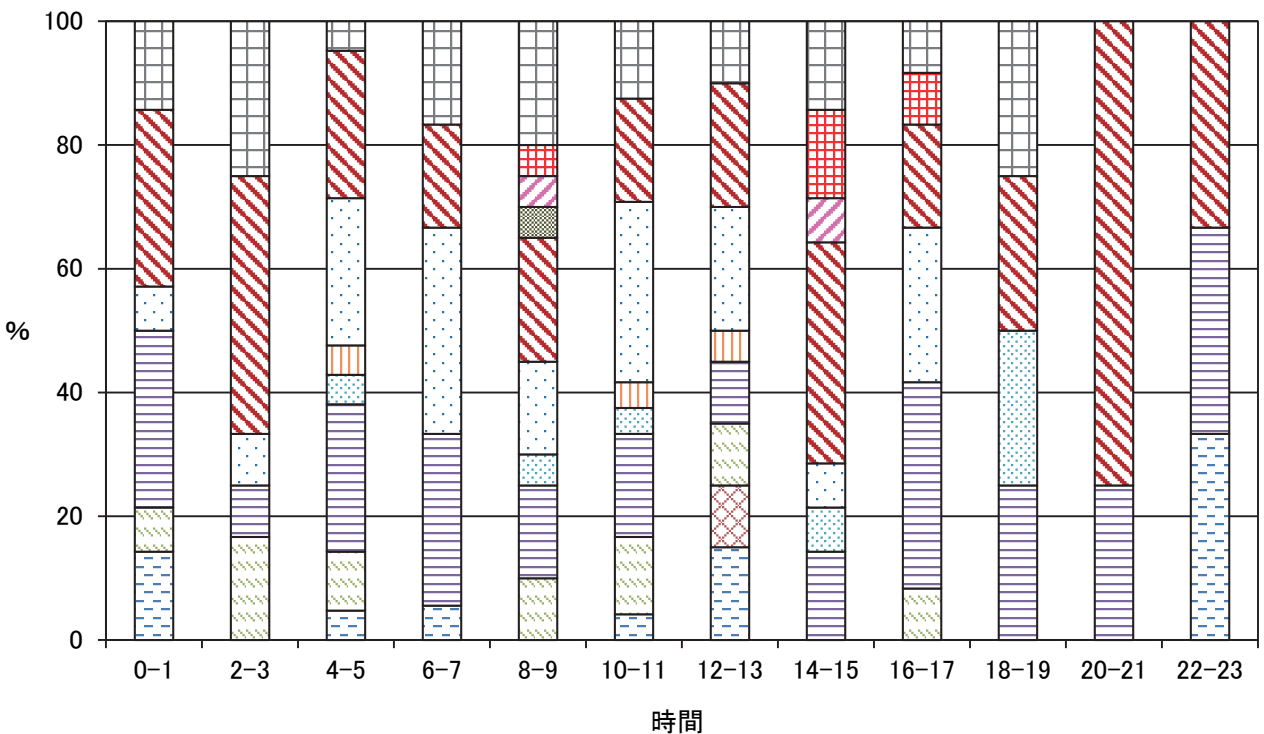
(2-1) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(平成30年)

事故類型		時間(2時間毎)												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	2	0	1	1	0	1	3	0	0	0	0	1	9
		標識	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
		分離帯・安全島	1	2	2	0	2	3	2	0	1	0	0	0	13
		防護柵等	4	1	5	5	3	4	2	2	4	1	1	1	33
		家屋・塀	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	5
		橋梁・橋	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
		その他	1	1	5	6	3	7	4	1	3	0	0	0	31
	駐車車両(運転者不在中)衝突		4	5	5	3	4	4	4	5	2	1	3	1	41
			0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
		その他	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	転倒		0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	4
			0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	4
	その他		2	3	1	3	4	3	2	2	1	1	0	0	22
		2	3	1	3	4	3	2	2	1	1	0	0	22	
合計		14	12	21	18	20	24	20	14	12	4	4	3	166	
列車		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	

(2-2) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(平成30年)

事故類型		時間(2時間毎)												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	14.3	0.0	4.8	5.6	0.0	4.2	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.4
		標識	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
		分離帯・安全島	7.1	16.7	9.5	0.0	10.0	12.5	10.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	7.8
		防護柵等	28.6	8.3	23.8	27.8	15.0	16.7	10.0	14.3	33.3	25.0	25.0	33.3	19.9
		家屋・塀	0.0	0.0	4.8	0.0	5.0	4.2	0.0	7.1	0.0	25.0	0.0	0.0	3.0
		橋梁・橋	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	4.2	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
		その他	7.1	8.3	23.8	33.3	15.0	29.2	20.0	7.1	25.0	0.0	0.0	0.0	18.7
	駐車車両(運転者不在中)衝突		28.6	41.7	23.8	16.7	20.0	16.7	20.0	35.7	16.7	25.0	75.0	33.3	24.7
			0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	路外逸脱	転落	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
	転倒		0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	14.3	8.3	0.0	0.0	0.0	2.4
			0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	14.3	8.3	0.0	0.0	0.0	2.4
	その他		14.3	25.0	4.8	16.7	20.0	12.5	10.0	14.3	8.3	25.0	0.0	0.0	13.3
		14.3	25.0	4.8	16.7	20.0	12.5	10.0	14.3	8.3	25.0	0.0	0.0	13.3	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 工作物衝突(電柱)
- ▣ 工作物衝突(標識)
- ▣ 工作物衝突(分離帯・安全島)
- ▣ 工作物衝突(防護柵等)
- ▣ 工作物衝突(家屋・塀)
- ▣ 工作物衝突(橋梁・橋)
- ▣ 工作物衝突(その他)
- ▣ 駐車車両(運転者不在中)
- ▣ 路外逸脱(転落)
- ▣ 路外逸脱(その他)
- ▣ 転倒
- ▣ その他



(3-1) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(平成30年)

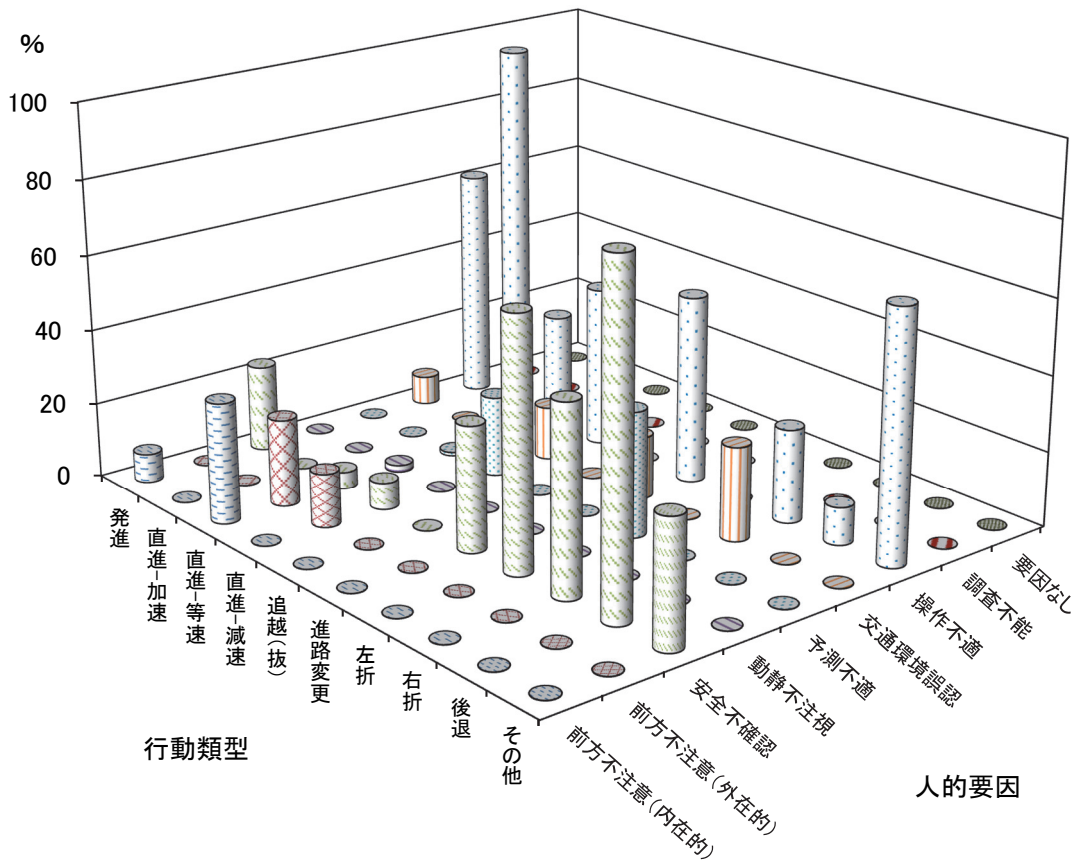
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	1	0	36	0	0	0	0	0	0	0	37
前方不注意(外在的)	0	0	26	2	0	0	0	0	0	0	28
安全不確認	3	0	5	1	0	2	2	2	9	1	25
動静不注視	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
予測不適	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	5
交通環境誤認	1	0	6	2	0	1	0	1	0	0	11
操作不適	8	1	34	6	0	3	0	1	1	2	56
調査不能	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	1	112	14	0	6	3	4	10	3	166

(3-2) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(平成30年)

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	7.7	0.0	32.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.3
前方不注意(外在的)	0.0	0.0	23.2	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9
安全不確認	23.1	0.0	4.5	7.1	0.0	33.3	66.7	50.0	90.0	33.3	15.1
動静不注視	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
予測不適	0.0	0.0	0.9	21.4	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3.0
交通環境誤認	7.7	0.0	5.4	14.3	0.0	16.7	0.0	25.0	0.0	0.0	6.6
操作不適	61.5	100.0	30.4	42.9	0.0	50.0	0.0	25.0	10.0	66.7	33.7
調査不能	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

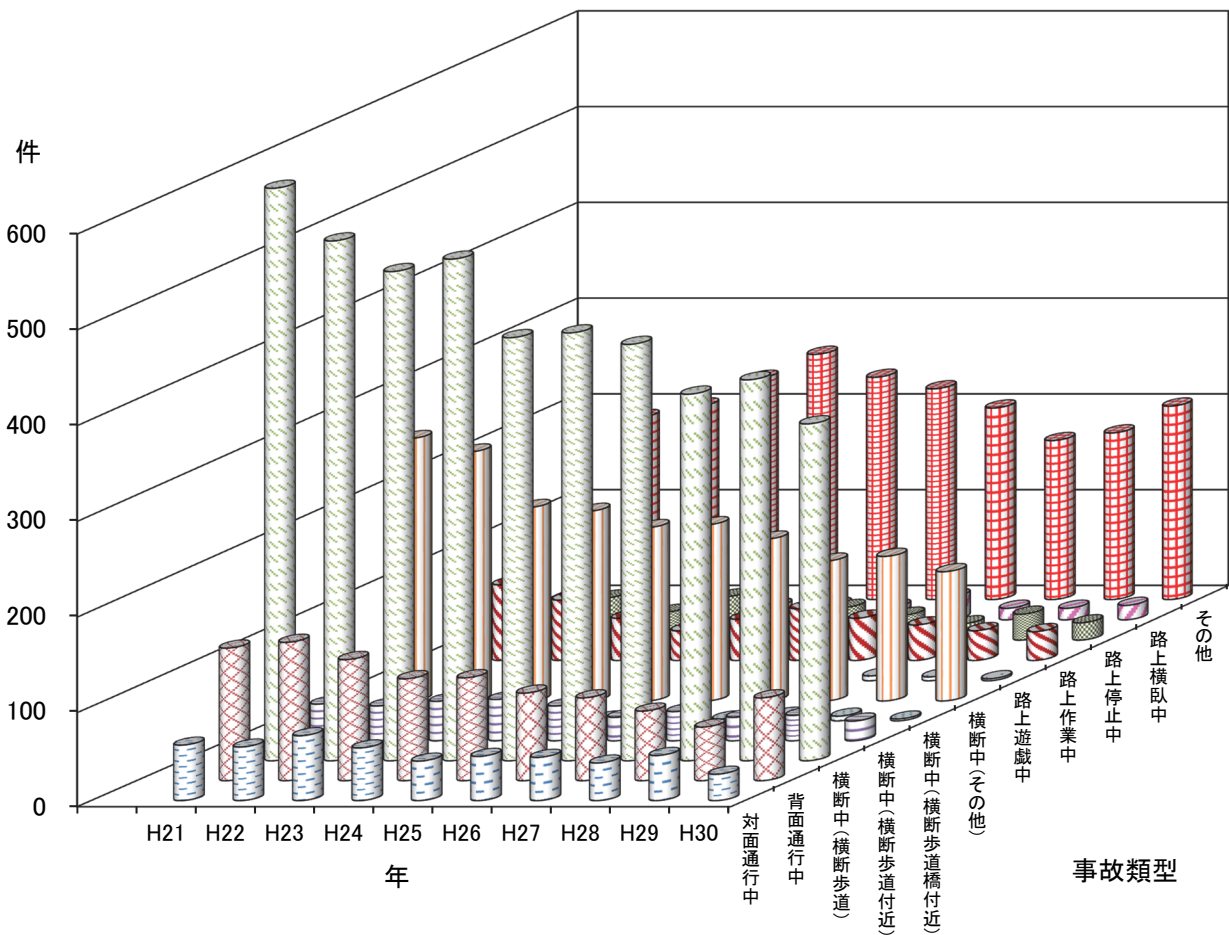


付録23 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況

(1) 対歩行者の事故類型別死傷事故件数の推移（平成21-30年）

(件)

事故類型		年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
人 対 車 両	対面通行中		59	57	69	56	42	47	46	40	48	28	
	背面通行中		140	146	128	108	109	93	88	74	57	88	
	横断中	横断歩道		599	544	512	525	443	448	436	384	399	353
		横断歩道付近		39	37	42	44	37	25	31	25	27	21
		横断歩道橋付近		6	11	4	3	2	4	2	6	5	2
		その他		274	260	202	198	181	184	169	146	151	135
	路上遊戯中		6	9	3	2	8	7	3	5	4	2	
	路上作業中		79	63	44	31	43	54	44	37	31	30	
	路上停止中		33	44	29	45	26	34	26	17	27	18	
	路上横臥中					14	15	13	24	12	12	15	
	その他		190	202	231	256	232	220	200	166	174	202	
	合計			1,425	1,373	1,264	1,282	1,138	1,129	1,069	912	935	894



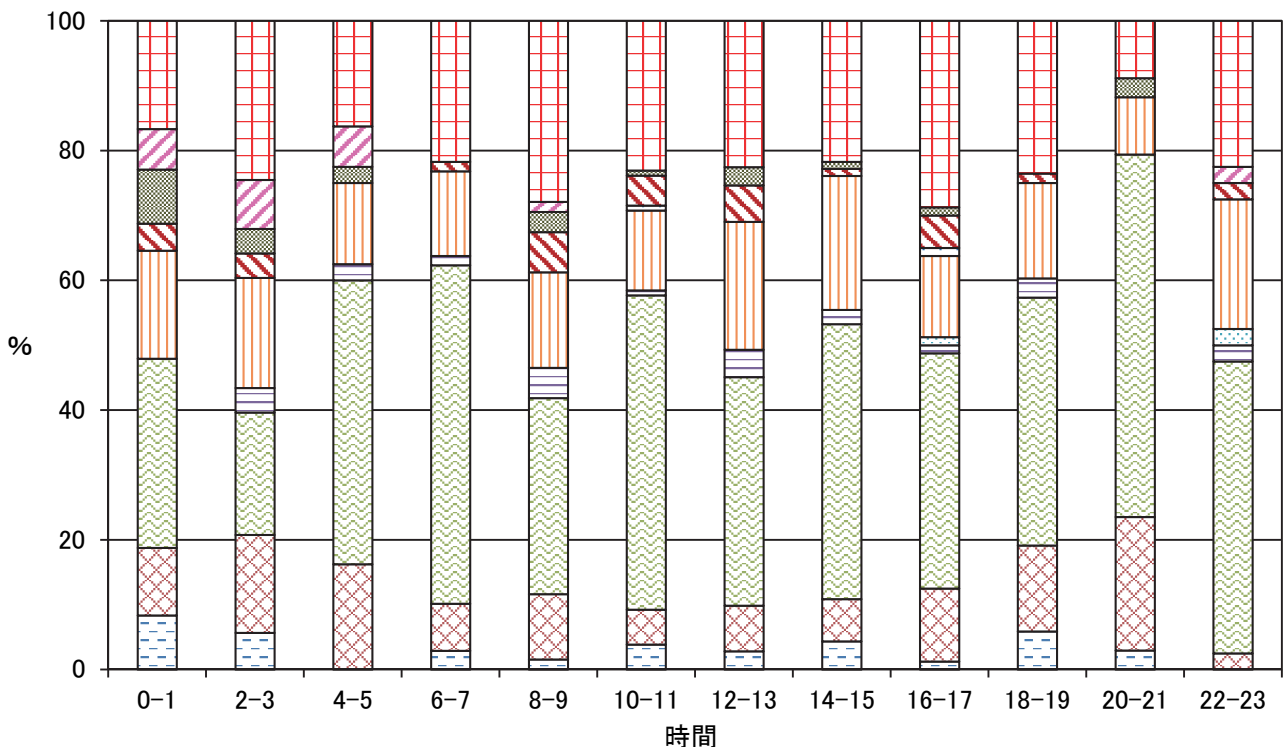
(2-1) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成30年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
人対車両	対面通行中	4	3	0	2	2	5	2	4	1	4	1	0	28	
	背面通行中	5	8	13	5	13	7	5	6	9	9	7	1	88	
	横断中	横断歩道	14	10	35	36	39	63	25	39	29	26	19	18	353
		横断歩道付近	0	2	2	1	6	1	3	2	1	2	0	1	21
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
		その他	8	9	10	9	19	16	14	19	10	10	3	8	135
	路上遊戯中	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	
	路上作業中	2	2	0	1	8	6	4	1	4	1	0	1	30	
	路上停止中	4	2	2	0	4	1	2	1	1	0	1	0	18	
	路上横臥中	3	4	5	0	2	0	0	0	0	0	0	1	15	
	その他	8	13	13	15	36	30	16	20	23	16	3	9	202	
	合計	48	53	80	69	129	130	71	92	80	68	34	40	894	

(2-2) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数の構成率（平成30年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
人対車両	対面通行中	8.3	5.7	0.0	2.9	1.6	3.8	2.8	4.3	1.3	5.9	2.9	0.0	3.1	
	背面通行中	10.4	15.1	16.3	7.2	10.1	5.4	7.0	6.5	11.3	13.2	20.6	2.5	9.8	
	横断中	横断歩道	29.2	18.9	43.8	52.2	30.2	48.5	35.2	42.4	36.3	38.2	55.9	45.0	39.5
		横断歩道付近	0.0	3.8	2.5	1.4	4.7	0.8	4.2	2.2	1.3	2.9	0.0	2.5	2.3
		横断歩道橋付近	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	2.5	0.2
		その他	16.7	17.0	12.5	13.0	14.7	12.3	19.7	20.7	12.5	14.7	8.8	20.0	15.1
	路上遊戯中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.2	
	路上作業中	4.2	3.8	0.0	1.4	6.2	4.6	5.6	1.1	5.0	1.5	0.0	2.5	3.4	
	路上停止中	8.3	3.8	2.5	0.0	3.1	0.8	2.8	1.1	1.3	0.0	2.9	0.0	2.0	
	路上横臥中	6.3	7.5	6.3	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.7	
	その他	16.7	24.5	16.3	21.7	27.9	23.1	22.5	21.7	28.8	23.5	8.8	22.5	22.6	
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 対面通行中
- 背面通行中
- 横断中（横断歩道）
- 横断中（横断歩道付近）
- 横断中（横断歩道橋付近）
- 横断中（その他）
- 路上遊戯中
- 路上作業中
- 路上停止中
- 路上横臥中
- その他



(3-1) 対歩行者の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（平成30年）

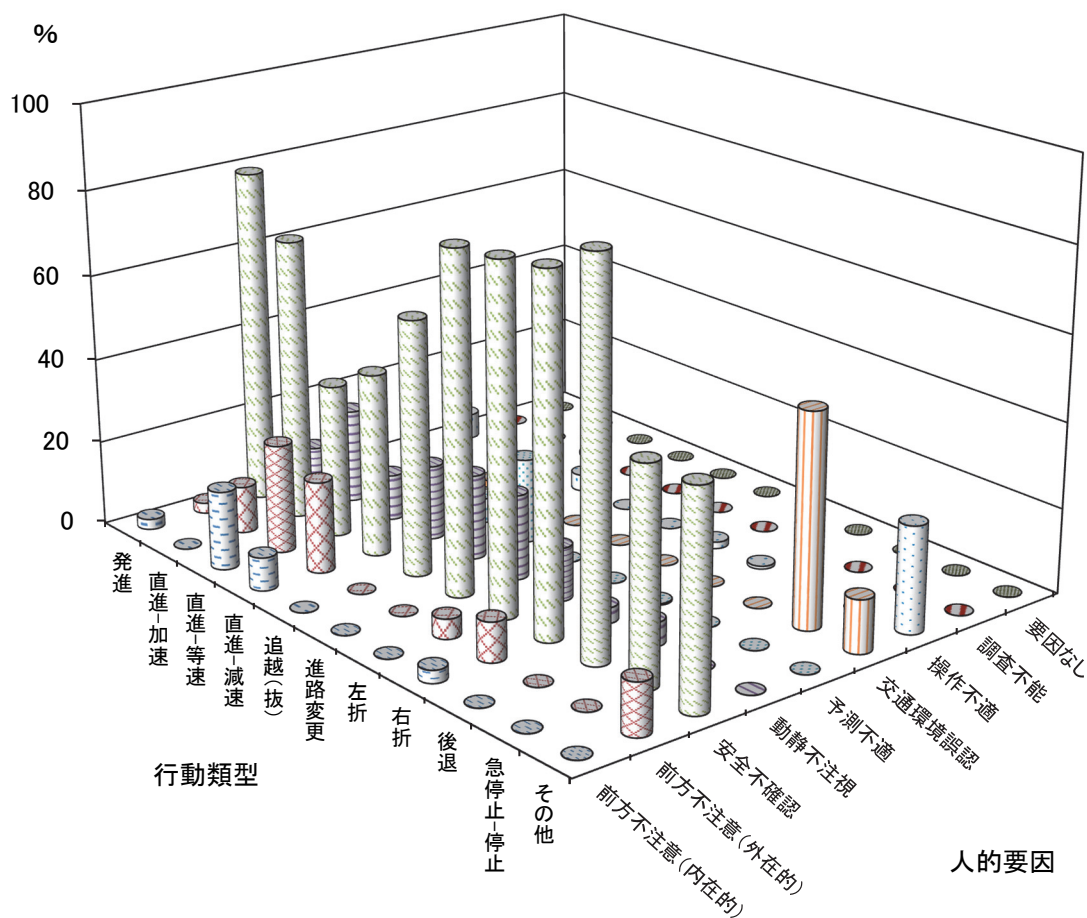
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	2	0	55	4	0	0	0	9	0	0	0	70
前方不注意(外在的)	2	1	76	11	0	0	3	28	0	0	1	122
安全不確認	65	6	107	22	3	4	52	249	65	1	4	578
動静不注視	7	2	32	9	1	1	8	11	4	0	0	75
予測不適	1	0	16	3	1	0	0	1	0	0	0	22
交通環境誤認	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	1	7
操作不適	5	0	3	2	0	0	1	2	3	0	2	18
調査不能	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	82	9	296	51	5	5	64	300	72	2	8	894

(3-2) 対歩行者の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成30年）

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	2.4	0.0	18.6	7.8	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	7.8
前方不注意(外在的)	2.4	11.1	25.7	21.6	0.0	0.0	4.7	9.3	0.0	0.0	12.5	13.6
安全不確認	79.3	66.7	36.1	43.1	60.0	80.0	81.3	83.0	90.3	50.0	50.0	64.7
動静不注視	8.5	22.2	10.8	17.6	20.0	20.0	12.5	3.7	5.6	0.0	0.0	8.4
予測不適	1.2	0.0	5.4	5.9	20.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	2.5
交通環境誤認	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5	0.8
操作不適	6.1	0.0	1.0	3.9	0.0	0.0	1.6	0.7	4.2	0.0	25.0	2.0
調査不能	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録24 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数
（平成27-30年）

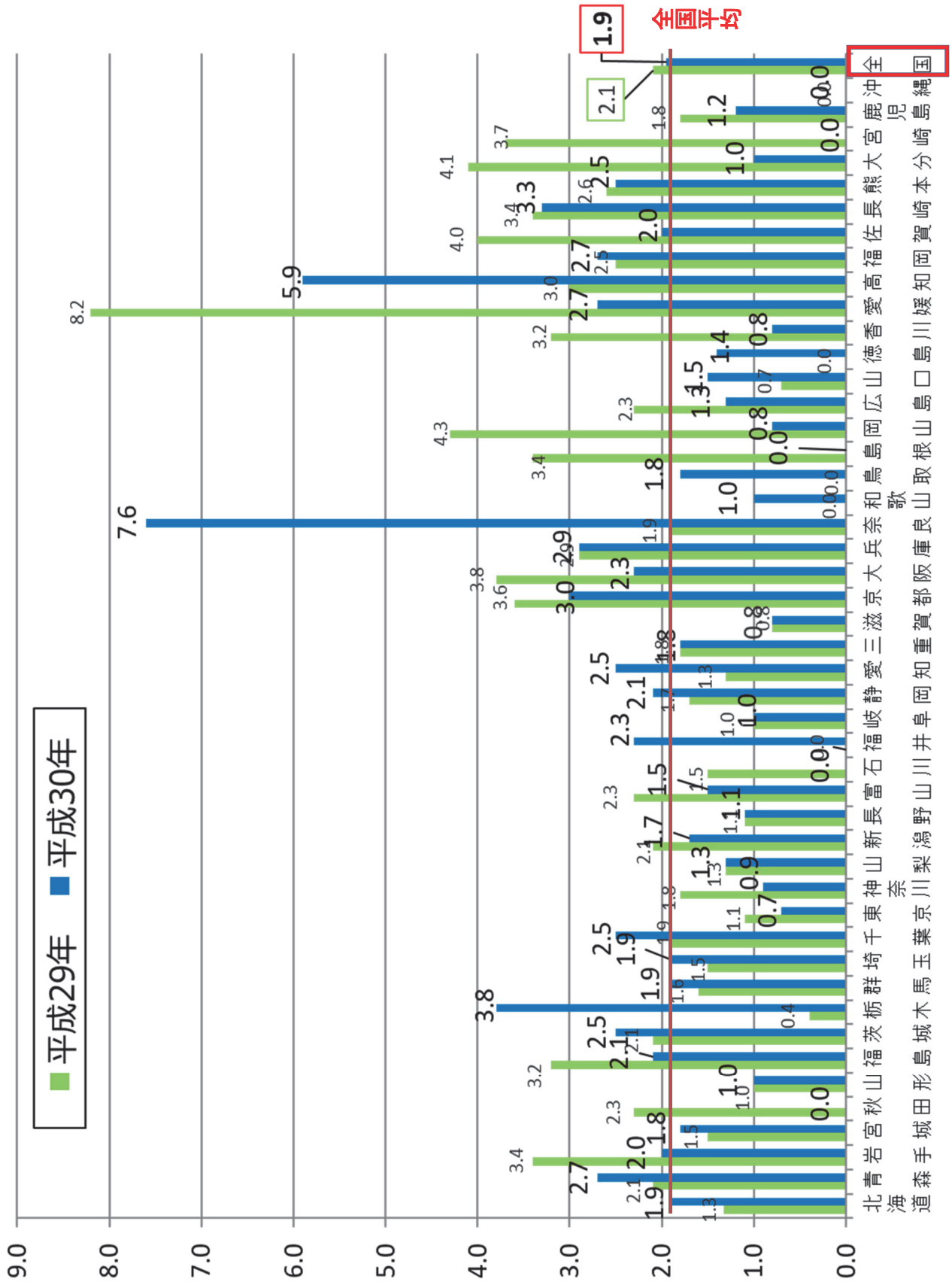
区分	死亡事故件数（件）					死者数（人）					車両台数 （台）	1万台当たり 死亡事故件数 （件）	
	H27	H28	H29	H30	H29比	H27	H28	H29	H30	H29比			
北海道	札幌	9	7	2	6	4	9	7	2	6	4		
	函館	4	0	2	2	0	4	0	2	2	0		
	室蘭	1	4	2	2	0	1	6	2	3	1		
	帯広	0	1	1	0	△1	0	2	1	0	△1		
	釧路	1	4	1	0	△1	1	4	1	0	△1		
	北見	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
	旭川	1	1	1	3	2	1	1	1	3	2		
	小計	16	18	9	13	4	16	21	9	14	5	68,910	1.9
東北	宮城	5	5	4	5	1	5	5	4	5	1	28,196	1.8
	福島	6	7	7	5	△2	6	7	7	5	△2	23,502	2.1
	岩手	4	0	5	3	△2	5	0	5	3	△2	14,796	2.0
	青森	3	4	3	4	1	3	4	4	4	0	14,655	2.7
	山形	4	1	1	1	0	4	1	1	1	0	9,859	1.0
	秋田	0	2	2	0	△2	0	2	2	0	△2	8,580	0.0
小計	22	19	22	18	△4	23	19	23	18	△5	99,588	1.8	
北陸・信越	新潟	6	6	5	4	△1	7	6	7	4	△3	24,148	1.7
	長野	2	3	2	2	0	2	3	2	2	0	18,309	1.1
	石川	5	2	2	0	△2	5	2	2	0	△2	13,587	0.0
	富山	1	3	3	2	△1	1	3	3	2	△1	13,075	1.5
小計	14	14	12	8	△4	15	14	14	8	△6	69,119	1.2	
関東	東京	16	9	10	7	△3	16	9	10	7	△3	95,364	0.7
	神奈川	15	9	12	6	△6	15	9	12	6	△6	69,833	0.9
	千葉	11	21	12	16	4	11	21	12	16	4	63,461	2.5
	埼玉	19	22	13	17	4	19	23	13	17	4	87,674	1.9
	茨城	13	5	9	11	2	13	5	9	11	2	43,402	2.5
	群馬	4	6	4	5	1	4	7	4	5	1	25,656	1.9
	栃木	3	4	1	9	8	3	4	1	9	8	23,914	3.8
	山梨	5	0	1	1	0	5	0	1	1	0	7,936	1.3
小計	86	76	62	72	10	86	78	62	72	10	417,240	1.7	
中部	愛知	15	12	11	22	11	15	12	12	22	10	88,289	2.5
	静岡	10	7	7	9	2	10	7	7	9	2	42,334	2.1
	岐阜	5	4	2	2	0	5	4	2	2	0	19,977	1.0
	三重	4	7	4	4	0	4	7	4	4	0	22,619	1.8
	福井	1	1	0	2	2	1	1	0	2	2	8,759	2.3
	小計	35	31	24	39	15	35	31	25	39	14	181,978	2.1
近畿	大阪	23	19	36	22	△14	23	21	37	22	△15	96,858	2.3
	京都	12	5	8	7	△1	12	5	8	7	△1	23,464	3.0
	兵庫	16	8	14	14	0	16	8	14	16	2	49,016	2.9
	滋賀	3	4	1	1	0	3	4	1	2	1	12,691	0.8
	奈良	5	2	2	8	6	5	3	2	9	7	10,536	7.6
	和歌山	5	2	0	1	1	5	2	0	1	1	9,576	1.0
	小計	64	40	61	53	△8	64	43	62	57	△5	202,141	2.6
中国	広島	7	9	7	4	△3	7	11	8	4	△4	30,885	1.3
	鳥取	2	0	1	1	0	2	0	1	1	0	5,503	1.8
	島根	0	0	2	0	△2	0	0	2	0	△2	5,901	0.0
	岡山	13	3	11	2	△9	13	3	12	2	△10	26,225	0.8
	山口	6	2	1	2	1	6	2	1	2	1	13,705	1.5
小計	28	14	22	9	△13	28	16	24	9	△15	82,219	1.1	
四国	香川	4	3	4	1	△3	4	3	4	1	△3	12,931	0.8
	徳島	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	7,124	1.4
	愛媛	5	6	12	4	△8	5	6	13	4	△9	15,006	2.7
	高知	2	3	2	4	2	2	3	2	4	2	6,781	5.9
小計	11	13	18	10	△8	11	13	19	10	△9	41,842	2.4	
九州	福岡	10	17	13	15	2	11	18	13	15	2	54,573	2.7
	佐賀	2	1	4	2	△2	2	1	4	2	△2	10,051	2.0
	長崎	0	1	3	3	0	0	2	3	3	0	9,196	3.3
	熊本	2	5	4	4	0	2	5	4	6	2	15,767	2.5
	大分	0	2	4	1	△3	0	2	4	1	△3	10,108	1.0
	宮崎	5	1	4	0	△4	6	1	4	0	△4	11,012	0.0
	鹿児島	5	2	3	2	△1	5	2	3	2	△1	16,898	1.2
小計	24	29	35	27	△8	26	31	35	29	△6	127,605	2.1	
沖縄	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	7,476	0.0	
不明	6	4	6	4	△2	6	4	7	4	△3	0		
合計	308	258	271	253	△18	312	270	280	260	△20	1,298,118	1.9	

（作成：公益社団法人 全日本トラック協会）

※死亡事故件数及び死者数は軽自動車によるものを除く 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物車の保有車両台数（H30.12末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情報協会

付録25 事業用貨物自動車 1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成29-30年）



(作成：公益社団法人 全日本トラック協会)

※死亡事故件数は軽自動車によるものを除く 出典：(公財)交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く 営業用貨物自動車の保有台数 (H30.12末現在) 出典：(一財)自動車検査登録情報協会

事業用貨物自動車の交通事故の発生状況

発行： 公益社団法人 **全日本トラック協会**

編集： 公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5

T e l 03 (3354) 1009 (代表)

F a x 03 (3354) 1019

ホームページのアドレス <http://www.jta.or.jp>